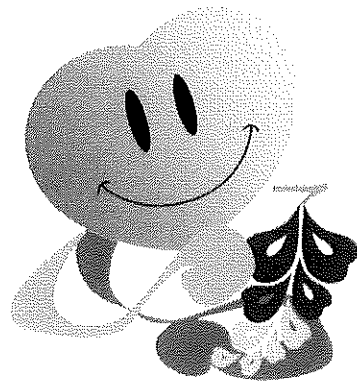


令和5年版
藤枝市
保健事業実績

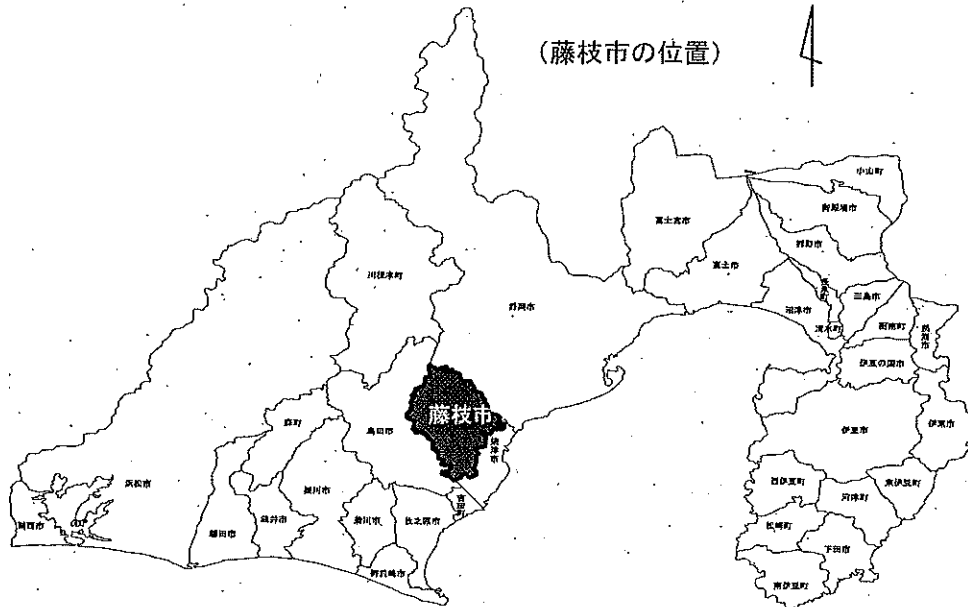


健康福祉部 健やか推進局 健康企画課
健康推進課
感染症対策課

I 藤枝市の概要

1 位置と地勢

1 位置と地勢



本市は静岡県のほぼ中央に位置し、静岡市、焼津市、島田市に隣接しています。面積は194.06km²を有し、北部の赤石山系から連なる山間地、中部地域の丘陵地、南部は大井川の扇状地として平坦地が開ける3地域に区分することができます。

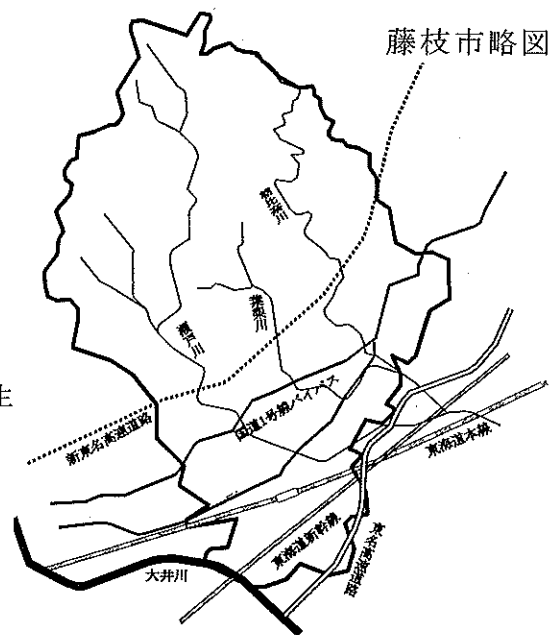
北から南への標高差は、800mあり変化のある豊かな自然が形成されています。また、北部山地に端を発する瀬戸川は、市のほぼ中央を貫き、南西端を流れる大井川とともに駿河湾に注いでいます。気候は温暖でしのぎやすく、年間降水量は山間部に多いものの平坦地においては、2,000～2,400mm程度で降雪はほとんどみられません。

(1) 市 勢 (令和4年3月31日現在)

人口	141,857 (人)
世帯数	61,276 (世帯)
面積	194.06 (km ²)
人口密度	731 (人/km ²)

(2) 市域の変遷

- 昭和29年1月 藤枝町と西益津村が合併し「藤枝町」が誕生
- 昭和29年3月31日 市制施行
- 藤枝町、青島町、葉梨村、高洲村、大洲村
及び稲葉村の合併により「藤枝市」設置
- 昭和30年2月25日 瀬戸谷村を編入
- 昭和32年4月1日 広幡村を編入(一部区域を除く)
- 平成21年1月1日 岡部町と合併



Ⅱ 保健センターのあらまし

- 1 施 設 の 概 要
- 2 事 業 分 掌

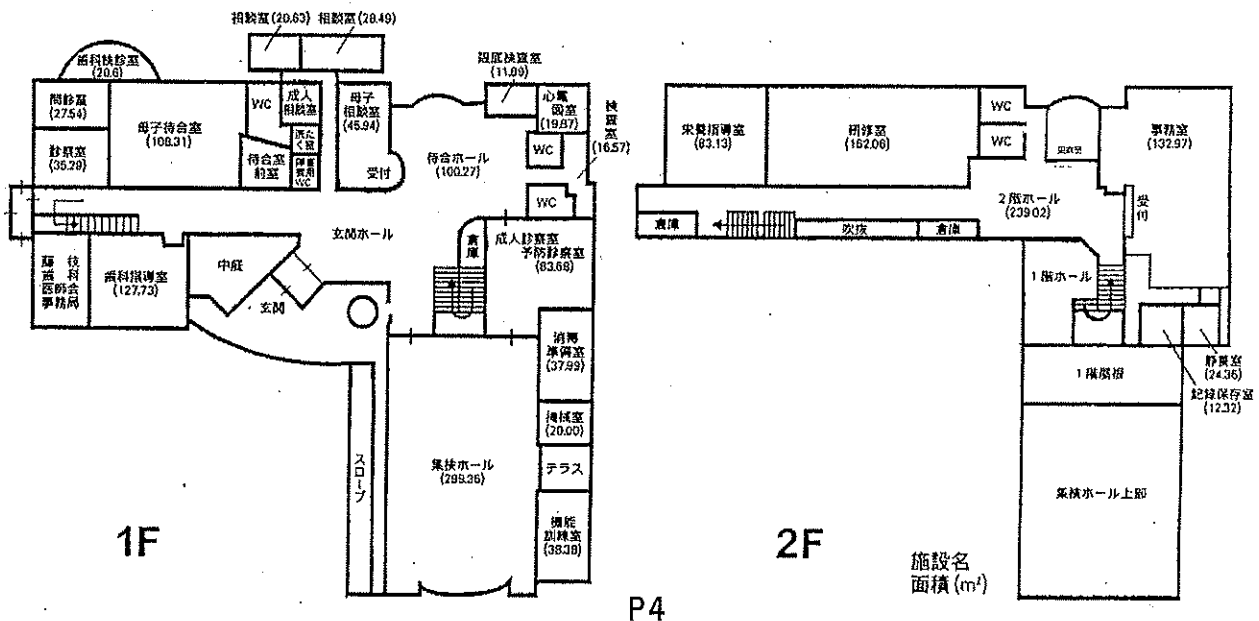
1 施設の概要

保健センターは、昭和62年に整備され、市民の健康づくりを推進するため、健康診査、健康教育、健康相談、家庭訪問の保健サービスを総合的に実施しています。

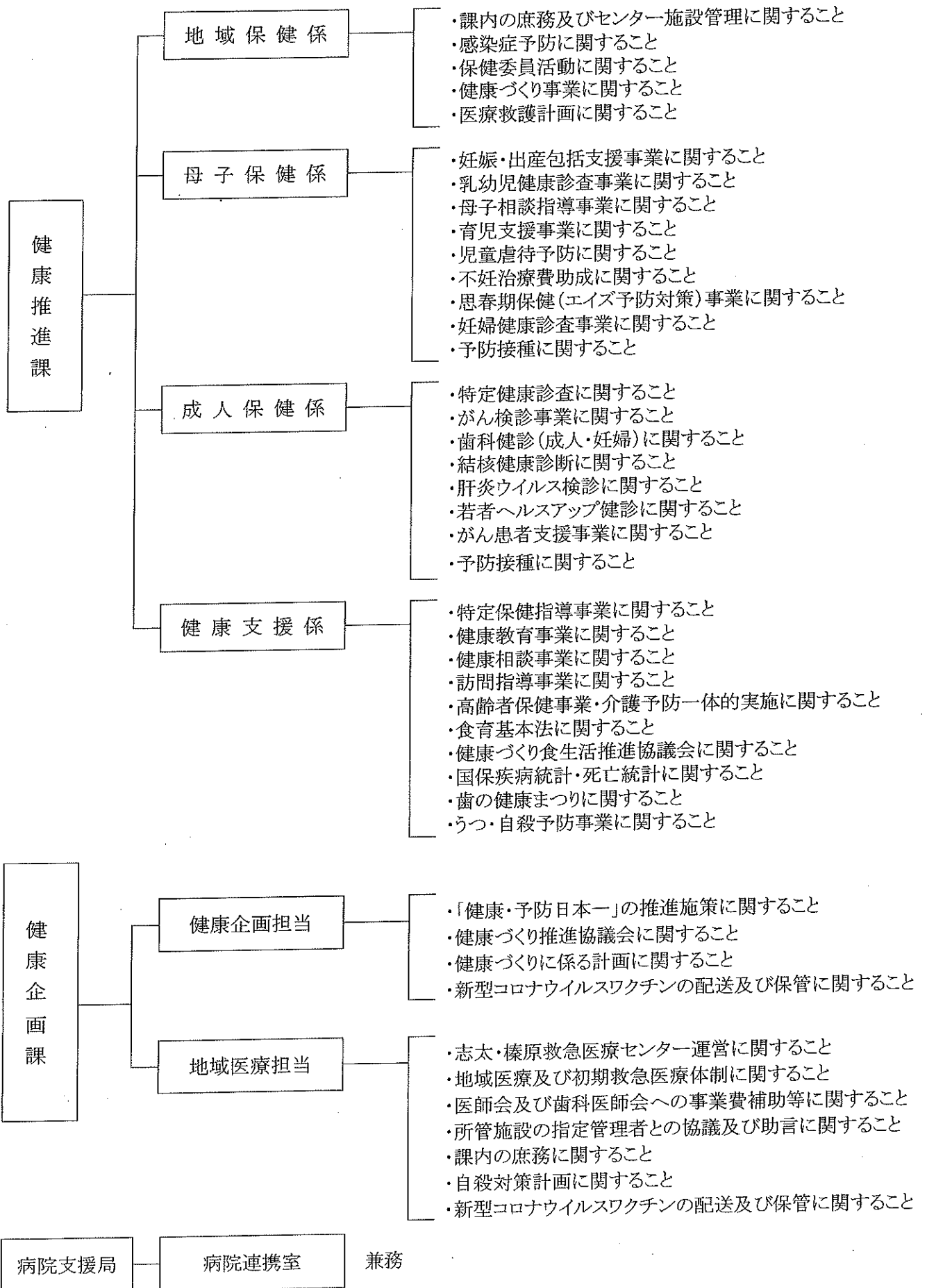
また、保健事業の効率的な推進を図るために、市立総合病院及び併設された志太医師会館・藤枝歯科医師会と密接な連携のもとに市民の健康管理を担い、「市民一人ひとりが、心身ともに健やかで充実した人生を送れるよう、地域全体で支え合い、元気あふれる“健康・予防日本一”のまち」を目指した市民の健康づくりの推進拠点となる施設です。

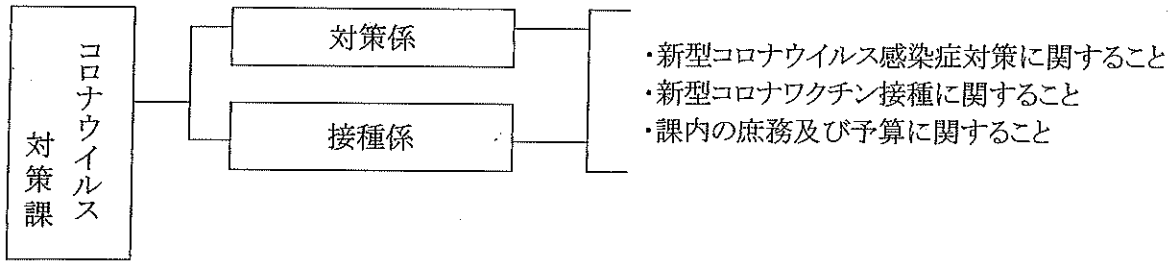
- ・名称 藤枝市保健センター
- ・位置 藤枝市南駿河台1丁目14-1
- ・敷地面積 12,134.44 m²
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・建物面積 2,098.00 m²
 1階 1,366.86 m²
 2階 731.14 m²
- ・総事業費 建物 500,050千円
 用地 675,000千円
- ・開設月日 昭和62年4月1日
- ・増築 平成8年度 1階相談室2部屋設置 58.12 m²
 合計面積 2,156.12 m²
- ・改築 平成14年度 受付カウンター

配置図及び平面図



2 事業分掌 (令和4年度)





Ⅲ 地 域 保 健 係

- 1 感 染 症 予 防 事 業
- 2 健 康 づ くり 事 業

1 感染症予防事業（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）

危機管理対策事業

平成21年のH1N1新型インフルエンザの発生及びパンデミックを契機に、強毒型のH5N1新型の発生に備え策定した「藤枝市新型インフルエンザ対策行動計画H5N1医療対策編」に基づき、医療従事者及び担当職員等が使用する防疫装備品等を備蓄するため分割購入し、平成23年度で必要数が配備された。

平成26年度に「新型インフルエンザ等対策行動計画」を改訂したが備蓄必要数に変更はない。

また、同年より耐用年数が経過した防疫装備品を1/5ずつ、消毒用エタノールにあつては1/3ずつ更新を行っている。

○令和4年度取得額（通常分）	2,415,050円	〔防疫装備品 消毒用エタノール〕	2,244,550円
うち県補助金	805,017円		170,500円
一般財源	1,610,033円		

自宅療養者支援事業

新型コロナウイルス感染症に罹患した自宅療養者のうち、希望する者にパルスオキシメーターの貸出と3日分程度の食料品等の支援を行い、自宅療養期間中における健康管理や療養生活の支援を実施。

○令和4年度実績	32,441,408円
パルスオキシメーター貸出	249台
食糧支援	4,745件

自己検査支援事業

急速な新型コロナウイルス感染拡大による発熱等診療医療機関のひっ迫解消を目的に、中学生から64歳の市民で、発熱などの症状があるなど条件を満たし、希望する者に対して、抗原検査キットの配送を実施。（令和4年8月17日～令和5年3月31日）

○令和4年度実績	5,714,610円
配送件数	6,280件

2 健康づくり事業

保健委員活動活性化事業

2,756,921円

高齢化社会をむかえた今日、健康で生きがいのある社会を築いていくためには、行政による健康づくりの諸施策の展開は勿論のこと、市民自身が健康に対する意識を高め、組織的に健康を守るための活動に取り組むことが重要である。

保健委員の健康づくり活動は、昭和59年に自治会組織を基盤に発足し、地域住民を対象にした保健講座や、ふれあいまつり等での健康啓発などを実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のなかでも、各地区で工夫した取り組みを行い、前年度と比較すると保健講座等の活動が倍増した。活動報告会も4年ぶりに開催し、アフターコロナへの足がかりとなる年となった。

○スローガン

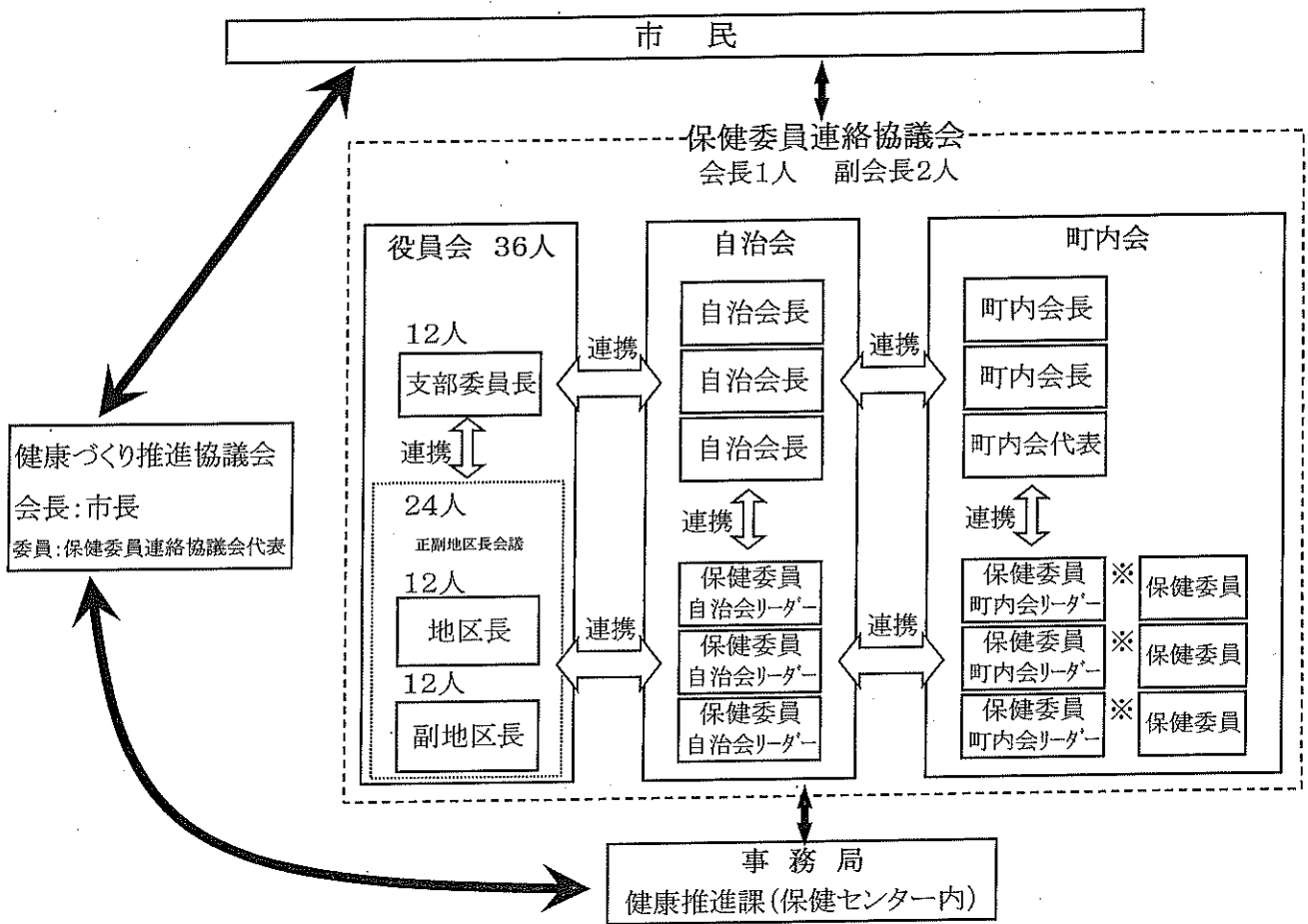
「自分の健康は自分で守ろう」 「健康づくりを地域ぐるみで進めよう」

地域健康づくり活動活性化事業費補助金

681,558円

地域において健康づくりを展開している保健委員連絡協議会の12支部に助成している。

① 保健委員の組織
ア 保健委員連絡協議会



※令和3年12月1日から、「女性保健委員」を廃止し、「保健委員」に名称を統一。

イ 令和4年度 保健委員構成

(単位:人)

支部	保健委員 (自治会長)		保健委員 (町内会代表)		その他保健委員		計	
	人数	(新規)	人数	(新規)	人数	(新規)	人数	(新規)
瀬戸谷	3	(1)	6	(6)	12	(12)	21	(19)
稲葉	2	(1)	5	(5)	18	(14)	25	(20)
葉梨	4	(0)	19	(17)	101	(95)	124	(112)
広幡	2	(1)	8	(7)	39	(39)	49	(47)
西益津	3	(1)	13	(6)	44	(36)	60	(43)
藤枝第1	5	(2)	18	(7)	46	(28)	69	(37)
藤枝第2	5	(1)	13	(4)	59	(54)	77	(59)
青島第1	8	(1)	32	(19)	110	(67)	150	(87)
青島第2	4	(0)	27	(18)	71	(45)	102	(63)
高洲	7	(1)	20	(9)	83	(46)	110	(56)
大洲	4	(1)	12	(4)	53	(53)	69	(58)
岡部	5	(0)	26	(7)	54	(20)	85	(27)
計	52	(10)	199	(109)	690	(509)	941	(628)

※()内は新規保健委員再掲

ウ 保健委員構成の推移

(単位：人)

支部	30		令和元		2		3		4	
	総数	女性保健委員	総数	女性保健委員	総数	女性保健委員	総数	その他保健委員※	総数	その他保健委員※
瀬戸谷	24	13	23	15	18	11	25	16	21	12
稲葉	24	17	25	18	24	17	24	17	25	18
葉梨	125	105	125	102	126	103	119	96	124	101
広幡	49	40	51	39	47	38	54	42	49	39
西益津	60	44	61	45	61	45	60	44	60	44
藤枝第1	69	48	68	46	69	46	69	46	69	46
藤枝第2	74	54	84	64	81	62	74	55	77	59
青島第1	154	113	152	112	149	108	152	110	150	110
青島第2	100	73	107	74	102	71	104	73	102	71
高洲	111	83	109	82	105	79	112	85	110	83
大洲	68	52	69	53	70	54	69	53	69	53
岡部	85	52	87	54	83	50	83	51	85	54
計	943	694	961	704	935	684	945	688	941	690

※その他保健委員：自治会長や町内会代表を除く保健委員

② 保健委員活動実施結果

・支部健康度アップ活動

支部単位で健康課題を整理し、独自のテーマを掲げ、支部の健康度を高めるための活動

・保健講座

支部、自治会、町内会単位で地区の健康課題や保健委員が興味・関心のあるテーマを設定し講座を開催。

講座の企画・PR・運営・進行等、保健委員が行う。

ア 保健委員地区活動（保健講座）

区分	講師	テーマ	実施回数	区分別実施回数	参加者	区分別参加者
1	医師	高血圧予防、メタボ予防 等	3	3	99	99
2	歯科医師 歯科衛生士	口腔ケアで防ぐ糖尿病と高血圧 等	5	5	158	158
3	薬剤師	おくすり出前講座	1	1	46	46
4	保健師	糖尿病予防と食事、体組成計と健康維持 等	10	10	274	274
5	管理栄養士	今すぐできる減塩食 等	6	6	127	127
6	保健師 管理栄養士	高血圧予防、減塩食 等	4	4	160	160
7	健康運動指導士	健康体操、脳トレ体操、ヨガ	20	29	538	865
		骨盤矯正、姿勢矯正	3		53	
		トランポウオーク	3		57	
		健康ウォーキング、ふれあいウォーク	3		217	
8	安心すこやか センター	介護予防、認知症予防 等	7	7	229	229
9	専門講師 ・ふまねっと ・西日本ヤクルト ・榎池ちゃん家ドリームケア ・健康企画課職員 ・ボランティア講師	認知症予防 食生活を見直して、フレイルを予防しよう！ 高齢化社会を迎えて～介護のあり方 めざそう！健康予防日本一 薬のよもやま話	6	6	140	140
総計			P10	71	2098	

イ 健康に関わる自主活動

内 容		回数	延べ人数
1	体脂肪測定等の健康チェック・健康啓発事業	20	226
2	健康づくり食生活推進協議会との交流	5	60
3	その他	7	80
合 計		32	366

ウ 保健委員活動に関わる打ち合わせ会

内 容		回数	延べ人数
1	保健講座開催のための打ち合わせ	123	675
2	役員引継会議等	66	439
3	その他	32	188
合 計		221	1,302

※延べ人数は打ち合わせ参加者を計上

エ その他の活動

内 容		回数	延べ人数
1	地区歩け歩け運動協力	28	114
2	地区防災訓練等協力	112	710
3	地区敬老会協力	23	112
4	地区体育大会協力	27	185
5	地区ボランティア活動への協力	0	0
6	ふれあいまつり等への協力	41	141
7	ゴキブリ対策（ホウ酸団子作り等）	3	19
8	地区盆踊り等への行事協力	0	0
9	神社・祭典協力	32	104
10	その他	43	915
合 計		309	2,300

オ 保健委員地区活動の推移

内容	年度	30		令和元		2		3		4	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
保健講座	健康・予防	20	1,086	16	810	5	168	9	232	20	602
	栄養改善	4	157	2	88	1	21	11	393	12	320
	体力増進	79	2,412	87	2,496	1	160	11	359	30	912
	救急・介護等	7	228	10	433	1	34	8	179	9	264
小 計		110	3,883	115	3,827	8	383	39	1,163	71	2,098
自主活動		38	1,878	47	1,290	0	0	13	506	32	366
打合会		121	1,568	218	1,898	0	0	56	1,668	221	1,302
その他		326	32,744	401	33,736	0	0	59	694	309	2,300
総 計		595	40,073	781	40,751	8	383	167	4,031	633	6,066

カ 保健委員地区活動の重点テーマ

年度	テーマ	取り上げた理由	講師
平成19	生活習慣病の予防	前年度までに習得した知識・食生活・運動について再確認し、総合的な視点で取り組む	保健師 管理栄養士
20	メタボ元年 今あなたができること	生活習慣病にならないために、日頃の生活習慣を見直して「今あなたができること」を学ぶため	保健師 管理栄養士
21	メタボの怖さ ここにあり！	メタボリックシンドロームの真の怖さを学び、生活習慣病の重症化を防ぐための改善方法を周知する	保健師 管理栄養士
	ストレスと上手につき合うための極意	社会生活を送っていくうえで、避けて通ることができないストレスへの対処法を学ぶため	保健師 管理栄養士
22	日本における新たな国民病（CKD）	年々増加しており、自覚症状が出てからでは遅い慢性腎臓病の予防啓発に取り組むため	保健師 管理栄養士
	睡眠はこころとからだの健康バロメーター	生活習慣病やうつ病とも関連が深い睡眠の重要性を学ぶため	保健師
23	日本における新たな国民病（CKD）	年々増加しており、自覚症状が出てからでは遅い慢性腎臓病の予防啓発に取り組むため	保健師 管理栄養士
	ますます進む！がん対策	生活習慣病の改善で多くのがんが予防できる実態を学び、予防啓発に取り組むため	保健師・管理栄養士 市立病院放射線技師 市立病院臨床検査技師
24	メタボ健診だけではわからない！今こそ！CKD（慢性腎臓病）予防	年々増加しており、自覚症状が出てからでは遅い慢性腎臓病の予防啓発に取り組むため	保健師 管理栄養士
	歩いて健康	生活習慣病にならないために、ウォーキングの知識を習得し、生活習慣病予防に取り組むため	保健師・管理栄養士 スポーツ推進委員
25	いつまでもよく噛んで！ おいしく食べて健康長寿	「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」の制定に伴い、歯科口腔保健の推進及び口腔ケアの重要性を学ぶため	歯科医師 保健師・管理栄養士 歯科衛生士
26	誰でもトリアージ！！	「市民トリアージ」の重要性や市民が自ら進んでトリアージを行う必要性について学ぶため	保健師 管理栄養士
	お得で楽しく健康長寿！ みんなでチャレンジ 「健康マイレージ」	「健康マイレージ」を啓発し、実践してもらうことにより、健康的な生活習慣を身につけてもらうため	保健師 管理栄養士
27	+10（プラス・テン） 今より10分多くからだを動かそう！	元気にからだを動かすことで健康寿命を延ばせるといわれていることから、少しずつからだを動かすきっかけを作ってもらうため	保健師 スポーツ推進委員
28	上手に“減塩”はじめましょう！	高血圧予備軍の方が藤枝市に多く、減塩方法について学び、高血圧予防に取り組んでもらうため	保健師 管理栄養士
29～	平成29年度からは、各支部それぞれが健康課題を抽出し、課題解決のための「健康度アップ講座」を支部単位で実施している。		

キ 保健委員役員活動

項目	内容	実施回数	参加人数（延べ）
保健委員組織運営会議等	支部保健委員会	12	36
	正副地区長会議	2	48
	保健委員だより編集会議	2	20
	保健委員連絡協議会役員会	3	104
	役員選任会議	1	12
	活動報告集編集委員会	1	6
	結核予防普及物品選考委員会	1	5
	活動報告会	活動報告会：市民ホールおかべ	1
市主催研修会	活動報告会実行委員会	2	18
	全員研修会	中止	
静岡県結核予防婦人会等主催会議	静岡県結核予防婦人会理事会・総会：あざれあ	書面開催	
	静岡県結核予防リーダー研修会：静岡労政会館	オンライン開催	
合計		25	285

IV 母子保健係

- 1 母子保健事業
- 2 エイズ予防対策事業
(思春期保健事業)
- 3 予防接種事業

1 母子保健事業

母子保健事業は、母子保健法の一部改正により、平成9年度から基本的な母子保健サービスは市が中心となって実施している。現在子どもが健やかに生まれ育つため、育児支援体制の整備、推進を重点に事業を展開している。

(1) 母子健康診査

94,156,082円

① 妊婦健康診査

68,287,740円

公費による妊婦健康診査を実施することにより、異常を早期発見し、適切な治療や保健指導を行い、妊婦健康管理の向上をはかる。

ア 方法：妊娠届出時に妊婦健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況及び健診結果

(単位:人、%)

30年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	償還払い申請
交付・再交付数	1,009	985	999	1,012	1,019	1,028	1,031	1,036	1,043	1,050	1,051	1,053	1,056	1,059	52
受診数	947	914	861	901	878	914	917	880	850	809	841	744	559	330	
受診率	93.9	92.8	86.2	89	86.2	88.9	88.9	84.9	81.5	77	80	70.7	52.9	31.2	
異常なし	894	852	793	822	791	825	804	772	740	711	744	666	521	299	-
治療・指導	6	12	15	26	37	36	45	46	49	42	39	25	15	8	-
要精密	5	19	10	9	5	17	22	11	9	7	8	6	2	3	-
要保健師連絡	1														-
未記入		1	1	1	2		1	1		3	3	1			-
その他	41	30	42	43	43	36	45	50	52	46	47	46	21	20	-

令和元年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	償還払い申請
交付・再交付数	921	890	909	922	928	933	940	945	955	959	959	961	961	961	41
受診数	857	860	859	875	869	867	848	808	717	695	762	652	490	285	
受診率	93.1	96.6	94.4	94.9	93.6	92.9	90.2	85.5	75.1	72.5	79.5	67.8	51	29.7	
異常なし	828	814	829	823	811	798	775	734	668	636	701	608	471	276	-
治療・指導	9	10	9	21	28	36	41	42	21	28	33	13	5	5	-
要精密	3	7	4	3	4	9	10	2		2	3	3	3		-
要保健師連絡															-
未記入	1	1					1		1				1		-
その他	16	28	17	28	26	24	21	30	27	29	25	28	10	4	-

令和2年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	償還払い申請
交付・再交付数	926	904	920	927	942	952	963	970	977	981	981	983	986	986	44
受診数	870	838	818	834	841	842	844	840	755	725	800	691	505	308	
受診率	94	92.7	88.9	90	89.3	88.4	87.6	86.6	77.3	73.9	81.5	70.3	51.2	31.2	
異常なし	842	808	775	785	786	780	778	775	698	672	732	643	483	294	-
治療・指導	13	9	13	16	24	34	38	36	28	25	28	21	3	3	-
要精密	2	3	3	3	4	7	5	2	4	3	1	2	5	1	-
要保健師連絡						1	1	1			1	1	1	1	-
未記入											2	1	1	3	-
その他	13	18	27	30	27	20	22	26	25	25	36	24	12	6	-

令和3年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	償還払い申請
交付・再交付数	839	810	821	838	842	846	856	863	869	869	871	872	872	872	41
受診数	800	792	762	766	755	744	751	734	677	700	739	654	488	281	
受診率	95.4	97.8	92.8	91.4	89.7	87.9	87.7	85.1	77.9	80.6	84.8	75	56	32.2	
異常なし	770	757	725	728	710	693	698	686	627	652	684	623	466	272	-
治療・指導	12	12	17	20	19	30	32	25	32	27	28	12	11	5	-
要精密	4	7	2	1	3	4	5	4		2	3	1	2	2	-
要保健師連絡	2	1		2	1	1			1	1	1	2	1		-
未記入				1	1				1		2				-
その他	12	15	18	14	21	16	16	19	16	18	21	16	8	2	-

令和4年度	初回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	多胎1回	多胎2回	多胎3回	多胎4回	多胎5回	償還払い申請			
受診券交付者実人数	788(転入含む)																						
受診数	725	736	717	739	744	737	721	702	629	603	661	549	398	216	1	0	0	0	0				
受診率	92.0	93.4	90.9	93.7	94.4	93.5	91.4	89.0	79.8	76.5	83.8	69.6	50.5	27.4	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
所見なし	683	690	683	689	696	665	659	629	564	550	604	508	380	207	0	0	0	0	0				
所見あり	42	46	34	50	48	72	62	73	65	53	57	41	18	9	1	0	0	0	0				
妊娠高血圧症	0	0	3	0	1	2	0	2	1	3	2	5	2	1	0	0	0	0	0				
妊娠糖尿病	0	3	0	0	3	2	5	4	4	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0				
その他	42	43	31	50	44	68	57	67	60	47	53	35	15	7	1	0	0	0	0				
治療・指導	19	26	15	24	25	49	33	50	51	38	31	25	10	5	0	0	0	0	0				
要精密	7	9	2	4	3	6	14	5	0	0	0	5	4	0	0	0	0	0	0				
要保健師連絡	3	1	1	3	5	3	2	5	0	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0				
その他	13	10	16	19	15	14	13	13	14	14	22	11	3	3	1	0	0	0	0				

② 産婦健康診査

6,911,500円

産後うつが発見と新生児虐待を防ぐため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に医療機関等で健康診査を実施。

ア 方法 : 妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況 (単位:人、%)

年度	2		3		4	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
該当数	886	887	842	841	756	748
受診数	749	882	728	830	653	735
(再掲)償還払い申請	23	43	23	38	18	26
受診率	84.5	99.4	86.5	98.7	86.4	98.3

③ 新生児聴覚検査

3,058,700円

聴覚障害を早期に発見し、音声言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的に、公費による聴覚検査を実施。

ア 方法 : 妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託

イ 受診状況 (単位:人、%)

年度		令和2	3	4
該当数		900	835	751
受診数		889	831	741
検査方法	自動ABR	781	751	677
	OAE	106	80	62
	不明	2	0	2
(再掲)償還払い申請		39	37	26
受診率		98.8	99.5	98.7

※未熟児等、保険診療で実施。

④ 4か月児健康診査

9,722,108 円

異常を早期発見することにより適切な治療や保健指導に結びつけることを目的として、該当月に公費による健康診査を実施。

ア 方法:妊娠届出時に健康診査票を交付、医療機関委託
イ 受診状況

(単位:人、%)

年度	平成30	令和元	2	3	4
該当数	982	943	867	878	763
受診数	953	939	854	866	741
受診率	98.6	97.0	99.6	98.6	97.1

ウ 要観察児内訳(重複あり)

(単位:人)

内容	年度	平成30	令和元	2	3	4
身体発育観察		66	81	102	135	67
運動発達観察		15	12	22	16	1
定頸再検		17	21	1	37	35
股関節要観察		19	29	12	21	9
心疾患患者		5	5	5	5	2
皮膚疾患患者		13	12	17	58	92
反射異常		3	7	0	21	23
性尿器系疾患		3	4	4	10	5
ヘルニア		0	0	2	0	2
その他		12	8	2	6	5
計		197	179	167	309	241

⑤ 10か月児健康診査

異常を早期発見することにより適切な治療や保健指導に結びつけることを目的として、該当月に公費による健康診査を実施。

ア 方法:妊娠届出時に健康診査票の交付、医療機関委託
イ 受診状況

(単位:人、%)

年度	平成30	令和元	2	3	4
該当数	1,092	979	988	893	803
受診数	1,035	934	927	843	775
受診率	94.8	95.4	93.8	94.4	96.5

ウ 要観察児内訳(重複あり)

(単位:人)

内容	年度	平成30	令和元	2	3	4
身体発育観察		68	73	100	99	71
運動発達観察		77	151	142	147	123
筋緊張低下		2	0	0	1	3
心疾患患者		3	8	2	11	5
停留瘻丸		2	2	8	8	10
ヘルニア		4	0	1	6	6
皮膚疾患患者		3	5	3	21	39
眼疾患患者		1	4	3	1	2
先天性疾患患者		2	2	6	8	9
その他の疾患患者		10	10	2	11	10
計		181	255	267	313	278

エ 10か月児健康診査後運動発達フォロー相談・指導状況

(単位:人)

内容	年度	平成30	令和元	2	3	4
運動発達相談のすすめ		21	24	14	16	18
1歳6か月児健診にて確認		17	4	10	15	12
問題なし		69	92	81	80	49
再度電話相談にて確認		3	14	9	18	7
その他		20	32	21	20	23
計		183	166	135	149	109

⑥ 1歳6か月児健康診査

2,144,630円

- ア 方法 : 保健センターにおいて集団方式(月2~3回)
 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和元年度は3回未実施、令和2年度は4月から5月は中止し、6月から12月の健診を月4回に増やして実施。
- イ 内容 : 身体計測、内科診察、歯科健診、栄養指導、生活指導、
 精神発達チェックと保健指導・相談、母のメンタルヘルスチェック
- ウ 従事者 : 小児科医師、歯科医師、管理栄養士、歯科衛生士、心理判定員、保健師
- エ 実施状況 (単位:回、人、%)

年度		平成30	令和元	2	3	4
回	数	36	33	36	31	32
該	当	1,044	942	1,033	888	889
受	診	1,022	925	1,043	893	895
受	診	97.9	98.2	101.0	100.6	100.7

オ 健診結果 (単位:人、%)

年度		平成30	令和元	2	3	4
異	常	832	715	734	653	602
異常あり	要	94	96	149	167	167
	要	55	73	110	60	10
	要	41	41	50	13	47
	合	190	210	309	240	224
	率	18.5	20.1	34.6	26.8	25.0

※平成30年度より、静岡県健康診査マニュアルに則り、医師総合判定を記載。

カ 異常の内訳(重複あり) (単位:人)

年度	平成28	29	30
身	101	65	46
胸	4	1	6
四	10	7	17
へ	1	2	14
心	16	16	1
腹	7	2	4
皮	23	15	0
眼	9	10	2
耳	13	6	18
停	20	7	12
そ	53	51	33
言	33	31	0
精	104	48	69
運	17	13	41
養	38	31	25
計	449	305	288

年度	令和元	2	3	4
身	64	43	44	47
頭	10	10	5	6
大	3	2	3	7
眼	9	13	4	7
耳	3	1	3	1
心	5	16	11	19
腹	0	3	0	1
臍	4	8	2	1
外	18	21	6	30
四	16	15	2	11
皮	42	96	63	110
被	0	0	0	0
そ	47	22	13	12
精	49	126	121	104
運	14	13	9	5
計	284	389	286	361

※平成30年度より、静岡県健康診査マニュアルに則り、内容の項目を変更。

キ 心理判定員の相談

(単位:人)

年 度	平成30	令和元	2	3	4
相 談 者 数	126	111	160	115	130

ク 事後指導の内容(重複あり)

(単位:人)

内 容	平成30	令和元	2	3	4
医療機関、専門医への紹介又は受診勧め	35	47	47	26	55
個 別 相 談 の 勧 め	1	1	1	0	1
訪問・電話による指導および経過観察	4	7	25	37	19
事後相談(1歳9か月・2歳)の勧め	145	126	133	83	93
健 康 相 談 室 の 勧 め	99	56	65	71	80
親 子 遊 び の 教 室	30	33	21	19	23
健 診 に よ る 再 チェック	18	18	26	40	66
子育て支援教室(ひまわり)の勧め	8	3	6	6	2
そ の 他	0	5	3	18	5

ケ 歯科健診状況

(単位:人、%)

年 度	平成30	令和元	2	3	4
むし 歯 の ある 児	6	5	7	5	7
むし 歯 の 本 数	23	14	32	24	24
むし 歯 の 保 有 率	0.6	0.5	0.7	0.6	0.8

コ 栄養指導状況

(単位:人)

内 容	平成30	令和元	2	3	4
偏 食	11	16	29	13	19
む ら 食	32	22	32	25	38
少 食	6	7	11	8	8
肥満(肥満度+15%以上)	27	27	34	30	23
ア レ ルギ ー	12	6	1	10	9
間 食	1	0	8	2	4
やせ(肥満度-11%以下)	22	17	27	25	27
そ の 他	156	159	165	136	150
合 計	267	254	307	249	278

サ フッ素塗布

1歳6か月児から、歯質強化のためにフッ化物塗布、ブラッシング習慣確立のための具体的な指導を行い、乳幼児のむし歯を予防する。

(ア) 対 象 : 1歳6か月児健康診査対象児で希望者

(イ) 方 法 : 毎月2~3回 年間32回実施(1歳6か月児健康診査と同時開催)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和元年度は3回、令和2年度は9回未実施。令和3年度、令和4年度は未実施なし。

(ウ) 内 容 : a ブラッシング指導

b 歯ブラシゲル法によるフッ素塗布

(エ) 従 事 者 : 歯科衛生士

(オ) 自己負担 : 400円(4回分)

(カ) 実施状況

(単位:人、%)

年 度	平成30	令和元	2	3	4
	1.6歳	1.6歳	1.6歳	1.6歳	1.6歳
対 象 者 数	1,022	925	1,043	893	895
実 施 者 数	831	772	812	744	698
実 施 率	81.3	83.5	77.9	83.3	78.0
実 施 延 人 数	2,260	1,963	1,734	1,932	1,775

⑦ 3歳児健康診査

- ア 方 法 : 保健センターにおいて集団方式(月2~3回)
 ※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、3回未実施。
 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、37回実施。
- イ 内 容 : 身体測定、内科診察、歯科健診、尿検査、視覚検査、生活指導、栄養指導、
 精神発達チェックと保健指導・相談、母のメンタルヘルスチェック
- ウ 従 事 者 : 小児科医師、歯科医師、管理栄養士、歯科衛生士、心理判定員
 保健師、視能訓練士、臨床検査技師

エ 実施状況 (単位:回、人、%)

年度		平成30	令和元	2	3	4
回	数	36	33	37	35	34
該	当	1,186	1,039	1,129	1,063	929
受	診	1,169	1,039	1,140	1,070	928
受	診	98.6	100.0	101.0	100.7	99.9%

オ 健診結果 (単位:人、%)

年度		30	令和元	2	3	4
内	訳					
異	常	590	683	866	794	692
異	要	407	197	138	123	139
	要	76	73	43	48	34
	要	96	86	93	105	63
	合	579	356	274	276	236
	率	49.5	34.3	24.0	25.8	25.4

※平成30年度より、静岡県健康診査マニュアルに則り、医師総合判定を記載。

カ 異常の内訳(重複あり) (単位:人) (単位:人)

年度		平成30	令和元	2	3	4
項	目					
身	体	0	48	55	44	26
視	覚	115	62	69	54	33
聴	覚	2	1	2	1	0
心	音	6	12	4	7	12
四	肢	10	0	16	7	7
皮	膚	20	17	21	19	21
被	虐	0	0	0	0	0
精	神	84	63	64	51	42
運	動	2	5	4	2	5

キ 心理判定員の相談 (単位:人)

年度		平成30	令和元	2	3	4
相	談	86	118	103	129	126

ク 事後指導の内容(重複あり) (単位:人)

年度		平成30	令和元	2	3	4
区	分					
医	療	99	87	93	104	63
個	別	28	30	19	21	11
訪	問	2	2	3	5	5
療	育	43	46	17	33	28
わ	ん	3	25	25	23	73
そ	の	589	392	357	336	276

ケ 歯科健診状況 (単位:人、%)

結果	年度	平成30	令和元年	2	3	4
むし歯のある者		69	68	74	56	37
むし歯保有率		5.9	6.5	6.5	5.2	4.0
むし歯本数	未処置歯	180	182	238	148	114
	処置歯	35	20	1	10	7
不正こう合		110	144	107	129	132
口腔軟組織の疾患		0	0	1	0	0

コ 栄養指導状況 (単位:人)

	年度	30	令和元	2	3	4
偏食		108	99	108	103	90
むら食い		50	57	72	58	48
少食		16	12	32	18	22
肥満(肥満度+15%以上)		41	36	65	38	38
アレルギー		4	10	6	3	3
間食		4	0	5	8	7
やせ(肥満度-11%以下)		17	9	14	9	13
その他		79	69	114	98	67
合計		319	292	416	335	288

サ 3歳児精密健康診査

3歳児健康診査の結果、疾病等の疑いがあり、より精密な健康診査の必要性が認められた場合に受診票を交付し、委託医療機関で精密健康診査を実施する(自己負担なし)。

(ア) 実施状況 (単位:延人数、%)

年度	受診票交付数	受診票交付状況(診療科)										受診数※	受診結果			
		小児科	内科	外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	整形外科	形成外科	その他		異常なし	経過観察	要検査	要治療
30	96	40	0	0	0	49	0	2	5	0	0	96	18	50	15	13
													18.8	52.1	15.6	13.5
令和元	109	52	0	0	0	41	2	2	0	0	0	99	27	43	18	11
													27.3	43.4	18.2	11.1
2	93	47	0	0	2	33	1	2	8	0	0	83	19	45	13	6
													22.9	54.2	15.7	7.2
3	108	63	0	0	1	39	0	4	1	0	0	101	23	52	18	8
													22.8	51.5	17.8	7.9
4	77	39	0	0	1	27	0	7	3	0	0	74	18	39	12	5
													24.7	52.7	16.4	6.8

※受診数は前年度に受診票を交付されている者も含む。

(イ) 令和4年度 受診結果 診断名(「異常なし」は除く) ※重複あり

	診断名	人数	診断名	人数	診断名	人数	
屈折異常	遠視	4	弱視	弱視	2	言語発達遅滞	2
	近視	2		遠視性弱視	0	移動性精巣	5
	遠視性乱視	1		不同視弱視	1	蛋白尿	0
	近視性乱視	0		内反症弱視	0	血尿(無症候性含む)	6
	乱視	15		瞳孔不同	0	腎炎疑い	0
斜視	斜視(疑)	1	低身長	9	機能性心雑音	3	
	外斜視	0	X脚	0	鼻咽喉閉鎖不全	0	
	内斜視	0	外反膝	0	その他	4	

(2)不妊治療費

27,398,001円
26,118,296円

① 特定不妊治療費

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、特定不妊治療(体外受精・顕微受精)に要する経済的負担を軽減するため、費用の一部(治療費の7割、上限300,000円)を助成した。

特定不妊治療の一環として実施する男性不妊治療費(上限105,000円/回)を助成した。

※令和2年度より助成回数を通算10回に改正し、令和3年度より助成回数を1子ごと10回(40歳以上は通算10回)に改正した。

※令和4年度からの保険適用開始により助成金の制度は終了した。令和4年度の助成は、①令和3年度に行われた治療のうちまだ申請をしていない治療と、②令和3年度から4年度へ年度をまたいで行われた保険適用されていない治療のみが対象となった。

(単位:人)

年度	延件数	(再掲) 男性不妊 治療費	実人数	内訳									
				1回助成	2回助成	3回助成	4回助成	5回助成	6回助成	7回助成	8回助成		
平成30	174	2	122	70	52								
令和元	184	0	125	66	59								
令和2	189	1	112	64	30	11	4	2	1	0	0		
令和3	269	1	149	88	28	21	6	1	2	2	1		
令和4	186	0	130	93	20	9	5	1	2	0	0		

② 一般不妊治療

1,043,875円

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、人工授精に要する経済的負担を軽減するため、費用の一部(治療費の7割、上限63,000円)を助成した。

※令和4年度からの保険適用開始により助成金の制度は終了した。令和4年度の助成は、①令和3年度に行われた治療のうちまだ申請を終えていない治療と、②令和3年度から4年度へ年度をまたいで行われた保険適用されていない治療のみが対象となった。

(単位:人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
件数	59	38	53	52	23

③ 不育症治療

235,830円

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、不育症治療に要する経済的負担を軽減するため費用の一部(治療費の7割、上限241,500円)を助成した。

※令和2年度より、所得制限730万円を撤廃した。

(単位:人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
件数	5	1	3	10	6

(3) 母子相談指導

8,598,004円

① 健康相談

592,828円

ア 健康相談室

	時 間	内 容	従事者
常 設 健 康 相 談	月～金曜日 午前9時～11時30分	身体計測 育児相談	保健師
出 張 健 康 相 談 (岡 部 地 区)	月2回(H21年1月～) 午前9時30分～11時	身体計測 育児相談	保健師 管理栄養士
定 例 食 生 活 相 談	木曜日 午後1時～4時 金曜日 午前9時～12時	食事に関する相談	管理栄養士
電 話 相 談	月～金曜日 午前9時～午後5時	育児・食事等に関する相談	保健師 管理栄養士
歯 科 相 談	3歳児健康診査実施日 午後3時～4時	歯に関する相談	歯科衛生士

※定例食生活相談実績は、P75参照。

(7) 常設健康相談

(単位:人、回)

年度	総数	母性・父性	乳児	幼児	学童・学生	回数
30	5,448	1,060	2,153	2,232	3	244
令和元	5,307	951	2,255	2,095	6	240
2	4,277	981	1,819	1,477	0	243
3	4,489	867	2,078	1,544	0	242
4	4,184	788	1,927	1,465	4	243

(4) 出張健康相談

(単位:人、回)

年度	総数	母性・父性	乳児	幼児	学童・学生	回数
30	174	0	69	105	0	12
令和元	181	0	71	110	0	11
2	79	0	22	57	0	10
3	85	0	45	40	0	12
4	90	0	42	48	0	12

(5) 電話相談

(単位:人)

年度	30	令和元	2	3	4
総数	1,568	978	1,169	963	1,757

(エ) 歯科衛生士による歯科相談 (単位:人)

年度	30	令和元	2	3	4
総数	3	4	2	3	3

イ 母子健康手帳の交付

母子健康手帳交付時に個別に面接し、妊婦のメンタルヘルスチェック、妊娠中の保健、育児について指導し、ハイリスク妊婦、特定妊婦には電話指導、家庭訪問を実施。

(ア) 妊娠届出時妊娠週数、多胎 (単位:人、%)

妊娠週数	30	令和元	2	3	4
年度届出	974	887	893	799	743
～ 11 週	899(92.3)	823(92.8)	843(94.4)	737(92.3)	666(89.6)
12 ～ 19 週	65(6.7)	59(6.7)	45(5.1)	57(7.1)	71(9.6)
20 ～ 27 週	6(0.6)	2(0.2)	3(0.3)	5(0.6)	4(0.5)
28 週 ～	4(0.4)	2(0.2)	2(0.2)	0(0.0)	2(0.3)
不 明	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
分娩後	0(0.0)	1(0.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
多胎(再掲)	10(1.0)	9(1.0)	9(1.0)	7(0.9)	9(1.2)

(単位:人、%)

(イ) 妊娠届出時年齢

年齢	30		令和元		2		3		4						
	初産婦	経産婦	初産婦	経産婦	初産婦	経産婦	初産婦	経産婦	初産婦	経産婦					
～19歳	12 (1.2)	9 (2.1)	3 (0.5)	8 (0.9)	8 (2.2)	0 (0.0)	6 (0.7)	5 (1.3)	1 (0.2)	8 (1.0)	8 (2.3)	0 (0.0)	4 (0.5)	4 (1.2)	0 (0.0)
20～24歳	79 (8.1)	58 (13.6)	21 (3.8)	75 (8.4)	59 (16.4)	16 (3.0)	63 (7.0)	38 (10.1)	25 (4.8)	60 (7.5)	38 (10.8)	22 (4.9)	42 (5.7)	27 (8.3)	15 (3.6)
25～29歳	266 (27.3)	142 (33.4)	124 (22.6)	263 (29.7)	136 (38.0)	127 (24.1)	254 (28.4)	147 (39.1)	107 (20.7)	236 (29.5)	137 (38.9)	99 (22.2)	206 (27.7)	124 (38.0)	82 (19.7)
30～34歳	352 (36.1)	131 (30.8)	221 (40.3)	311 (35.1)	93 (25.9)	218 (41.3)	332 (37.2)	118 (31.4)	214 (41.4)	286 (35.8)	104 (29.6)	182 (40.7)	275 (37.0)	101 (31.0)	174 (41.7)
35～39歳	215 (22.1)	58 (13.6)	157 (28.6)	187 (21.1)	45 (12.5)	142 (26.9)	189 (21.2)	53 (14.1)	136 (26.3)	166 (20.8)	48 (13.6)	118 (26.4)	175 (23.6)	57 (17.5)	118 (28.3)
40歳～	50 (5.1)	27 (6.4)	23 (4.2)	43 (4.8)	18 (5.0)	25 (4.7)	49 (5.5)	15 (4.0)	34 (6.6)	43 (5.4)	17 (4.8)	26 (5.8)	41 (5.5)	13 (4.0)	28 (6.7)

ウ 6か月児すこやか相談

(ア) 方法 : 保健センターにおいて集団方式(月2回または3回)
 ※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、2回未実施。
 ※令和3年度は、大雨の影響で、1回未実施。

(イ) 内容 : 身体計測、赤ちゃん体操、運動発達指導、生活指導、栄養指導、保健指導・相談、母のメンタルヘルスチェック

(ウ) 従事者 : 管理栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士

(エ) 実施状況 (単位:回、人、%)

年度	平成30	令和元	2	3	4
回数	36	34	36	35	34
該当者数	1,006	921	907	846	789
来所者数	1,000	904	891	848	789
来所率	98.3	99.4	98.2	100.2	100.0

(オ) 要観察児内訳(重複あり) (単位:人)

内容	平成30	令和元	2	3	4
身体発育観察	289	203	155	171	171
運動発達観察	69	38	68	73	73
股関節要観察	2	1	2	2	2
心 疾 患	7	12	6	8	8
皮 膚 疾 患	86	121	115	108	108
眼 疾 患	2	2	0	2	2
停留睪丸	0	0	0	1	1
先天性疾患	9	1	4	8	8
その他の疾患	29	12	22	39	39
育児問題	21	27	38	57	57
計	553	417	410	469	469

(カ) 理学療法士の相談 (単位:人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
相談者数	—	—	190	259	269

(単位:人)

内容	令和2	3	4
母体の健康相談	82	163	165
乳児の運動発達相談	108	96	104

(キ) 栄養指導状況

(単位:人)

内容	年度	平成30	令和元	2	3	4
離乳食が未開始		8	7	3	6	4
離乳食のすすめ方		178	113	203	179	191
やせ(カウプ指数15未満)		24	20	22	17	11
体重増加不良		30	39	21	26	27
授乳量・回数		17	17	11	13	13
肥満(カウプ指数19以上)		65	58	57	49	55
菓子類を与えている		2	0	0	0	0
アレルギー一		2	3	3	6	3
その他		28	49	30	28	29
合計		280	306	350	324	333

エ 運動発達相談

(ア) 対象 : 運動発達面に遅れが疑われる児とその親

(イ) 従事者 : 理学療法士、保健師(※令和3年度は作業療法士)

(ウ) 実施状況

a 把握経路

(単位:人)

把握経路	年度	平成30	令和元	2	3	4
6か月児すこやか相談		8	2	12	15	18
10か月児健診		23	22	11	16	19
1歳6か月児健診		0	0	1	1	1
電話相談		6	5	2	9	6
相談室・出張相談		9	15	7	16	10
その他		7	2	5	13	10
計		53	46	38	70	64

※定例運動発達相談は、月2回実施。

b 相談結果

(単位:人)

相談結果	年度	平成30	令和元	2	3	4
問題なし		0	2	1	8	12
すくすく運動教室		31	30	17	31	21
10か月児健診にて確認		1	0	6	13	8
1歳6か月児健診にて確認		5	3	8	14	9
相談室にて確認		2	1	1	0	0
電話相談にて確認		14	9	4	3	6
未来所		0	1	1	0	4
再運動発達相談		0	0	0	0	1
受診すすめ		0	0	0	1	2
その他		0	0	0	0	0
再運動発達相談	問題なし	0	0	0	0	1
	すくすく運動教室	0	0	0	0	0
	10か月児健診にて確認	0	0	0	0	0
	1歳6か月児健診にて確認	0	0	0	0	0
	電話相談にて確認	0	0	0	0	0
計		53	46	38	70	64

オ ステップ相談

- (ア) 対 象 : 1歳6か月児健診要観察児および教室参加児とその親
- (イ) 内 容 : 身体計測、個別相談
- (ウ) 従 事 者 : 心理判定員、保健師
- (エ) 実施状況

a 1歳9か月～1歳11か月

【相談者数】

内訳	年度	平成30	令和元	2	3	4
	対象者数					
来 所 相 談		3	0	0	0	0
電 話 相 談		0	0	0	0	0
家 庭 訪 問		0	0	0	0	0
合 計		3	0	0	0	0

【結果】※重複あり (単位:人)

内訳	年度	平成30	令和元	2	3	4
問 題 な し		0	0	0	0	0
受 診 勧 め ・ 継 続		0	0	0	0	0
親子通園・児童発達支援勧め・継続		0	0	0	0	0
親子遊びの教室ピノキオ		1	0	0	0	0
2 歳 児 相 談		1	0	0	0	0
再ステップ相談		0	0	0	0	0
3 歳 児 健 診		0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0

b 2歳～2歳5か月

【相談者数】

内訳	年度	平成30	令和元	2	3	4
	対象者数					
来 所 相 談		181	170	139	133	140
電 話 相 談		0	0	0	0	0
家 庭 訪 問		2	0	2	2	5
合 計		183	170	141	135	145

【結果】※重複あり (単位:人)

内訳	年度	平成30	令和元	2	3	4
問 題 な し		82	67	43	39	23
受 診 勧 め ・ 継 続		0	1	0	0	0
親子通園・児童発達支援勧め・継続		0	0	2	1	0
つばめっこ教室勧め		20	29	15	3	3
親子遊びのピノキオ		0	0	0	1	0
教室勧めドナルド		33	35	26	27	29
個 別 相 談		20	25	13	4	2
再ステップ相談		55	43	52	34	42
3 歳 児 健 診		23	26	25	32	54
そ の 他		2	3	5	3	0

c 2歳6か月～2歳11か月

【相談者数】

内訳	年度	平成30	令和元	2	3	4
	対象者数					
来 所 相 談		48	37	35	51	61
電 話 相 談		0	0	0	0	0
家 庭 訪 問		3	3	2	1	0
合 計		51	40	37	52	61

【結果】※重複あり (単位:人)

内訳	年	平成30	令和元	2	3	4
問 題 な し		17	8	6	5	6
受 診 勧 め ・ 継 続		1	2	1	0	0
親子通園・児童発達支援勧め・継続		4	4	3	0	0
つばめっこ教室勧め		6	9	10	17	10
個 別 相 談		11	9	13	10	3
再 相 談		0	0	0	0	0
3 歳 児 健 診		19	19	14	27	38
そ の 他		0	2	1	0	3

カ わんぱく相談

- (ア) 対 象 : 3歳児健診要観察児とその親
- (イ) 内 容 : 身体測定、個別相談
- (ウ) 従 事 者 : 心理判定員、保健師
- (エ) 実施状況

a わんぱく相談 (単位:人)

内 容		年				
		平成30	令和元	2	3	4
対 象 者 数	未満児	0	1	0	0	1
	年少児	20	18	7	17	19
	年中児	0	0	0	2	1
	年長児	0	0	0	0	0
	合計	20	19	7	19	21
来 所 者 数	未満児	0	1	0	0	0
	年少児	16	15	6	12	18
	年中児	0	0	0	0	0
	年長児	0	0	0	0	0
	合計	16	16	6	12	18

※再わんぱく相談含む

【結果】 ※重複あり (単位:人)

内 容		年				
		平成30	令和元	2	3	4
問題なし・園内支援		12	2	0	1	1
受診勧め・継続		1	0	0	0	1
並行通園・児童発達支援勧め		4	6	6	11	17
ぱたぼん教室勧め		0	0	0	0	0
ことばの教室勧め		1	0	0	0	0
発 達 検 査		3	4	4	9	4
再わんぱく相談		0	1	0	0	2
発 達 支 援 部 会		0	0	0	0	0
そ の 他		1	3	0	0	0
合 計		22	16	10	21	25

※平成29年度から事前に園訪問をし、早急な支援が必要な児のみをわんぱく相談の対象とした。

キ 個別相談

幼児期における健診、相談において、言葉の遅れ等精神発達面に問題を有する児に対し、心理判定員が発達検査を行い、児の発達課題を明確にするとともに、親の不安の解消に努め適切な対応ができるよう支援する。

(※令和元年度、令和2年度1月から3月は、子ども発達支援センター事業として実施)

(ア) 対象：言葉の遅れなど精神発達に問題を有している、就学前の児とその親

(イ) 従事者：心理判定員

(ウ) 実施状況 (単位：人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
相談実施人数	74	67	45	65	65

ク 園訪問

(ア) 対象：幼稚園・保育園に在籍している、わんぱく相談または個別相談対象児

(イ) 内容：行動観察、発達検査、面談等

(ウ) 従事者：保健師、心理判定員

(エ) 実施状況 (単位：回、人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
訪問回数	28	15	34	39	41
対象児数	59	46	53	52	72

② 家庭訪問

745,618円

ア 実施状況

(単位：人)

年		平成30	令和元	2	3	4
内訳						
赤ちゃん訪問(再掲：未熟児)		949(91)	888(81)	874(72)	4か月未満:843 4か月以降: 7 (95)	4か月未満:729 4か月以降: 3 (74)
家族計画		939	882	868	841	727
乳児	事後	7	26	32	33	16
	未健	3	11	0	2	1
幼児	事後	15	32	25	32	31
	未健	28	21	9	15	15
ハイリスク	妊婦	14	10	30	39	74
	産婦	32	36	46	32	70
生活環境・その他		54	107	154	138	110
計		2,041	2,013	2,038	1,982	1,776

イ 乳児家庭全戸訪問事業 研修会

乳児家庭全戸訪問事業に従事する職員が、乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行い、支援の必要な家庭には、適切なサービス提供につなげることができるように、支援が必要な家庭のアセスメントができるようになるために研修会を実施した。

(ア) 参加者：健康推進課(保健師・助産師)、子ども家庭課職員(保健師・養育支援員)

(イ) 講師：順天堂大学 保健看護学部 教授 岩清水 伴美 氏

実施日	研修内容	参加人数
令和4年4月25日	○乳児家庭全戸訪問事業について (※母子保健法に基づく訪問指導との関係についてを含む) ○質問票3種 ^{※1} の活用と留意点について (^{※1} エンバハラ産後うつ病質問票、育児支援チェックリスト、赤ちゃんの気持ち質問票) ○事例を用いたグループワーク	26

③ 療育相談

895,288円

ア すくすく運動教室

健診・相談・訪問等で運動発達面での指導が必要な乳幼児に対してグループ指導・個別指導を行い、
 児の運動発達を促す。

(ア) 対 象 : 運動発達に問題を有する児とその親

(イ) 方 法 : グループ及び個別指導 月2回

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和元年度は1回、
 令和2年度は3回未実施。

(ウ) 内 容 : ふれあい体操、スキンシップ遊び、個別指導

(エ) 従 事 者 : 理学療法士、保育士、保健師 (※令和3年度は作業療法士)

(オ) 実施状況

(a) 参加状況

(単位:人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
対 象 者 人 数	40	50	28	42	40
参 加 実 人 数	38	41	26	39	37
参 加 延 人 数	241	249	130	208	205
親・その他参加者延人数	256	278	144	251	222

(b) 参加理由

(単位:人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
染 色 体 異 常	3	2	3	5	1
脳性麻痺(脳原性疾患)	0	0	0	1	1
精 神 発 達 遅 滞	15	3	1	8	9
運動発達の遅れのみ	14	38	15	23	26
その他(低出生含む)	8	7	9	5	3
計	40	50	28	42	40

(c) 事後指導

(単位:人)

年	平成30	令和元	2	3	4
個 別 訪 問 対 応	2	0	1	1	0
10か月児健診で確認	0	0	0	3	3
1歳6か月児健診で確認	14	24	15	21	12
親子遊びの教室	0	1	0	1	2
2歳児ステップ相談にて確認	6	4	1	2	2
ガゼルの森親子通園	3	2	0	0	0
児 童 発 達 支 援	1	0	1	2	1
問 題 無 く 卒 業	3	4	0	1	9
その他(転出含む)	11	15	10	11	0
計	40	50	28	42	29

イ 親子遊びの教室 (ピノキオ・ドナルド)

1歳6か月児健診やステップ相談でスクリーニングされた母子に対し、グループによる遊びを通して児の発達を促し、良好な親子関係を築くよう支援する。

- (ア) 対象 : 精神発達面における経過観察が必要な児とその親
ピノキオ:1歳6か月～
ドナルド:2歳～
- (イ) 方法 : 地域子育て支援事業との共催によるグループ指導
参加期間:6か月(ピノキオ)、6か月(ドナルド)
ピノキオ月1回、ドナルド月1回、合同外遊び月1回
※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和元年度は3回、令和2年度は5回、令和3年度は4回未実施、令和4年度は1回未実施。
- (ウ) 内容 : ピノキオ:サーキットでの体づくり、ふれあい遊び
ドナルド:ムーブメント活動
外遊び:山道散歩、人工芝での自由遊びなど
- (エ) 従事者 : 保育士、保健師、心理判定員
- (オ) 実施状況

(a) 参加状況 (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	平成30	令和元	2	3	4	平成30	令和元	2	3	4
対象児数	37	35	19	26	30	53	47	27	34	37
参加実人員	29	28	13	18	22	42	33	19	23	31
参加延人員	118	119	62	60	92	156	117	86	93	118

(b) 把握経路 (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	平成30	令和元	2	3	4	平成30	令和元	2	3	4
すくすく運動教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳6か月児健診	31	35	19	25	30	2	1	0	0	0
ステップ相談	4	0	0	1	0	52	44	27	33	36
その他	0	1	0	0	0	3	2	1	1	1

(c) 事後指導 (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	平成30	令和元	2	3	4	平成30	令和元	2	3	4
ステップ相談	12	11	9	19	22	20	24	9	0	0
再ステップ相談	0	1	0	0	0	17	4	7	26	21
3歳児健診	0	4	0	0	0	5	5	2	0	2
つばめっこ教室	11	10	4	0	0	6	10	7	1	1
親子遊びの教室	2	4	1	0	1	0	0	3	0	0
親子通園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	2	3	2	1	0	2

(d) 問題点(重複) (単位:人)

年度	ピノキオ					ドナルド				
	平成30	令和元	2	3	4	平成30	令和元	2	3	4
言語表出(ことばの遅れ)	26	32	12	25	27	44	41	21	28	32
多動・衝動性	21	12	7	8	4	22	15	12	11	8
言語理解認知(指示理解低い)	36	35	14	22	25	44	32	22	26	24
対人コミュニケーション	33	29	5	23	26	40	36	9	28	29
養育問題	5	7	12	2	7	15	16	23	9	5

ウ つばめっこ教室

ステップ相談・3歳児健診などでスクリーニングされた精神発達面において問題を有する児とその保護者に対して、早期療育準備の機会を提供する。グループ指導をとおして、親に児の発達状況を確認してもらい、適切な育児ができるよう支援する。

(ア) 対 象 : 精神発達面に問題を有する児とその親

(イ) 方 法 : 1期6回 3か月間 年間4期 グループ及び個別指導

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため令和元年度は1回、令和2年度は1期6回、令和4年度は1回中止。

(ウ) 内 容 : 朝の会、手遊び、テーマ遊び、講話、教室参加事前に心理判定員による発達検査

(エ) 従 事 者 : 心理判定員、保健師、保育士、療育に関する講話講師、託児ボランティア

(オ) 実施状況

(a) 参加状況

(単位:人)

		年度	平成30	令和元	2	3	4
対 象	児 数		58	64	40	39	30
参 加	実 人 員		58	60	39	37	27
参 加	延 人 員		303	308	211	184	121

(b) 把握経路

(単位:人)

		年度	平成30	令和元	2	3	4
親子遊びの教室	ピノキオ		14	7	3	1	0
	ドナルド		12	7	10	2	2
2 歳 児	ス テ ッ プ 相 談		4	15	7	9	1
再 2 歳 児	ス テ ッ プ 相 談		4	6	7	13	19
3 歳 児	健 診		16	20	11	14	7
個 別	相 談		0	0	0	0	0
健 康	相 談 室		2	2	0	0	0
そ の 他			6	3	1	0	1

(c) 事後指導の内容(重複)

(単位:人)

		年度	平成30	令和元	2	3	4
再 2 歳 児	ス テ ッ プ 相 談		1	1	0	0	0
3 歳 児	健 診		20	38	25	0	0
わ ん ぱ く	相 談		9	8	5	0	0
児 童	発 達 支 援		35	17	25	21	18
親 子	通 園		42	34	24	5	9
並 行	通 園		4	5	2	4	0
ぱ た ぼ ん	教 室		0	0	0	0	0
幼 児	個 別 相 談		0	0	0	0	0
受	診		3	1	0	1	2
そ の 他 (転 出 等)			1	1	1	6	0

(d) 問題点(重複)

(単位:人)

		年度	平成30	令和元	2	3	4
言 語 表 出 (こ と ば の 遅 れ)			44	50	30	33	21
多 動 ・ 衝 動 性			38	28	20	17	17
言 語 理 解 認 知 (指 示 理 解 低 い)			46	50	21	31	16
対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン			53	51	21	35	25
養 育 問 題			6	7	12	7	5

エ 乳幼児の運動発達研修会 令和3年度のみ

子育て中の親子に関わり、子育ての相談にのる保健師または保育士が、乳幼児の運動発達について学ぶことにより、保護者への適切な情報提供と早期支援が必要な児へのアセスメントができるようになるために研修会を実施した。

- (ア) 参加者：健康推進課(保健師・助産師)、子ども家庭課(養育支援員)、児童課(育児サポーター)
子ども発達支援センター(保育士)、子育て支援センター等子育て支援施設職員
(イ) 講師：Body Coordination ポポラ 理学療法士 相馬 綾子 氏

実施日	研修内容	参加人数
令和3年8月11日	○乳幼児期の運動発達について ○運動発達を促す体操や遊びについて ○運動発達の相談を勧める目安について ○藤枝市の運動発達相談、すくすく運動教室について(※事業担当者から説明)	47

(4) 妊娠・出産包括支援事業

3,801,730 円

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等の専門職が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを策定することにより、妊産婦等にきめ細かい支援を実施する。

① 妊婦への支援

ア 特定妊婦への支援

- (ア) 対象 : 母子手帳発行時、プラン作成が必要と判断された妊婦
- (イ) 内容 : 電話、訪問、面談、ケース会議 等
- (ウ) 従事者 : 保健師
- (エ) 実施状況

イ ハイリスク妊婦への支援

- (ア) 対象 : 母子手帳発行時、継続支援が必要と判断された妊婦
- (イ) 内容 : 電話、訪問、面談 等
- (ウ) 従事者 : 保健師
- (エ) 実施状況

(単位:人)

		年度					
		30	令和元	2	3	4	
特定妊婦※		38(10)	25(6)	54(7)	62(15)	53(25)	
支援内容	電話	実人数	19	10	40	62	78
		延人数	51	23	43	87	208
	訪問	実人数	9	6	19	9	16
		延人数	12	7	35	17	42
	面談	実人数	12	3	4	10	14
		延人数	13	5	6	24	42
	プラン作成数	31	25	54	62	53	
	ケース会議	4	5	5	2	8	

(単位:人)

		年度					
		30	令和元	2	3	4	
ハイリスク妊婦※		247	286	304	322	317	
支援内容	電話	実人数	193	179	135	164	72
		延人数	193	179	135	164	72
	訪問	実人数	1	3	1	5	4
		延人数	2	3	1	5	4
	面談	実人数	20	1	38	53	10
		延人数	20	1	40	53	10

※CKD・DMのみのリスク者を除く。

※ ()は、前年度から継続支援数。

② 産婦への支援

- (ア) 対象 : 特定妊婦、及び出産後、継続支援が必要と判断された産婦
- (イ) 内容 : 産科医療機関との連携により早期訪問を行い、産後ケア等必要な支援につなげる
- (ウ) 従事者 : 産婦健診実施医療機関、保健師
- (エ) 実施状況

(単位:人)

		年度				
		令和元	2	3	4	
産婦健診受診者数 (受診率%)	1回目	717(81.5)	749(84.5)	728(86.5)	653(86.4)	
	2回目	857(96.2)	882(99.4)	830(98.7)	735(98.3)	
要支援産婦(要支援率%)	1回目	99(13.8)	101(13.5)	89(12.2)	106(16.4)	
	2回目	90(10.5)	65(7.4)	74(8.9)	67(9.2)	
内訳 (重複あり)	専門医療機関紹介	1回目	1	1	1	1
		2回目	1	7	2	0
	市へ支援依頼	1回目	51	49	49	14
		2回目	55	37	50	19
	産院継続フォロー	1回目	56	57	45	13
		2回目	36	22	20	12
連絡票受理件数	1回目	45	49	29	65	
	2回目	26	66	27	55	

※1回目:2週間健診 2回目:1か月健診

2,562,540 円

③ 産後ケア事業

- (ア) 対 象 : 産婦健診の結果等により、継続支援が必要と判断された母子
- (イ) 内 容 : 対象者への心身のケアや育児サポート
- (ロ) 従 事 者 : 委託先の医院・助産院に所属する医療従事者
- (エ) 実施状況 :

(単位:人)

事業形態		令和元	2	3	4
短期入所(ショートステイ)型	実人数	0	0	1	3
	延人数	0	0	1	8
通所(デイサービス)型7時間	実人数	16	14	24	35
	延人数	63	54	60	85
通所(デイサービス)型2時間未満	実人数	32	40	49	90
	延人数	113	156	136	212
居宅訪問(アウトリーチ)型	実人数	1	2	13	31
	延人数	2	6	30	106

④ 産前・産後サポート事業

- (ア) 対 象 : 母子健康手帳の交付を受けた妊婦
- (イ) 内 容 : 妊婦の新型コロナウイルス感染症予防対策としてマスクを郵送する。
令和2年度のみ

郵送延数	1,294人	実人数	726人
------	--------	-----	------

(5) 育児支援

398,589円

① 育児教室

156,885円

ア パパママ教室

(ア) 対象 妊娠6~7か月の初産婦とその夫

(イ) 方法 講義、体験

※令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、個別パパママも実施。

(ウ) 内容

内容	赤ちゃん・おっぱい・栄養・歯・地域の子育て支援の話 抱っこ・おむつ交換・着替えの仕方
従事者	助産師・保健師・管理栄養士

(エ) 実施状況

(単位:回、人、%)

年度	回数	受講者数		夫の参加率
		妊婦	夫	
30	15	255	117	45.9
令和元	13	175	65	37.1
2	27 (再掲:個別パパママ16回)	155 (再掲:個別パパママ53人)	108 (再掲:個別パパママ39人)	69.7 (再掲:個別パパママ73.6)
3	57 (再掲:個別パパママ45回)	175 (再掲:個別パパママ46人)	148 (再掲:個別パパママ40人)	84.6 (再掲:個別パパママ88.9)
4	30 (再掲:個別パパママ18回)	144 (再掲:個別パパママ26人)	131 (再掲:個別パパママ26人)	91.0 (再掲:個別パパママ100.0)

イ もぐもぐごっくん赤ちゃん教室

(ア) 対象 : 離乳食期の乳児を持つ母親

(イ) 方法 : 集団(オンライン配信含む)及び個別指導 前編(5か月児頃) 月1回、後編(8か月児頃) 月1回

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、合計6回未実施。

(ウ) 内容 : 管理栄養士による講話、実技

(エ) 実施状況

(単位:回、人)

		平成30	令和元	2	3	4
実施回数	前編(5か月児頃)	12	11	9	12	12
	後編(8か月児頃)	12	11	9	12	12
受講者数	前編(5か月児頃)	435 (323)	352 (287)	172 (72)	200 (89)	162 (102)
	後編(8か月児頃)	292 (251)	236 (191)	113 (62)	150 (66)	131 (92)

()内は児の参加人数

ウ その他

児童課等から講師依頼を受け講義を実施した。

実施日	講座名	テーマ	受講者数
令和4年 6月15日	託児ボランティア養成講座	乳幼児の病気と事故	16
令和5年 2月4日	第1回藤の里ファミリー・サポート・センター提供会員向け講習会	乳幼児の病気と事故	8
令和5年 3月7日	託児ボランティア研修会	乳幼児の特性から見る事故の予防治と対処法 新型コロナウイルス感染症の「5類」引き下げでの託児における注意点等	31
合 計			55

② 乳幼児虐待予防事業

241,704円

ア 新生児訪問時における産後うつ病スクリーニング検査

産後うつ病(疑い含む)や育児不安の強い親など、継続的支援を必要とする母親を早期にスクリーニングし、介入する。

(ア) 方法 : 育児指導や産婦の保健指導終了後に、自己記入式のEPDSを実施。
実施に当たっては、手順や留意点等を保健師間で統一している。

EPDS9点以上の産婦には、訪問後1か月以内に電話相談を実施し、
電話相談・相談室・離乳食講習会の利用を勧め、必要に応じて継続訪問する。

(イ) 結果

(単位:人、%)

		年		平成30		令和元		2		3		4	
		対 象 産 婦 数	実 施 者 数 (率)	ハイリスク妊婦	その他の産婦	ハイリスク妊婦	その他の産婦	ハイリスク妊婦	その他の産婦	ハイリスク妊婦	その他の産婦	ハイリスク妊婦	その他の産婦
対 象 産 婦 数		970	917	851	862	736							
実 施 者 数 (率)		951(98.0)	889(96.9)	873(102.6)	840(97.7)	727(98.8)							
EPDS 9点以上	ハイリスク妊婦	25	57	32	47	21	40	31	57	35	46		
	その他の産婦	32	(6.0)	15	(5.3)	19	(4.6)	26	(6.8)	13	(6.6)		

訪問時の産後日数		年		平成30		令和元		2		3		4	
		～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	
～	30	57	18	24	30	27							
31	～ 60	0	24	12	22	17							
61	～ 90	0	5	2	5	4							
91	～ 120	0	0	2	0	0							

(ウ)事後(6か月児すこやか相談結果)

(単位:人)

内訳		年度				
		平成30	令和元	2	3	4
問題なし		17	9	8	13	17
経過観察	ひまわり教室紹介	2	3	1	0	1
	1歳6か月児健診にて相談	6	5	4	8	5
	継続訪問	0	1	0	0	0
	6か月児相談未実施	28	24	22	22	18
	その他	5	4	4	7	8
転出		0	2	1	2	1
合計		58	48	40	52	50

イ 乳幼児健康診査時におけるアンケート(家族の健康について)

育児不安や育児困難感の強い親など、継続的支援を必要とする家族を早期にスクリーニングし、介入する。

(ア) 対象：「6か月児すこやか相談」「1歳6か月児健診」「3歳児健診」に来所された家族

(イ) 方法：保健師との個別面接時にアンケートをもとに聞きとりで確認する。
(平成29年度までは父親や祖父母が来所した場合対象から外している)

(ウ) 結果

(単位:人、%)

年度	実施場所	内訳 対象者数	グ レ ー ヴ ー ン				
			相談者数	率	継続支援について		
					不要者数	必要者数	率
30	6か月児すこやか相談	1,000	188	18.8	152	36	3.6
	1歳6か月児健診	1,022	124	12.1	86	38	3.7
	3歳児健診	1,169	178	15.2	127	51	4.4
令和元	6か月児すこやか相談	921	220	23.9	155	55	6.0
	1歳6か月児健診	925	130	14.1	100	30	3.2
	3歳児健診	1,039	153	14.7	118	35	3.4
2	6か月児すこやか相談	891	251	28.2	190	61	6.8
	1歳6か月児健診	1,043	207	19.8	145	62	5.9
	3歳児健診	1,140	195	17.1	150	45	3.9
3	6か月児すこやか相談	848	345	40.7	267	78	9.2
	1歳6か月児健診	893	230	25.8	181	49	5.5
	3歳児健診	1,070	384	35.9	319	65	6.1
4	6か月児すこやか相談	789	290	36.8	230	60	7.6
	1歳6か月児健診	895	205	22.9	156	49	5.5
	3歳児健診	928	268	28.9	227	41	4.4

ウ 子育て支援教室“ひまわり”

「虐待やその疑いのある親」あるいは「育児不安や養育困難な親」など、母親の精神的負担が大きいケースを対象に、メンタルヘルス対策として子育て支援教室を開催し、子どもへの虐待の予防を図る。

- (ア) 対象 : 健診・相談および家庭訪問においてスクリーニングした結果、継続的支援が必要だと判断されたグレーゾーンやハイリスク親子
- (イ) 方法 : <グループ支援>母子分離によるグループケア活動
<個別支援>個別面接 適宜
- (ウ) 内容 : <母グループ> グループミーティング
<子どもグループ> 自由遊び
- (エ) 従事者 : <母グループ> (進行)家庭児童相談員 (記録)保健師 (助言)臨床心理士
<子どもグループ> (観察)保健師 (託児)託児ボランティア
- (オ) 結果

内訳		平成30		令和元		2		3		4	
		グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援	グループ支援	個別支援
母親	実人数	23	/	24	/	16	/	11	/	9	/
	延べ人数	92	0	59	2	60	2	32	0	10	0
	対象者数	28	/	24	/	27	/	31	/	22	/
子ども	延べ人数	97	0	68	2	43	2	26	0	10	0
	対象者数	24	/	33	/	43	/	53	/	34	/

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、令和元年度は2回、令和2年度は3回未実施。

(6) 少子化突破展開事業

1,009,100 円

令和2年度から4年度までの3か年事業。

年度	内容
令和2	市内中学校に思春期講座を実施するにあたり、養護教諭等との情報交換を実施。

年度	対象	内容	実施日	参加者	
				生徒	教員
3	岡部中学校	○講演 「知ろう・考えよう・未来のために」 ・大切な命とは(妊孕性を含めた話) ・二次性徴と異性への思いやり(性の多様性を含めた話) ・将来子どもを産み育てるために今自分ができること 講師:NPO法人リプロダクティブヘルス研究会 助産師 御宿 みほ	令和3年6月15日	60	4
	広幡中学校		令和3年6月18日	74	4
	西益津中学校		令和3年10月22日	100	5
	大洲中学校※		令和3年11月12日	75	4
	瀬戸谷中学校		令和3年12月21日	10	2
	藤枝中学校		令和4年3月7日	135	6
	青島中学校※		令和4年3月7日	203	8
	葉梨中学校		令和4年3月8日	85	4
	高洲中学校		令和4年3月8日	192	7
	青島北中学校※		令和4年3月14日	87	4

年度	対象	内容	実施日	参加者
				生徒
4	岡部中学校※	○講演 「知ろう・考えよう・未来のために」 ・助産師の仕事を通して感じる命の大切さについて ・性感染症について ・望まない妊娠について 講師:NPO法人リプロダクティブヘルス研究会 助産師 宮原 史子	令和4年6月10日	63
	青島北中学校※		令和4年6月21日	88
	広幡中学校		令和4年6月24日	66
	西益津中学校※		令和4年7月1日	98
	藤枝中学校		令和4年10月20日	128
	瀬戸谷中学校		令和4年12月20日	10
	青島中学校※		令和5年3月6日	244
	葉梨中学校		令和5年3月8日	103
	大洲中学校※		令和5年3月8日	75
	高洲中学校※		令和5年3月10日	164

(7) 妊娠出産・子育て応援事業費

90,327,449 円

「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(令和4年10月28日閣議決定)においてR5年1月1日から事業開始となった。
妊娠届出時より妊婦や0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児の見通しをたてるための面談や、継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につなぐ、伴走型支援の充実を図った。
また、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費助成等、経済的支援を一体として実施した。
(給付は令和4年4月以降妊娠・出産した人に遡る)

① 妊娠8か月相談(伴走型相談支援の1つ)

通知対象者数:53人 アンケート回収:48人 面談希望者:5人 面談実施者:3人

② 出産・子育て応援ギフト(経済的支援)

	内 容	対象者	対象者・事業費
出産応援ギフト	妊婦を対象に、出産や育児に関連する費用負担軽減のために5万円給付	令和4年4月以降にし妊娠届出をした人	対象者数 1,163人 58,150千円
子育て応援ギフト	こどもの養育者を対象に、子育て支援サービス等の利用者負担軽減のために、子ども1人に対し5万円給付	令和4年4月以降に出生した子の養育者	対象者数 634人 31,700千円

2 エイズ予防対策事業(思春期保健事業)

10代の人工妊娠中絶、性感染症罹患率の増加などの問題に対応するため、性に関する健全な意識を養うとともに、性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図るため、エイズ予防講演会とあわせて実施した。
令和3年度はしふじの国少子化突破展開事業として、藤枝市内全公立中学校3年生を対象に思春期講座を実施しました。

(単位:人)

年度	対象		内容	実施日	参加者	
					児童生徒	教員
29	青島北中学校 3年生	1回目	「二次性徴とマナー 異性への思いやり」 T.T形式(※1)での1時間授業	平成29年9月22日	81	4
		2回目	『みなさんの「いつか」のために今知っておきたい命の知識』 前田産科婦人科医院前田医師による講演会	平成29年11月27日	83	5
		3回目	「あふれる性情報の選択と性行動について」 T.T形式(※1)での1時間授業	平成30年2月26日	82	4

※T.T(Team Teaching)形式:クラス担任と保健師がペアで講義。

年度	対象		内容	実施日	参加者	
					児童生徒	教員
30	青島中学校 3年生	1回目	『みなさんの「いつか」のために今知っておきたい命の知識』 前田産科婦人科医院前田医師による講演会	平成30年11月21日	264	10
		2回目	「希望ある未来のための『生』と『性』を考える」 教諭による寸劇を交えた全体での授業	平成31年3月11日	264	10

年度	対象		内容	実施日	参加者	
					児童生徒	教員
令和元	葉梨中学校 3年生	1回目	『みなさんの「いつか」のために今知っておきたい命の知識』 前田産科婦人科医院前田医師による講演会	令和元年10月30日	94	5
		2回目	「希望ある未来のための『生』と『性』を考える」 教諭による寸劇を交えた全体での授業			

※2回目は、令和2年3月9日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、学校が休校となり中止となった。

年度	対象		内容	実施日	参加者	
					児童生徒	教員
2	広幡中学校		医療現場における性の現実—その光と影— 前田産科婦人科医院 前田医師による講演会	令和2年11月27日	73	4
	高洲中学校		医療現場における性の現実—その光と影— 前田産科婦人科医院 前田医師による講演会	令和3年3月10日	189	7
	西益津中学校		医療現場における性の現実—その光と影— 前田産科婦人科医院 前田医師による講演会	令和3年3月11日	95	4
	葉梨中学校		「あふれる性情報の選択と性行動について」 藤枝市健康推進課保健師講義と演習	令和3年3月15日	108	4

3 予防接種事業

☆令和4年度 定期予防接種基準（指定医療機関にて個別接種）

予防接種名	対象者	接種方法	自己負担金
B型肝炎	1歳に至るまで	初回：27日以上の間隔をおいて2回 追加：第1回目の注射から139日以上の間隔において1回接種	無料
ロタ	1価（ロタリックス）：出生6週0日後から24週0日後まで 5価（ロタテック）：出生6週0日後から32週0日後まで	1価（ロタリックス）：27日以上の間隔をおいて2回接種 5価（ロタテック）：27日以上の間隔をおいて3回接種	無料
ヒブ	生後2か月から5歳に至るまで	初回：27日～56日までの間隔をおいて3回接種 追加：初回終了後、7か月～13か月の間に1回接種	無料
小児肺炎球菌	生後2か月から5歳に至るまで	初回：27日以上の間隔をおいて3回接種 追加：生後12月以上で、初回終了後、60日以上の間隔をおいて1回接種	無料
四種混合 三種混合 二種混合 不活化ポリオ	1期：生後3か月から7歳6か月に至るまで 2期：11歳以上13歳未満（二種混合）	1期初回：20日～56日の間隔で3回接種 1期追加：1期初回接種終了後1年～1年半の間に1回接種 2期：1回接種	無料
B C G	1歳に至るまで	1回接種	無料
麻疹風しん 混合 麻疹・風しん	1期：1歳から2歳に至るまで 2期：年長児 5期：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で、風しん抗体が低い人	1期：1回接種 2期：1回接種 5期：1回接種	無料
水痘	1歳から3歳に至るまで	初回接種終了後6か月～1年の間に2回目を接種	無料
日本脳炎	1期：生後6か月から7歳6か月に至るまで 2期：9歳以上13歳未満 経過措置：平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの20歳未満、平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの13歳未満	1期初回：6日～28日までの間隔で2回接種 1期追加：1期初回接種終了後概ね1年後に1回接種 2期：1回接種 経過措置：不足回数を接種	無料
子宮頸がん 予防ワクチン	・小学校6年生から高校1年生相当の女子 ※平成25年6月14日から積極的勧奨の差し控え ・キャッチアップ接種対象者（平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ）の女子	（サーバリックス）3回接種：1回目の接種から1月の間隔をおいて2回目を接種 1回目の接種から6月の間隔をおいて3回目を接種 （ガーダシル）3回接種：1回目の接種から2月の間隔をおいて2回目を接種 1回目の接種から6月の間隔をおいて3回目を接種	無料
高齢者用 インフルエンザ	・満65歳以上 ・60～65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の障害を有する人	1回／年（10月～2月の5か月間）	1,500円
高齢者用 肺炎球菌	・65歳 ・60～65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人 ・経過措置：70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳 ・既に当該予防接種を受けた人は対象から除く	1回接種	4,200円

(1) 定期予防接種

372,877,724円

※①～⑦対象者数：(令和元～3年度) 該年度の10月1日現在の0歳児、1歳児の数。

(令和4年度) 0歳児は標準接種月齢における月別出生数(母子保健係調べ)、1歳児は前年度3月31日の0歳児の数

① B型肝炎

(単位：人、%)

年度	内訳	平成30			令和元			2			3			4		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1回目	1,001	980	97.9	900	907	100.8	875	860	98.3	854	853	99.9	734	714	97.3
	2回目	1,001	969	96.8	900	935	103.9	875	856	97.8	854	865	101.3	741	727	98.1
	3回目	1,001	955	95.4	900	919	102.1	875	905	103.4	854	812	95.1	794	756	95.2
計		3,003	2,904	96.7	2,700	2,761	102.3	2,625	2,621	99.8	2,562	2,530	98.8	2,269	2,197	96.8

② ロタ

※令和2年10月1日より開始

(単位：人、%)

年度	内訳	平成30			令和元			令和2			3			4		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目	1価	/						426	274	92.3	854	567	98.9	734	505	96.5
	5価								119			278			203	
2回目	1価							426	212	73.0	854	582	99.8	741	507	97.0
	5価								99			270			212	
3回目	5価							計	71			284			219	
計	852								704	82.6	1,708	1,697	99.4	1,475	1,427	96.7

③ ヒブ

(単位：人、%)

年度	内訳	平成30			令和元			2			3			4		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目		1,001	972	97.1	900	910	101.1	875	863	98.6	854	857	100.4	734	716	97.5
2回目		1,001	974	97.3	900	920	102.2	875	876	100.1	854	861	100.8	741	730	98.5
3回目		1,001	970	96.9	900	919	102.1	875	886	101.3	854	884	103.5	754	750	99.5
4回目		1,074	994	92.6	1,028	955	92.9	921	943	102.4	912	869	95.3	819	807	98.5
計		4,077	3,910	95.9	3,728	3,704	99.4	3,546	3,568	100.6	3,474	3,471	99.9	3,048	3,003	98.5

④ 小児肺炎球菌

(単位：人、%)

年度	内訳	平成30			令和元			2			3			4		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目		1,001	967	96.6	900	910	101.1	875	849	97.0	854	857	100.4	734	717	97.7
2回目		1,001	975	97.4	900	927	103.0	875	852	97.4	854	861	100.8	741	732	98.8
3回目		1,001	971	97.0	900	934	103.8	875	852	97.4	854	885	103.6	754	754	100.0
4回目		1,074	997	92.8	1,028	977	95.0	921	920	99.9	912	856	93.9	819	807	98.5
計		4,077	3,910	95.9	3,728	3,748	100.5	3,546	3,473	97.9	3,474	3,459	99.6	3,048	3,010	98.8

⑤ 四種混合

(単位：人、%)

年度	内訳	平成30			令和元			2			3			4		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1回目	1,001	986	98.5	900	930	103.3	875	858	98.1	854	869	101.8	741	729	98.4
	2回目	1,001	973	97.2	900	953	105.9	875	858	98.1	854	887	103.9	754	748	99.2
	3回目	1,001	991	99.0	900	940	104.4	875	881	100.7	854	870	101.9	764	773	101.2
	追加	1,074	1,070	99.6	1,028	971	94.5	921	1,027	111.5	912	862	94.5	819	816	99.6
計		4,077	4,020	98.6	3,728	3,794	101.8	3,546	3,624	102.2	3,474	3,488	100.4	3,078	3,066	99.6

※三種混合は過去5年間定期接種としての実績なし。

※不活化ポリオワクチンの接種実績は次のとおり(平成30年度：9人、令和元年度：4人 以降実績なし)

⑥ BCG

(単位：人、%)

年度	内訳	平成30			令和元			2			3			4		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
接種者数		1,001	983	98.2	900	937	104.1	875	883	100.9	854	858	100.5	764	784	102.6

⑦ 麻しん風しん混合 ※5期は、成人保健係事業 (単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1期	1,074	1,025	95.4	1,028	964	93.8	921	908	98.6	912	837	91.8	819	811	99.0
2期	1,312	1,242	94.7	1,303	1,233	94.6	1,178	1,136	96.4	1,216	1,142	93.9	1,124	1,052	93.6
計	2,386	2,267	95.0	2,331	2,197	94.3	2,099	2,044	97.4	2,128	1,979	93.0	1,943	1,863	95.9
5期				641	525	81.9	1,003	826	82.4	260	254	97.7	97	84	86.6

※5期は当初令和元年度から3年度までの時限措置であったが、6年度末まで延長となっている。
 ※対象者：(令和元～3年度)第1期は該当年度の10月1日現在の1歳児の数、第2期は該当年度中に6歳になった数。
 (令和4年度)前年度3月31日を基準日として、第1期は0歳児、第2期は5歳児の数。
 ※麻しんワクチン、風しんワクチンは平成30年度以降実績なし。

⑧ 水痘 (単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目	1,074	1,009	93.9	1,028	972	94.6	921	922	100.1	912	846	92.8	819	818	99.9
2回目	1,074	1,013	94.3	1,028	922	89.7	921	951	103.3	912	816	89.5	819	729	89.0
計	2,148	2,022	94.1	2,056	1,894	92.1	1,842	1,873	101.7	1,824	1,662	91.1	1,638	1,547	94.4

※対象者：(令和元～3年度)該当年度の10月1日現在の1歳児の数、(令和4年度)前年度3月31日の0歳児の数

⑨ 日本脳炎 (単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4			
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	
1期	1回目	1,164	1,597	137.2	1,208	1,299	107.5	1,071	1,210	113.0	1,075	797	74.1	906	851	93.9
	2回目	1,164	1,578	135.6	1,208	1,282	106.1	1,071	1,272	118.8	1,075	819	76.2	906	817	90.2
	追加	1,296	1,325	102.2	1,183	1,524	128.8	1,213	1,378	113.6	1,086	307	28.3	1,053	1,499	142.4
2期	1,348	1,200	89.0	1,355	1,169	86.3	1,335	1,509	113.0	1,389	223	16.1	1,315	2,015	153.2	
計	4,972	5,700	114.6	4,954	5,274	106.5	4,690	5,369	114.5	4,625	2,146	46.4	4,180	5,182	124.0	
1期の特例措置		402			410			306			118			58		
2期の特例措置		290			312			324			183			150		

※特例措置：平成17年度～平成21年度にかけての接種の積極的勧奨の差し控えにより、接種を受ける機会を逸した平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで20歳未満の者は、不足分を接種できる。同じく平成19年4月2日～平成21年10月1日に生まれた者は、9～13歳未満の間に第1期の不足分を接種できる。
 ※対象者：(令和元～3年度)1期は該当年度の10月1日現在の3歳児、4歳児の数。2期は該当年度に小学校4年生の数。
 (令和4年度)1期は前年度3月31日現在の2歳児、3歳児の数。2期は通知発送数。
 ※令和3年度はワクチンの供給不足のため、小学校4年生への2期接種勧奨は実施せず。令和4年度、小学校4～5年生へ勧奨。

⑩ 二種混合 (単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
2期	1,320	1,076	81.5	1,337	1,139	85.2	1,344	1,218	90.6	1,354	1,154	85.2	1,357	1,162	85.6

※対象者：(令和元～3年度)該当年度に小学校4年生の数、(令和4年度)通知発送数。
 ※1期での接種は平成30年度以降実績なし。

⑪ 子宮頸がん予防ワクチン（定期接種）※小学校6年生～高校1年生相当の女子

(単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目	641	3	0.5	660	18	2.7	682	100	14.7	656	197	30.0	656	273	41.6
2回目	641	3	0.5	660	13	2.0	682	91	13.3	656	181	27.6	656	239	36.4
3回目	641	3	0.5	660	7	1.1	682	77	11.3	656	150	22.9	656	155	23.6
計	1,923	9	0.5	1,980	38	1.9	2,046	268	13.1	1,968	528	26.8	1,968	667	33.9

※平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年度から再開となり、定期接種対象者へ個別通知を発送。

⑫ 子宮頸がん予防ワクチン（キャッチアップ接種）※平成9年度から17年度生まれまでの女子

(単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			令和4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
1回目												4,206	221	5.3	
2回目												4,206	193	4.6	
3回目												4,206	128	3.0	
計												12,618	542	4.3	

⑬ インフルエンザ（高齢者） ※成人保健係事業

(単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
65歳以上	42,327	20,360	48.1	42,845	21,391	49.9	43,239	26,339	60.9	43,658	23,738	54.4	43,847	24,505	55.9
手帳所持者	72	48	66.7	81	41	50.6	86	35	40.7	59	25	42.4	58	28	48.3
計	42,399	20,408	48.1	42,926	21,432	49.9	43,325	26,374	60.9	43,717	23,763	54.4	43,905	24,533	55.9

⑭ 高齢者用肺炎球菌 ※成人保健係事業

(単位：人、%)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
65歳以上	8,932	3,822	42.8	5,347	1,638	30.6	5,751	1,781	31.0	5,539	1,839	33.2	5,539	1,857	33.5
手帳所持者	77	0	0.0	81	0	0.0	86	0	0.0	59	0	0.0	59	0	0.0
計	9,009	3,822	42.4	5,428	1,638	30.2	5,837	1,781	30.5	5,598	1,839	32.9	5,598	1,857	33.2

(2) 任意予防接種

32,818,538円

① 成人の風しん ※成人保健係事業

妊娠を希望する女性及びそのパートナー等で、風しんの抗体価が低い人に対し、風しんワクチン4,000円、麻しん風しんワクチン5,000円の一部助成を行う。

(単位：人)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
風しん	62	25	87	29	8	37	84	7	91	76	7	83	64	7	71
麻しん風しん	133	10	143	111	20	131	40	27	67	60	13	73	49	22	71
合計	195	35	230	140	28	168	124	34	158	136	20	156	113	29	142

② 高齢者用肺炎球菌 ※成人保健係事業

定期予防接種の対象に該当しない人で、かつ過去に一度も市の助成制度を利用したことがない65歳以上の人に対し、3,000円の一部助成を行う。

(単位：人)

年度 内訳	平成30			令和元			2			3			4		
	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計	代理受領	償還払い	計
接種者数				111	3	114	119	10	129	72	4	76	112	3	115

③ 特別の理由による任意予防接種費

骨髄移植手術その他の理由により、接種した定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度の予防接種を受ける人に対し、費用の助成を行った。

(単位：人、回)

内訳	年度	令和元	2	3	4
	償還払い人数		4	5	2
接種ワクチン数		32	19	4	4

④ 帯状疱疹（令和5年1月開始） ※成人保健係事業

80歳までに3人に1人が発症し、そのうち2割の人が皮膚の症状が治った後も痛みが持続するといわれる帯状疱疹の予防のため、50歳以上の人に対し、3,000円の助成を行った。

(単位：人、回)

内訳	年度	令和4		
		代理受領	償還払い	計
接種件数		286	8	294

⑤ インフルエンザ（令和4年度のみ） ※成人保健係事業

新型コロナとインフルエンザの同時流行による医療提供体制のひっ迫を防ぐため、生後6か月から64歳までの年齢にある人に対し、1,000円の助成を行った。（助成回数：小学生以下2回、中学生以下1回）

(単位：人、回)

接種件数	29,787
------	--------

⑥ 子宮頸がん予防ワクチン（9価）（令和4年度のみ）

HPVワクチンの定期接種、キャッチアップ接種対象者で9価HPVワクチンの接種を希望する女子に対し、1回16,753円の助成を行った。

(単位：人、回)

接種件数	60
------	----

3 風しん抗体検査等事業 ※成人保健係事業

2,011,479円

国の風しん追加的対策に基づいて実施。令和元年度～3年度までの時限措置であったが、6年度まで延長となっている。

対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性。

抗体検査の結果、風しん抗体の低い人が定期予防接種風しん第5期の対象となる。自己負担金なし。

(単位：人、%)

内訳	年度	令和元	2	3	4
	勸奨対象者数※		7,557	15,098	6,882
抗体検査実施者数		1,880	2,799	730	329
抗体検査実施率		24.9	18.5	10.6	
予防接種対象者数		641	1,003	260	97
予防接種対象率		34.1	35.8	35.6	29.3

※令和元年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの人

※令和2年度は、抗体検査を受けていない人

※令和3年度は、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれで抗体検査を受けていない人

V 成人保健係

- 1 成人保健事業
- 2 がん検診事業
- 3 結核予防事業
- 4 小児・若年者等がん対策支援事業

※予防接種事業は、IV母子保健係に掲載

1 成人保健事業

(1) 健康手帳(健康のしおり)の交付

(単位:人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
計	1,214	32	320	5	6

※平成29年度より、厚生労働省ホームページを自身でダウンロードし使用するよう法改正がされたため、
 現行の健康手帳(健康のしおり)は希望者のみの配布を行う。

※平成30年度は、藤枝市立病院他に限定して配布し、積極的な配布はしていない。

※令和元年度より、病院への配布はせず、希望者のみに配布。

※令和2年度は、個人病院より健康手帳を活用したいとの希望があり配布したため、配布数が増加している。

(2) 健(検)診関係

老人保健事業費	514,283円
特定健康診査(生保)	127,624円
特定健康診査事業費(国特)	592,138円
若者ヘルスアップ健診事業費(国特)	4,285,118円
県補助金(生保)	65,000円

① 特定健康診査・健康診査(平成20年度～)

40～74歳までの者については、高齢者の医療の確保に関する法律(以下「高齢者医療確保法」という)に基づき、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・保健指導として医療保険者に実施が義務づけられた。

また、後期高齢者医療被保険者についても、糖尿病等の生活習慣病の早期発見のための健康診査として、高齢者医療確保法に基づき広域連合に努力義務が課せられることとなった。

(静岡県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査として、藤枝市が広域連合から全部受託し、市が実施する特定健康診査に準じて行うこととなった。)

あわせて、無保険者(健康増進法に基づき衛生部門が実施)や若い世代(国保ヘルスアップ事業)についても市が実施する特定健康診査に準じて行った。

ア 対象

- (ア) 40～74歳の藤枝市国民健康保険に加入している者(特定健康診査)
- (イ) 後期高齢者医療保険に加入している者(健康診査)
- (ウ) 無保険者等(健康増進法に基づく健康診査)
- (エ) 39歳以下の者

イ 健診項目

基本的な健診項目 (全員が実施する 健診項目)	問診・血圧測定・身体計測(身長・体重・腹囲) * 腹囲は74歳以下の人のみ 医師の診察・尿検査・血液検査(中性脂肪・総コレステロール・LDLコレステロール・HDLコレステロール・GOT・GPT・γ-GTP・血糖・HbA1c)
詳細な健診項目	心電図検査・眼底検査・血液検査(貧血・尿酸・クレアチニン・eGFR)

ウ 時期:5月~1月

エ 場所:志太医師会検診センター・保健センター

オ 年度別受診状況

年度	回数	区分	対象人員(人)	受診人数(人)	受診率(%)
平成30	119	藤枝市国民健康保険	26,550	11,292	42.5
		法定報告数*注1	23,140	11,287	48.8
		後期高齢者医療保険	20,698	7,433	35.9
		健康増進法分		15	
		若者ヘルスアップ健診		586	
令和元	119	藤枝市国民健康保険	25,544	10,591	41.5
		法定報告数*注1	22,436	10,862	48.4
		後期高齢者医療保険	21,502	7,582	35.3
		健康増進法分		16	
		若者ヘルスアップ健診		752	
2	117	藤枝市国民健康保険	24,869	7,380	29.7
		法定報告数*注1	22,293	7,880	35.3
		後期高齢者医療保険	22,017	4,875	22.1
		健康増進法分		10	
		若者ヘルスアップ健診		500	
3	157	藤枝市国民健康保険	24,695	7,568	30.6
		法定報告数*注1	21,831	7,892	36.2
		後期高齢者医療保険	22,139	4,859	21.9
		健康増進法分		15	
		若者ヘルスアップ健診		574	
4	149	藤枝市国民健康保険	24,120	8,831	36.6
		後期高齢者医療保険	22,139	5,970	26.4
		健康増進法分		14	
		若者ヘルスアップ健診		542	

*注1: 特定健康診査の法定報告数は、加入者のうち特定健康診査の実施年度中に40~74歳となる者で、かつ当該実施年度の一年間を通じて加入している者(年度途中の加入・脱退等異動のない者)とされているため、実際の受診者数等とは異なる数となっている。

② 肝炎ウイルス検診(平成14年度～)

肝炎ウイルス検査 6,701,948円
 [県補助金 4,443,000円]

(平成20年度～)健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業

「肝炎対策に関する有識者会議」の報告書を踏まえ、基本健康診査と同時実施での肝炎ウイルス検診を5年間の緊急総合対策として実施していたが、平成20年度以降についても引き続き特定健康診査等と同時に実施することとした。

ア 対象 : 当該年度において満40歳以上となる者であって、過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、かつ本検診の受診を希望する者。なお、当該年度の高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査において肝機能検査の数値に異常がみられた者であり、かつ本検診の受診を希望する者については、過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたものであっても受診することができるが、原則として速やかに医療機関での受診を勧奨するものとする。

イ 時期 : 5月～2月

ウ 内容 : 血液検査

(7) B型肝炎ウイルス検査: HBs抗原検査

(イ) C型肝炎ウイルス検査: HCV抗体検査、必要な者のみHCV核酸増幅検査

エ 受診状況と検診結果

(単位:人)

	B型肝炎ウイルス					C型肝炎ウイルス					
	平成30	令和元	2	3	4	平成30	令和元	2	3	4	
受診人数	2,042	1,896	1,621	1,444	1,481	2,073	1,916	1,651	1,475	1,507	
陽性者数	3	6	2	5	6	2	3	2	0	1	
精密検査受診人数	2	5	2	4	4	1	0	1	0	1	
診断結果	現時点異常なし	0	2	0	1	0	0	0	0	0	
	慢性肝炎	2	2	0	1	2	0	0	1	0	
	肝硬変	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	肝臓がん(疑い)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	キャリアー	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成23年度から「肝炎ウイルス検診等実施要領」の改正により、節目年齢受診者の検診自己負担金を無料にして、受診勧奨に努めている。

※平成27年度より静岡県肝炎ウイルス検査陽性者等重症化予防推進事業が開始され、初回精密検査の検査費用が助成されることになった。精密検査対象者には、家庭訪問し受診を勧奨した。

③ 成人歯科健診(平成13年度～)

歯周病検診 9,369,549円
[県補助金 2,729,000円]

(平成20年度～)健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業

○歯周病・口腔がんの早期発見・早期治療

○予防啓発を通じ、高齢期における口腔保健状態を確保する

ア 歯科健診

(ア) 対象者：40・45・50・55・60・65・70歳

※平成13年度から40・50歳に実施。

※平成16年度から60・70歳を追加実施。

※平成18年度から40・50・60歳に個別通知を発送。70歳は申込制。

※平成26年度から40・50・60・70歳の対象者全員に個別通知を発送。

※平成27年度から45・55・65歳を追加実施。

(イ) 健診内容：a 問診 b 口腔内検査 c 口腔がん検査

(ロ) 実施場所・時期：藤枝歯科医師会指定医療機関49カ所：令和4年5月～11月

(エ) 受診状況

年度	全対象者数(人) (通知発 sender 数)	対象者数(人) * 免除者数を除く	免除者数(人)	受診者数(人)	年代別受診率 (%)	受診率 (%)
平成30	40歳 1,955	1,609	346	252	15.7	14.6
	45歳 2,283	2,107	176	185	8.8	
	50歳 2,043	1,873	170	172	9.2	
	55歳 1,725	1,549	176	148	9.6	
	60歳 1,858	1,699	159	167	9.8	
	65歳 1,981	1,357	624	318	23.4	
	70歳 2,510	1,701	809	494	29.0	
令和元	40歳 1,832	1,530	302	263	17.2	14.1
	45歳 2,229	2,084	145	162	7.8	
	50歳 1,960	1,808	152	172	9.5	
	55歳 1,874	1,501	373	237	15.8	
	60歳 1,735	1,549	186	164	10.6	
	65歳 1,835	1,600	235	192	12.0	
	70歳 2,533	1,730	803	470	27.2	
2	40歳 1,795	1,495	300	262	17.5	12.6
	45歳 2,149	1,962	187	144	7.3	
	50歳 2,065	1,687	378	255	15.1	
	55歳 1,742	1,598	144	168	10.5	
	60歳 1,704	1,536	168	153	10.0	
	65歳 1,855	1,614	241	212	13.1	
	70歳 2,306	2,020	286	304	15.0	
3	40歳 1,761	1,412	349	229	16.2	14.8
	45歳 2,095	1,695	400	248	14.6	
	50歳 2,176	1,748	428	234	13.4	
	55歳 1,653	1,466	187	156	10.6	
	60歳 1,624	1,238	386	257	20.8	
	65歳 1,770	1,522	248	204	13.4	
	70歳 2,144	1,837	307	290	15.8	
4	40歳 1,814	1,426	388	213	14.9	14.9
	45歳 2,019	1,793	226	151	8.4	
	50歳 2,289	1,812	477	229	12.6	
	55歳 1,916	1,700	216	186	10.9	
	60歳 1,739	1,282	457	255	19.9	
	65歳 1,815	1,533	282	227	14.8	
	70歳 2,068	1,354	714	366	27.0	

(オ) 受診状況と発見症例

年度		平成30		令和元		2		3		4	
受診者数(人)		1,736		1,660		1,498		1,618		1,627	
要精検者数(人)		1,366		1,303		1,206		1,329		1,316	
要精検率(%)		78.7		78.5		80.5		82.1		80.9	
(要精検内訳 重復有)	歯周病	1,126	82.4%	970	74.4%	960	79.6%	1129	85.0%	1113	84.6%
	う蝕	673	49.3%	503	38.6%	546	45.3%	573	43.1%	535	40.7%
	要補綴歯	239	17.5%	138	10.6%	106	8.8%	116	8.7%	166	12.6%
	その他	1	0.1%	21	1.6%	16	1.3%	21	1.6%	17	1.3%
精検受診者数(人)		1,148		1,117		1,131		1,198		1,261	
精検受診率(%)		84.0		85.7		93.8		90.1		95.8	
今後の方針	指導	61	5.3%	71	6.4%	57	5.0%	61	5.1%	73	5.8%
	経過観察・その他	156	13.6%	139	12.4%	234	20.7%	245	20.5%	331	26.2%
	治療	922	80.3%	864	77.4%	835	73.8%	892	74.5%	857	68.0%

<令和5年6月30日現在>

④ 妊婦歯科健診(平成29年度～)

妊婦歯科健診事業費

1,363,517円

ア 歯科健診

(7) 対象者：市内在住の妊婦

(イ) 健診内容：a問診 b口腔内検査

(ウ) 実施場所：藤枝歯科医師会指定医療機関49カ所

(エ) 受診状況

		平成30		令和元		2		3		4	
対象者数(人)		1,036		992		948		885		842	
免除者数(人)		10		19		18		16		15	
受診者数(人)		404		431		364		362		355	
受診率		39.4%		44.3%		39.1%		41.7%		42.9%	
内 妊 娠 週 数	～16週未満	10	2.5%	8	1.9%	8	2.2%	9	2.5%	8	2.3%
	16～27週	215	53.2%	374	86.8%	294	80.8%	304	84.0%	314	88.5%
	28～36週	165	40.8%	47	10.9%	60	16.5%	48	13.3%	32	9.0%
	37週以降	14	3.5%	2	0.5%	2	0.5%	1	0.3%	1	0.3%

(オ) 受診状況と発見症例

		年度		平成30		令和元		2		3		4	
受診者数(人)				404		431		364		362		355	
要精検者数(人)				320		320		272		279		254	
要精検率(%)				79.2		74.2		74.7		77.1		71.5	
(要 重 複 検 有 内 訳)	歯周病	225	70.3%	246	76.9%	187	68.8%	220	78.9%	225	88.6%		
	う蝕	178	55.6%	171	53.4%	133	48.9%	135	48.4%	129	50.8%		
	要補綴歯	4	1.3%	1	0.3%	5	1.8%	6	2.2%	2	0.8%		
	その他	0	0.0%	3	0.9%	4	1.5%	4	1.4%	1	0.4%		
精検受診者数(人)				257		282		232		236		222	
精検受診率(%)				80.3		88.1		85.3		84.6		87.4	
今 後 の 方 針	指導	22	8.6%	30	10.6%	34	14.7%	36	15.3%	29	13.1%		
	経過観察・その他	40	15.6%	45	16.0%	52	22.4%	51	21.6%	75	33.8%		
	治療	195	75.9%	207	73.4%	146	62.9%	149	63.1%	118	53.2%		

<令和5年6月30日現在>

2 がん検診事業

令和4年度がん検診システム

検診名	対象者	検診内容	自己負担金	実施場所	実施時期
胃がん検診	○過去リスク判定「AA?」判定で5年経過した者 ○リスク判定問診除外者	問診・胃内視鏡（カメラ）検査	3,200	市立総合病院 志太医師会指定20医療機関	4～11月
		問診・胃部エックス線（バリウム）検査	2,000	志太医師会検診センター	
	40歳以上で過去に市のリスク判定を受けたことがない者	問診・ピロリ菌胃がんリスク判定	940	志太医師会検診センター	5～12月
	リスク判定後 当年度リスク判定「A」の者	問診・胃内視鏡（カメラ）検査	3,200	市立総合病院 志太医師会指定20医療機関	6～3月
		問診・胃部エックス線（バリウム）検査	2,000	志太医師会検診センター	
子宮がん検診 （隔年実施）	20歳以上の女性	問診・子宮頸部の細胞診検査	1,500	市立総合病院 志太医師会指定4医療機関 焼津市医師会指定2医療機関 島田市医師会指定1医療機関	4～11月
		子宮頸・体部の細胞診検査 （医師が必要と認めた場合）	2,530		
乳がん検診 （隔年実施）	40歳以上の女性	マンモグラフィ ※禁忌者はエコー	2,400 ※1,320	市立総合病院 志太医師会検診センター 志太医師会指定1医療機関	4～11月
大腸がん検診	40歳以上	問診・便潜血検査2日法	420	志太医師会検診センター	5～1月
前立腺がん検診	50歳以上の男性	問診・血液検査	920		
結核・肺がん検診	40歳以上	問診・胸部エックス線撮影	210		
		喀痰細胞診 ・原則として50歳以上で喫煙指数600以上の人※過去の喫煙者を含む	940		

※全てのがん検診は登録制

※高齢受給者証又は後期高齢者医療保険被保険者証がある人は無料

※生活保護世帯の人及び市県民税非課税世帯の人は無料だが『健康診査無料受診券』の発行が必要
（ただし、40歳未満のエコー検査、前立腺がん検診は除く）

※当該年度新40歳になる年齢の者は、肺がん・大腸がん検診の自己負担金は無料

※当該年度新65歳になる年齢の者は、胃がん検診の自己負担金は無料

※新型コロナウイルス感染症対策として、令和2・3年度は検診実施期間を2月まで、令和4年度は1月まで延長して実施した

(1) 胃がん検診

胃がん検診 18,245,215円

① 胃がん検診受診状況 (40歳以上)

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	委託先別人数(人)			受診率(%)	
平成30	41,509	24,988	13	X線	医師会検診センター	11	60.2
					医師会 個別	2	
			1,469	内視鏡	医師会 個別	1,158	
					市立病院	311	
2,509	リスク判定	リスク判定	2,509				
		(再掲 A判定 内視鏡)	(281)				
令和元	41,509	25,739	7	X線	医師会検診センター	4	62.0
					医師会 個別	3	
			1,069	内視鏡	医師会 個別	858	
					市立病院	211	
			1,153	リスク判定	リスク判定	1,153	
					(再掲 A判定 内視鏡)	うち40歳	
		うち40歳	57				
2	41,683	26,422	2	X線	医師会検診センター	2	63.4
					医師会 個別	627	
			737	内視鏡	市立病院	110	
					リスク判定	586	
			586	リスク判定	うち40歳	394	
					(再掲 A判定 内視鏡)	109	
		うち40歳	69				
3	41,683	26,955	3	X線	医師会検診センター	3	64.7
					医師会 個別	791	
			982	内視鏡	市立病院	191	
					リスク判定	624	
			624	リスク判定	うち40歳	381	
					(再掲 A判定 内視鏡)	118	
		うち40歳	51				
4	41,683	27,521	19	X線	医師会検診センター	19	66.0
					医師会 個別	867	
			1,081	内視鏡	市立病院	214	
					リスク判定	491	
			491	リスク判定	うち40歳	77	
					うち65歳	139	
				(再掲 A判定 内視鏡)	94		
					うち40歳	6	
		うち65歳	36				

★ 平成30～令和4年度受診率＝(過去リスク判定受診者数＋内視鏡(またはX線)受診者数(問診除外者))÷対象者数>

※ 対象者数は、推計対象者数を用いる。
 推計対象者数＝市人口－(就業者数－農林水産業従事者数)
 40歳以上で上記計算式で算出した人数
 平成30～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる
 令和2～令和4年度 令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

② 受診状況と発見症例

ア 胃がんリスク判定

		年度	平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)			2,509	1,153	586	624	491
判定結果	A(人)		1,760	904	517	537	396
	A?(人)		—	—	—	—	—
	B1・B2・C・D(人)		749	249	69	87	95
要精検者数(B1・B2・C・D)		(人)	749	249	69	87	95
要精検率(%)			29.9	21.6	11.8	13.9	19.3
精検受診者数(人)			570	182	56	64	66
精検受診率(%)			76.1	73.1	81.2	73.6	69.5
発見症例	胃がん		6	4	1	0	0
	その他の疾患		659	192	57	56	66
	計		665	196	58	56	66

イ- (1) 胃部エックス線検査

※対象者 平成30～令和4年度 問診除外者

年度		平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)		3	1	1	0	1
要精検者数(人)		1	0	1	0	0
要精検率(%)		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
精検受診者数(人)		1	0	1	0	0
精検受診率(%)		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
発見症例	胃がん	0	0	0	0	0
	その他の疾患	1	0	0	0	0
	計	1	0	0	0	0

<令和5年6月30日現在の数>

イ- (2) 胃部エックス線検査

※対象者 平成30～令和4年度胃がんリスク判定当年度「A」・胃がんリスク判定「A」5年経過の希望者

年度		平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)		10	6	1	3	18
要精検者数(人)		0	0	0	0	1
要精検率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
精検受診者数(人)		0	0	0	0	1
精検受診率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
発見症例	胃がん	0	0	0	0	0
	その他の疾患	0	0	0	0	1
	計	0	0	0	0	1

<令和5年6月30日現在の数>

ウ 胃内視鏡検査

(※対象者内訳：【平成30～令和4年度】①「A」「A?」5年経過者 ②問診除外者 ③当年度「A」)

年度	平成30			令和元			2			3			4		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
対象者内訳	5,904			3,462			3,049			3,285			3,365		
対象者数(人)	2,285	1,859	1,760	2,337	221	904	2,230	302	517	2,584	164	537	2,814	155	396
受診者数	検診受診者数(人)			1,069			846			982			1,081		
	722	466	281	807	65	197	577	160	109	794	70	118	843	144	94
	保険診療受診者数(人)			-			-			-			-		
受診率(%)	31.6	25.1	16.0	34.5	29.4	21.8	25.9	53.0	21.1	30.7	42.7	22.0	30.0	92.9	23.7
生検者数(人)	120	131	46	97	15	24	74	22	13	95	10	15	112	24	10
生検実施率(%)	16.6	28.1	16.4	12.0	23.1	12.2	12.8	13.8	11.9	12.0	14.3	12.7	13.3	16.7	10.6
発見症例	胃がん			1			0			0			1		
	その他の疾患			757			425			524			652		
	計			758			425			524			653		

<令和5年6月30日現在の数>

エ 胃がんリスク判定後 医療機関フォロー者の受診状況と発見症例

年度	平成30	令和元	2	3	4
対象者数(人)	2,595	2,828	2,438	2,063	1,609
受診者数(人)	2,087	2,202	1,928	1,586	1,396
受診率(%)	80.4	77.9	79.1	76.9	86.8
胃がん発見者数	11	6	7	3	4

<令和5年6月30日現在の数>

(2) 子宮がん検診 (隔年検診)

子宮がん検診 32,712,163円
[国庫補助金 170,000円]

① 子宮がん検診受診状況(頸体部がん検診受診者含む)

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	委託先別人数(人)		受診率★(%)
			市立病院	志太医師会 焼津市・島田市医師会	
平成30	30,005	5,951	1,816	42.0	
		2年連続受診者数	3,817		
		0	318		
令和元	30,005	6,336	1,998	40.9	
		2年連続受診者数	4,013		
		1	325		
2	28,828	5,062	1,348	38.0	
		2年連続受診者数	3,400		
		0	314		
3	28,828	6,230	1,881	39.2	
		2年連続受診者数	3,912		
		0	377		
4	28,828	5,251	1,472	39.8	
		2年連続受診者数	3,404		
		0	375		

※ 20歳以上の女性が対象

★ 受診率=(受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数)÷対象者数×100

※ 対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

20歳以上女性で上記計算式で算出した人数

平成30年～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる

令和2年～令和4年度 令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

② 受診状況と発見症例

		年度	平成30	令和元	2	3	4
一次検診	(人) 受診者数	頸部	5,902	6,301	5,027	6,182	5,262
		頸・体部	49	35	35	48	60
		計	5,951	6,336	5,062	6,230	5,322
	要精検者数★(人)		115	132	95	120	80
	要精検率(%)		1.93	2.08	1.88	1.93	1.50
	(重複有) 発見症例	ビラジ	68	82	77	94	89
子宮筋腫		443	524	417	517	444	
その他の疾患		359	411	432	485	361	
計		870	1,017	926	1,096	894	
精密検査	精検受診者数(人)		107	130	94	116	76
	精検受診率(%)		93.0	98.5	98.9	96.7	95.0
	(重複有) 発見症例	子宮がん	0	4	3	2※	2※
		(再掲)クーポン券利用者	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		異形成・その他☆	67	86	66	79	72
計		67	90	69	81	74	

<令和5年6月30日現在の数>

★要精検者は細胞診結果で判断。ASC-US以上

☆内容:ASC-USの内HPV陽性、CIN1、CIN2、CIN3、その他

※内訳:体部がん2人

(3) 乳がん検診（隔年検診）

乳がん検診 32,915,597円
 [国庫補助金 424,000円]

① 一次検診受診形態(令和2年度から)

- ア マンモグラフィ：40歳以上
- イ エコー：40歳以上のマンモグラフィ禁忌者

※ 平成29～令和元年度までの一次検診受診形態

- ア マンモグラフィ：40歳以上
- イ エコー：30～39歳、マンモグラフィ禁忌者

※ 平成28年度までの一次検診受診形態

- ア 視触診：30歳以上
- イ マンモグラフィ：40歳以上必須
- ウ エコー：40歳未満で視触診の結果、要精検以外の希望者とマンモグラフィ禁忌者

② 乳がん検診受診状況

年度	対象者数(人) ※1	受診者数(人)	委託先別人数(人)		受診率(%) ※2
平成30	28,471	5,357	市立病院	3,307	39.3
		2年連続受診者数 82	志太医師会	2,050	
令和元	28,471	5,914	市立病院	3,819	39.3
		2年連続受診者数 75	志太医師会	2,095	
2	25,313	4,205	市立病院	2,737	39.7
		2年連続受診者数 81	志太医師会	1,468	
3 ※3	25,313	5,495	市立病院	3,778	38.2
		2年連続受診者数 20	志太医師会	1,777	
4 ※3	25,313	4,595	市立病院	3,021	39.6
		2年連続受診者数 78	志太医師会	1,574	

※1 対象者は、30歳以上の女性、R2年度からは40歳以上の女性

対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

平成30年～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる

令和2年度～令和4年度 令和2年度の国勢調査において報告された数を用いる

※2 受診率=(受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数)÷対象者数×100

※3 R2年度からは、国の指針に沿い、30歳代のエコー検査による乳がん検診は廃止したため、30歳代の人数は乳がん検診に含まない。

③ 乳がん検診(40歳以上)受診状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)☆	受診率(%)★
平成30	25,736	4,585	37.8
		2年連続受診者数 82	
令和元	25,736	5,306	38.1
		2年連続受診者数 75	
2	25,313	4,205	37.3
		2年連続受診者数 81	
3	25,313	5,495	38.2
		2年連続受診者数 20	
4	25,313	4,595	39.6
		2年連続受診者数 78	

※ 40歳以上の女性が対象

対象者数は、推計対象者数を用いる。算出方法は②と同様

★ 受診率=(受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数)÷対象者数×100

④ 1次検診結果状況

		年度	平成30	令和元	2	3	4
一般	マンモ	受診者数(人)	4,228	4,930	3,862	5,121	4,260
		要精検者数(人)	289	301	244	283	349
		要精検率(%)	6.8%	6.1%	6.3%	5.5%	8.2%
	エコー	受診者数(人)	797	646	27	45	34
		【再掲】禁忌者エコー(人)	25	38	※	※	※
		要精検者数(人)	75	46	0	2	2
	要精検率(%)	9.4	7.1	0.0	4.4	5.9	
クーポン	受診者数(人)	マンモのみ	315	323	298	315	288
		禁忌者エコー	17	15	18	14	13
	要精検者数(人)	24	28	26	30	33	
	要精検率(%)	7.2	8.3	8.2	0.1	11.0%	

※ R2年度からは禁忌者エコー実施者のみの人数

⑤ 精密検査結果状況 (マンモグラフィ・エコー・ケーボン)

		年度	平成30	令和元	2	3	4	
受	診 者 数 (人)		5,357	5,914	4,205	5,495	4,595	
精密検査	要 精 検 者 数 (人)		388	375	270	315	384	
	要 精 検 率 (%)		7.2	6.3	6.4	5.7	8.4	
	精 検 受 診 者 数 (人)		381	364	265	302	374	
	精 検 受 診 率 (%)		98.2	97.1	98.1	95.9	97.4	
	(発見症例 重複有)	乳 が ん		18	17	8	24	23
		(再掲) 早期が ん		(12)	(13)	(5)	(13)	(12)
		乳房のその他の疾患		252	256	171	193	260
	計		270	273	179	217	283	

<令和5年6月30日現在の数>

(4) 肺がん検診

肺がん検診 17,358,607円

① 胸部エックス線デジタル撮影

ア 受診状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成 30	41,509	19,358	46.6%
令和 元	41,509	18,724	45.1%
2	41,683	13,098	31.4%
	うち40歳	107	
3	41,683	13,262	31.8%
	うち40歳	122	
4	41,683	15,385	36.9%
	うち40歳	198	-

※ 40歳以上の方が対象

※ 対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

40歳以上で上記計算式で算出した人数

平成30年～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる

令和2年～令和4年度 令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

イ 受診状況と発見症例

年度		平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)		19,358	18,724	13,098	13,262	15,385
要精検者数(人)		1,057	883	617	656	967
要精検率(%)		5.5%	4.7%	4.7%	4.9%	6.3%
精検受診者数(人)		877	737	524	559	816
精検受診率(%)		83.0%	83.5%	84.9%	85.2%	84.4%
発見症例	肺がん	26	12	10	14	20
	その他	555	468	333	359	572
	計	581	480	343	373	592

<令和5年6月30日現在の数>

② 喀痰細胞診

ア 受診状況と発見症例

年度		平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)		138	132	80	30	29
要精検者数(人)		0	0	1	0	0
要精検率(%)		0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
精検受診者数(人)		0	0	1	0	0
精検受診率(%)		0.0%	0.0%	100.0%	0.0	0.0%
発見症例	肺がん	1	0	1	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	1	0	1	0	0

※ 肺がん発見者(喀痰)は、①イ表の再掲

<令和5年6月30日現在の数>

(5) 大腸がん検診

大腸がん検診 15,852,719円

① 大腸がん検診受診状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成30	41,509	17,908	43.1
令和元	41,509	17,323	41.7
	うち40歳	102	-
2	41,683	12,645	30.3
	うち40歳	103	-
3	41,683	13,134	31.5
	うち40歳	115	-
4	41,683	15,152	36.4
	うち40歳	238	-

※ 40歳以上の方が対象

※対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

40歳以上で上記計算式で算出した人数

平成30～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる

令和2～令和4年度 令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

② 受診状況と発見症例

		年度	平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)			17,908	17,323	12,645	13,134	15,152
要精検者数(人)			1,162	1,162	936	840	1,101
要精検率(%)			6.5	6.7	7.4	6.4	7.3
精検受診者数(人)			843	842	690	626	750
精検受診率(%)			72.5	72.5	73.7	74.5	68.1
発見症例	大腸がん		27	28	21	16	37
	その他の疾患		626	644	523	476	569
	計		653	672	544	492	606

<令和5年6月30日現在の数>

(6) 前立腺がん検診

前立腺がん検診 9,361,042円

平成20年度から「前立腺がん検診地域連携パス」を導入し、二次検診にて血液検査や前立腺の触診等を実施。二次検診の結果、前立腺がんが強く疑われる場合には、三次検査（藤枝市立総合病院泌尿器科）にて生体組織検査を実施するシステムとなっていた。令和元年度から「前立腺がん検診地域連携パス」を廃止し、他のがん検診と同様、精密検査結果報告書に切り替え精密検査実施医療機関から市へ報告書を提出とした。精密検査の結果、更なる検査が必要となった場合は藤枝市立総合病院病診連携室を通して同病院泌尿器科へ紹介。※令和2年度は体制が整わず市外病院への紹介のみであった。

検診間隔については、日本泌尿器科学会「前立腺がん検診ガイドライン」に基づいて実施。

① 受診状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成 30	15,019	5,047	33.6
令和 元	15,019	5,077	33.8
2	15,243	3,674	24.1
3	15,243	3,756	24.6
4	15,243	4,416	29.0

※50歳以上の男性が対象

※対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

50歳以上の男性で上記計算式で算出した人数

平成30～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる

令和2～令和4年度 令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

② 受診状況と発見症例

年度		平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)	A	5,047	5,077	3,674	3,756	4,416
要精検者(人)	B	270	338	229	265	427
要精検率(%)	(B/A)	5.3	6.7	6.2	7.1	9.7
精検受診人数(人)	C	168	239	167	196	329
精検受診率(%)	(C/B)	62.2	70.7	72.9	74.0	77.0
発見症例	前立腺がん	17	18	6	10	11
	前立腺がん疑い	—	8	50	66	79
	前立腺肥大症・肥大症疑い	27	151	104	108	212
	計	44	177	160	184	302

※要精検者 : PSA値4.01以上の者

<令和5年6月30日現在の数>

※令和元年度から精検受診結果報告書の書式が変更し、判定のうち「がん疑い」の項目が追加された

(7) がん検診推進事業

がんによる死亡者数を減少させるために、がん検診の受診率を向上させ、がんを早期に発見することが重要であることから国の受診率向上施策であるクーポン事業を子宮がん・乳がんを対象に実施した。

自己負担金無料。(2)子宮がん検診(3)乳がん検診で掲載した受診数の一部を再掲する。

① 子宮頸がん検診

年度	平成30	令和元	2	3	4
対象者(人)	643	650	626	640	603
受診者数(人)	83	81	89	94	71
受診率(%)	12.9	12.5	14.2	14.7	11.8

※ 対象者は、新規受診対象者(20歳)

② 乳がん検診 (禁忌エコー含む)

年度	平成30	令和元	2	3	4
対象者(人)	996	924	890	895	887
受診者数(人)	332	338	316	329	301
受診率(%)	33.3	36.6	35.5	36.8	33.9

※ 対象者は、新規受診対象者(40歳)

※ 国のクーポン事業の対象はマンモグラフィによる検診であるが、マンモグラフィ禁忌者に対して行ったエコーによる検診も無料で実施

3 結核予防事業

健康診断費 14,292,665円

定期結核健康診断(胸部エックス線デジタル撮影)

対象者 : 40歳以上の市民

※ 感染症法では、定期結核健康診断対象者は65歳以上であるが、藤枝市では肺がん検診との兼ね合いがあるため、40歳以上に定期結核健康診断を実施。

実施方法 : 志太医師会検診センターにおいて特定健康診査と同時実施

周知方法 : 個別通知

(1) 受診状況

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成 30	41,509	19,358	46.6%
令和 元	41,509	18,724	45.1%
2	41,683	13,098	31.4%
3	41,683	13,262	31.8%
4	41,683	15,385	36.9%

※ 対象者数は、推計対象者数を用いる。

推計対象者数 = 市人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)

40歳以上で上記計算式で算出した人数

平成30～令和元年度 平成27年の国勢調査において報告された数を用いる

令和2～令和4年度 令和2年の国勢調査において報告された数を用いる

(2) 受診状況と精検結果

		年度	平成30	令和元	2	3	4
受診者数(人)			19,358	18,724	13,098	13,262	15,385
要精検者数(人)			1,057	883	617	656	967
要精検率(%)			5.5%	4.7%	4.7%	4.9%	6.3%
精検受診者数(人)			877	737	524	559	816
精検受診率(%)			83.0%	83.5%	84.9%	85.2%	84.4%
発見症例	結核		1	0	0	0	0
	その他		581	480	343	373	592
	計		582	480	343	373	592

<令和5年6月30日現在の数>

4 小児・若年者等がん対策支援事業

(1) がん患者共生支援事業

がん患者共生支援事業費 1,872,559円
 [県補助金 893,000円]

① がん患者補整具購入費用助成事業

がん治療の影響による外見の悩みを軽減し、がん患者の治療と就労の継続や社会参画の両立及び療養生活の質の向上を図り、がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減することを目的とし、ウィッグ及び乳房補整具の購入に要する費用の一部（それぞれ上限2万円）を助成した。

(単位：人、件)

年度	令和元		2		3		4	
	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数	実人数	申請件数
ウィッグ	50	39	97	78	75	62	82	66
乳房補整具 (補整下着等)		17		30		16		18

② がん患者妊孕性温存治療費助成事業

将来子どもを産み育てることを望むがん患者が、生殖機能が低下する、又は失う恐れのあるがん治療開始前に妊孕性を温存することで、将来に希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援するため、経済的負担の軽減を図ることを目的に妊孕性温存治療に要した費用の一部（精子の採取：上限2万円、卵子の採取・胚の凍結等：上限40万円）を助成した。

(単位：件)

年度	令和元	2	3	4
精子の採取	1	0	0	1
卵子の採取・ 胚の凍結等	1	0	0	1

③ 小児・若年がん患者在宅療養生活支援事業助成事業

医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断された小児・若年がん患者が、住み慣れた自宅で最後まで自分らしく安心して日常生活が送れるよう、在宅における生活を支援し、患者及びその家族の負担の軽減することを目的とし、在宅療養生活にかかる費用の一部を助成した。

助成金の額は対象サービス利用にかかる実支出額に100分の90を乗じた額と次の金額（上限額）のいずれか少ない額とする。

居宅サービス：月額45,000円、福祉用具貸与：月額27,000円、福祉用具購入：1人あたり45,000円

(単位：人、件)

年度	令和3		令和4	
	実人数	申請件数	実人数	申請件数
居宅サービス	1	2	2	1
福祉用具貸与		3		2
福祉用具購入		1		1

(2) 女性の健康支援対策事業

女性の健康支援対策事業費

866,935円

① ブレストセルフチェッカー配布 (セルフチェックグローブ)

30歳代後半から乳がん罹患率が上昇してくることから、日頃から自分の身体に興味を持ち、変化がないかセルフチェックを習慣化するよう、30歳代女性にブレストセルフチェッカーを郵送にて配布し啓発に取り組んだ。初年度 (R2) は30代女性全員に配布、R3年度以降は年度中に30歳に到達する者に配布。

(単位：人)

年度	令和2	3	4
配布者数	7,431	612	559

② 30歳代乳房エコー検査

R2年度から、新たに30歳代の女性の希望者に2年に1度乳房エコー検査を実施。

(単位：人)

年度	令和2	3	4
実施者数	326	308	261

5 骨髄移植対策事業

(1) 骨髄ドナー支援事業

骨髄ドナー支援事業費

140,000円

[県補助金

70,000円]

「骨髄ドナー」、中止者及び「ドナーが就業する事業所」に対し、通院・入院費用の一部を助成した。

① 骨髄ドナー

	令和4
実人数	1
延日数(助成対象日数)	7

② ドナーが従事する事業所 令和4年度は実績なし

VI 健康支援係

- 1 成人保健事業
- 2 こころの健康づくり事業
- 3 高齢者保健事業・介護予防一体的事業
- 4 特定保健指導
- 5 食育事業
- 6 国保ヘルスアップ事業

1 成人保健事業

健康教育費 2,623,569 円
 県補助金 613,000 円
 一般財源 2,010,569 円

(1)健康教育(40歳～64歳)

生活習慣病の予防・健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め壮年期からの健康増進に資することを目的とする。

(単位：回、人)

区	分	項	目	内	容	回	数	延	人	数			
集団健康教育		健	診	結	果	説	明	会	特定健康診査受診者等に対して結果の見方・栄養・生活について指導	4	13		
		介	護	予	防	講	座	寝たきり・認知症にならないための生活・食生活の講座	9	255			
		食	生	活	講	座	食生活を見直し、生活習慣の予防を図るための講座	13	372				
		生	活	習	慣	病	予	防	講	座	がん・脳卒中・心臓病・糖尿病・脂質異常等の予防	20	737
		健	康	体	操	肥満予防・運動不足解消・健康増進のための体操等	24	568					
		出	前	講	座	生活習慣病、健康チェック、日常生活の健康管理等	1	25					
		乳	が	ん	自	己	検	診	法	乳がんの知識の普及と早期発見のための指導	48	626	
		そ	の	他	一	般	健	康	教	育	市民を対象に健康に関する講座	6	175
		合 計						125	2,771				

① 特定健康診査結果説明会

- ア 目的：(ア)健診の必要性を理解し、住民自らが日常生活を見直すことができる場とする。
 (イ)要受診者に対して医療機関への受診を勧める。
- イ 対象者：藤枝市国保で特定健康診査を初受診した特定保健指導・ハイリスク対象外の方
 (※新40歳受診者も含む)(平成30年度より若者ヘルスアップ健診受診者も対象)
 (令和3年度より後期高齢者健診受診者も対象)
- ウ 従事者：保健師・管理栄養士・看護師
- エ 実施方法：特定健康診査初受診等の対象者へハガキで通知し、当日来所された方に各検査項目の説明や生活習慣病予防・栄養に関する講話を実施する。
- オ 実施期間：令和4年8月から令和5年2月

(単位：回、人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
回数	4	4	3	4	4
人数	87	72	28	39	52

※令和元年度はヘルスアップ個別相談会の人数も含む。

※令和3年度より40歳未満の若者ヘルスアップ健診受診者の人数も含む。

② 出前講座

- ア 実施方法：生涯学習課の藤枝市生涯学習出前講座実施要綱に基づき、保健講座依頼のあった団体に対し、職員が出向き講座を実施する。
- イ 内容：(ア)健康講座：生活習慣病予防 (abの中から選択)
 (a) 生活習慣病予防 (全般) (b) 健康長寿
 (イ) 健口講座
 (ウ) しっかり食べて健康生活
 (エ) 高血圧予防講座
 ※1 令和2年度のその他の内容は「新型コロナウイルスについて」
 ※2 令和3年度のその他の内容は「熱中症予防」
 ※3 高血圧予防講座は令和4年度から開始

ウ 従事者：保健師・管理栄養士・歯科衛生士

年	平成30		令和元		2		3		4	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
健康講座	12	373	17	536	5	226	2	33	4	95
健診を健康につなげる 健診活用レッスン	1	19	/	/	/	/	/	/	/	/
健口講座	4	63	3	67	1	22	2	33	7	230
高血圧予防講座	/	/	/	/	/	/	/	/	2	49
しっかり食べて 健康生活	6	168	13	471	6	122	4	93	7	214
その他※1,2	/	/	/	/	3	73	1	31	/	/
合計	23	623	33	1074	15	443	9	190	20	588

※40～64歳については集団健康教育に再掲。65歳以上については介護予防講座に再掲。

健康相談費 6,510,537円
 補助金 107,000円
 一般財源 403,537円

(2) 健康相談

自身の健康に関する個別の相談に応じて必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。

① ア 成人健康相談 (40歳以上)

内容	従事者	平成30			令和元			2			3			4		
		回数	人数		回数	人数		回数	人数		回数	人数		回数	人数	
			総数	(再掲) 40歳以上		総数	(再掲) 40歳以上		総数	(再掲) 40歳以上		総数	(再掲) 40歳以上		総数	(再掲) 40歳以上
常設健康相談	保健師	255	265	104	119	119	174	174	119	119	193	193	105	105	187	
出張健康相談	保健師 管理栄養士	12	6	6	19	19	10	10	0	0	10	10	0	0	10	
禁煙相談	保健師	17	80	42	63	44	1	1	3	3	41	41	3	3	20	
歯科相談	歯科衛生士	12	12	9	6	0	4	4	1	1	4	4	1	1	4	
定例食生活相談	木曜	96	96	10	6	6	14	14	6	6	63	63	6	6	62	
	金曜	84	84	8	8	8	5	5	3	3	22	22	3	3	22	
骨密度測定	保健師	1	148	92	1	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電話相談等※3	保健師	1771	888	888	865	865	2,412	2,412	9,518	9,518	9,021	9,021	9,518	9,518	8,119	
合計		2,248	1,579	1,159	1,027	1,144	2,620	2,620	9,650	9,650	9,354	9,354	9,636	9,636	8,424	

(単位：回、人)

※1 各種健康相談は来所者のあった日のみ回数を掲載。

※2 健康診査結果相談は常設健康相談に含む。

※3 コロナ対応含む

イ オンライン健康医療相談

年度	令和3	4
相談件数	415	1,695
登録者数累計	527	2,530

② 健康診査結果等個別相談

- ア 目的：健康診査の結果について個別での対応を行う事で、個々にあった相談を実施する。
 イ 対象者：健康診査結果説明会個別相談希望者、健康相談来所者、電話相談者
 ウ 従事者：保健師・管理栄養士・看護師

(単位：回、人)

年度		平成30		令和元		2		3		4	
内容	従事者	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
結果説明会	保健師	4	3	4	6	3	5	4	8	4	7
	管理栄養士		1		1		2		5		3
	看護師		0		0		3		3		9
健康相談		172	172	141	141	105	105	70	70	112	112
電話相談		60	60	77	77	70	70	42	42	87	87
合計		236	236	222	225	178	185	116	128	203	218

③ 禁煙支援事業

- ア 目的：疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握しながら、継続的に個別支援を行うことにより、生活習慣行動の改善を支援し、生活習慣病の予防に資することを目的にする。

イ 対象者：禁煙希望者

ウ 従事者：保健師

エ 内容：呼気一酸化炭素濃度測定、たばこの害や禁煙方法などの情報提供を実施する。

オ 相談者数

(単位：人)

年度	人数	40歳以上	39歳以下	備考
平成30	80	42	38	※歯の健康まつり、成人歯科健診、パパママ教室相談室、スポーツフェスティバル等での実績の合計
令和元	63	44	19	※歯の健康まつり、成人歯科健診、パパママ教室電話、相談室、スポーツフェスティバル等での実績の合計
2	29	13	16	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計
3	32	16	16	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計
4	41	20	21	※パパママ教室、電話、相談室等での実績の合計

④ 喫煙状況調査

ア 母子健康手帳交付時の喫煙状況調査集計

(単位：人、%)

年度		平成30		令和元		2		3		4		
母子手帳交付者数（転入含む）		1,045		953		977		864		788		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
妊婦	1 喫煙者	11	1.1	7	0.7	12	1.2	14	1.6	8	1.0	
	内訳	屋内	4	36.4	2	28.6	4	33.3	9	64.3	4	50.0
		換気扇の下	4	36.4	1	14.3	4	33.3	2	14.3	0	0.0
		屋外	3	27.3	3	42.9	4	33.3	3	21.4	3	37.5
		その他	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	12.5
	2 非喫煙者	1,034	98.9	946	99.3	965	98.8	850	98.4	780	99.0	
3 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
夫	1 喫煙者	368	35.2	318	33.4	287	29.4	260	30.1	212	26.9	
	内訳	屋内	30	8.2	26	8.2	31	10.8	30	11.5	28	13.2
		換気扇の下	96	26.1	86	27.0	66	23.0	66	25.4	57	26.9
		屋外	239	64.9	202	63.5	180	62.7	152	58.5	118	55.7
		その他	3	0.8	4	1.3	10	3.5	11	4.2	9	4.2
	2 非喫煙者	662	63.3	624	65.5	677	69.3	598	69.2	573	72.7	
3 無回答	15	1.4	11	1.1	13	1.3	6	0.7	3	0.4		

イ 6か月児すこやか相談面接時の喫煙状況調査集計

(単位：人、%)

年度		平成30		令和元		2		3		4		
受診数		1,000		903		891		848		789		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
母	喫煙者	10	1.0	12	1.3	12	1.4	11	1.3	17	2.2	
	内訳	屋内	0	0.0	2	16.7	1	8.3	4	36.4	2	11.8
		換気扇の下	4	40.0	3	25.0	2	16.7	2	18.2	8	47.1
		屋外	5	50.0	5	41.7	7	58.3	4	36.4	5	29.4
		その他	1	10.0	2	16.7	2	16.7	1	9.0	2	11.8
父	喫煙者	291	29.1	259	28.7	254	28.5	225	26.5	218	27.6	
	内訳	屋内	18	6.2	11	4.2	10	3.9	20	8.9	21	9.6
		換気扇の下	70	24.1	55	21.2	55	21.7	36	16.0	46	21.1
		屋外	179	61.5	171	66.0	155	61.0	142	63.1	132	60.6
		その他	24	8.2	22	8.5	34	13.4	27	12.0	19	8.7

⑤ 管理栄養士による食生活相談

生活習慣病に関する食事など、食生活に関する相談に栄養士が対応する。

- ア 毎週木曜日（午後）金曜日（午前）に一日3人までの予約制で実施
- イ 常設健康相談等で実施
- ウ 電話相談で実施

(単位：人)

年度		平成30	令和元	2	3	4
定例	母子	458	432	401	393	423
	成人	99	95	58	88	85
健康相談等	母子	397	439	238	273	339
	成人	26	55	38	11	37
電話	母子	11	16	38	12	3
	成人	11	28	19	5	7

⑥ 歯科衛生士による歯科相談

- ア 実施日：3歳児健康診査日の午後3時から4時（予約制）
- イ 従事者：歯科衛生士
- ウ 内訳

(単位：人)

年度		平成30	令和元	2	3	4
回数		36	36	36	35	7
人数	成人	9	6	4	5	4
	乳幼児	3	4	2	3	3

※乳幼児相談は母子保健係ページに再掲。

(3) 訪問指導

訪問指導費	391,171円
県補助金	139,000円
一般財源	252,171円

① 重複頻回受診・重複多剤処方者訪問指導

ア 目的 被保険者の健康に対する意識を高めてもらい、適正受診・適正服薬を促し、被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を図る。

イ 対象者 藤枝市国保加入者で、KDB（国保データベースシステム）により抽出された者
(単位：人)

人数	在宅面接	年齢内訳			多受診理由(重複あり)				不在
		40歳未満	40～64歳	65歳以上	精神不安 (服薬状況に 問題あり)	やむを得ない 受診	症状改善 しない	詳細不明	
15	11	0	2	9	1	8	1	2	4

② 在宅療養者の訪問指導事業 (40歳～64歳)

健診結果等で生活改善支援や療養上の保健指導が必要である者及びその家族に対して、保健師等が訪問する。

(単位：人)

内訳	ハイリスク者 (家族等)	特定保健指導 (家族等)	精神 その他	合計
平成30	43	64	24	131
令和元	34	85	9	128
2	9	32	9	50
3	14	43	10	67
4	54	28	26	108

※令和4年度はその他に40～64歳の多受診・重複受診者を含む

2 こころの健康づくり事業

こころの健康づくり事業費 789,097円

国庫補助金	433,000円
一般財源	356,097円

① 精神保健啓発講演会

ア 目的： 近年、社会構造や生活環境の複雑化・多様化のためにストレスが増大し、市民一人ひとりの「こころの健康」への関心が大きくなっていることから、地域住民の精神保健に対する正しい知識の普及およびこころの病についての理解促進を目的として、藤枝市精神保健啓発講演会を実施しているものである。

イ 内 容

(単位:人)

年度	実施日	内 容	会 場	参加人数
平成30	平成30年5月14日(月)	自殺の統計・ストレス対処方法・SOSの出し方・元気がない友人への声のかけ方 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	藤枝西高校	578 (1~3年)
	平成30年5月21日(月)		藤枝東高校	274 (1年)
令和元	令和元年5月10日(金)	自殺の統計・ストレス対処方法・SOSの出し方・元気がない友人への声のかけ方 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	藤枝明誠中学・高校	1,506 (1~3年・保護者)
	令和元年6月28日(金)		藤枝北高校	650 (1~3年)
	令和元年5月29日(水)	生徒の自殺予防について ～生徒からのSOSをどう受け止めるか～ 講師：加古川市教育委員会 学校支援カウンセラー 阪中順子 氏	藤枝総合運動公園 会議室	43 (志太榛原地区高校 生徒指導主事)
	令和元年7月8日(月)		藤枝市 生涯学習センター 会議室	37 (市内小中学校生徒 指導担当教諭)
2	令和2年7月11日(土)	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	藤枝順心中学・高校	520 (1~3年)
	令和2年7月16日(木)	インターネットが与える心と体への影響	葉梨小学校	121 (6年)
	令和2年12月8日(火)	「睡眠で体と心のパワーを高めよう」 「新型コロナウイルス感染症予防のために私たちができること」	葉梨中学校	93 (2年)
	令和2年12月18日(金)			126 (1年)
	令和2年12月16日(水)	コロナウイルスに負けない 元気なこころと体ですごそう	稲葉小学校	61 (4~6年)
	令和3年2月17日(水)	①メンタルヘルス入門 ②災害とメンタルヘルス ③自殺の現状と対策 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	焼津消防署	124
	令和3年2月24日(水)		焼津消防署	102
	令和3年3月10日(水)		藤枝消防署	98
3	令和3年7月13日(火)	インターネットが与える心と体への影響	葉梨小学校	125 (6年)
	令和3年11月24日(水)	メディアの正しい使い方について考えよう	大洲小学校	88 (6年)
	令和4年2月18日(金)	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	葉梨中学校	346 (1~3年)

※平成30年度より、若年層対策として市内高校生徒を対象に「SOSの出し方教育・ゲートキーパー」について実施。

年度	実施日	内 容	会 場	参加人数
4	令和4年6月14日(火)	大切ないのちを守るために あなたができること ～自分でできる心の健康～ 講師：静岡大学 教授 鈴江 毅 氏	藤枝学院高等専修学校	82 (1～3年)
	令和5年3月9日(木)		大洲中学校	79 (3年)
	令和5年1月27日(金)	生徒の自殺予防について ～生徒からのSOSをどう受け止めるか～ 講師：加古川市教育委員会 学校支援カウンセラー 阪中順子 氏	藤枝市 生涯学習センター	79 (小中学生保護者)
	令和4年7月12日(火)	インターネットが与える心と体への影響	葉梨小学校	139 (6年)
	令和4年9月15日(木)		稲葉小学校	50 (5・6年)
	令和5年1月26日(木)		青島北小学校	107 (6年)

※平成30年度より、若年層対策として市内高校生徒を対象に「SOSの出し方教育・ゲートキーパー」について実施。

②「睡眠キャンペーン」による啓発活動

うつ病の早期発見と早期治療につなげることを目的として、うつ症状のなかで最も自覚しやすい「不眠」に着目した「睡眠キャンペーン」による啓発活動を実施している。

(単位：人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
啓発実施者数	1,759	2,982	1,793	1,954	2,208

※上記の啓発実施者数は、出前講座等でリーフレット等により説明を加えながら啓発を行った人数

③ゲートキーパー養成事業

うつ・自殺予防を目的として、自殺予防についての正しい知識を持ち、様々な悩みや心の病を抱えている者への適切な対応と必要な支援に繋ぐ役割を担う「ゲートキーパー」を養成する研修会を実施している。

(単位：人)

年度	実施日	内 容	会 場	参加人数
平成30	平成30年11月22日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市役所	55
令和元	令和元年12月4日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市役所	60
2	令和2年11月4日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市役所	44
3	令和3年11月10日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市役所	45
4	令和4年11月4日	“みんなで取り組もう。 命を支えるゲートキーパー” 講師 静岡大学教授 鈴江 毅 氏	藤枝市役所	152
	令和5年2月22日		志太消防本部	
	令和5年2月24日		焼津市 消防センター	

※平成28年度からは市役所職員を対象に、継続的に実施

3 高齢者保健事業・介護予防一体的事業

高齢者保健事業・介護予防一体的事業費

939,780円

(諸収入939,780円)

令和元年健康寿命延伸プランの中で、医療保険と介護保険の事業の実施主体が制度及び年齢に応じて異なり、各事業の連携が取れていないことと、広域連合が実施していた後期高齢者の保健事業は、地域の実情に応じたきめ細やかな事業展開が課題であった。その課題を解決するため、制度改正が行われ令和6年度までに全市町で展開と示されたことから、地域包括ケア推進課、国保年金課と協議を重ね、令和3年度から実施となった。

① 目的

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。

② 内容

- ア KDBシステムを活用し、医療・健診・介護の情報を合わせた地域の健康課題の分析及び介護予防対象者の抽出を行い、介護関係団体との連絡調整を行う。
- イ 高齢者の疾病重症化予防として、健診受診後の保健指導
- ウ 通いの場などへの介護予防講座
- エ フレイルチェック票を用いて健康状態の把握を行い、ハイリスク者を必要な支援につなげる。

③ 従事者：保健師・管理栄養士・歯科衛生士

④ 実施結果

ア 訪問保健指導

年度	令和3	令和4
人数	8	12

イ 介護予防講座

年度	令和3		令和4	
	回数	参加人数	回数	参加人数
健康講座	3	64	6	144
低栄養予防	4	93	7	214
健口講座	2	33	4	76
合計	9	190	17	434

ウ 健康状態の把握

年度	令和3	令和4
人数	141	184

エ 個別相談の実施人数

年度	令和3	令和4
人数	35	87

4 特定保健指導

ア 目的：糖尿病等の生活習慣病の予備群に対する保健指導の第一の目的は、生活習慣病に移行させないことである。そのための保健指導では、対象者自身が健診結果を理解して身体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り、生活習慣を改善するための行動目標を設定し、対象者が自分の健康に関するセルフケア（自己管理）ができるようにする。

イ 対象者 藤枝市国保で特定健康診査を受診し、「特定保健指導対象者」となった人

ウ 従事者 保健師・管理栄養士

エ 特定保健指導実施状況（志太医師会分）

（単位：人）

年度	積極的支援			動機付け支援			合計		法廷報告	
	対象者	初回面接実施	実施率	対象者	初回面接実施	実施率	対象者	対象者率	終了者	実施率
平成30	214	108	50.5%	736	583	79.2%	950	8.4%	617	61.1%
令和元	197	134	68.0%	694	570	82.1%	891	8.8%	672	69.6%
2	135	97	71.9%	523	419	80.1%	658	9.1%	485	67.1%
3	132	99	75.0%	538	445	82.7%	670	9.3%	502	68.3%
4	155	113	72.9%	578	503	87.0%	733	8.9%		

オ 初回面接実施方法

（単位：人）

年度	個別 (予約来所)	個別（訪問）	電話	グループ支援			人間 ドック	委託分
				一般	食	運動		
平成30	78	401	194	6	3	9	-	-
令和元	59	453	176	4	1	4	-	-
2	34	342	129	9	2	0	20	-
3	38	367	134	5	0	0	15	-
4	20	377	217	0	1	1	1	59

・令和2年度より、人間ドック受診者の特定保健指導（訪問）を実施。

カ グループ支援実施状況（単位：回、人）

		一般	食	運動
令和元	実施回数	3	2	9
	実施人数	17	10	59※
	延人数			115
2	実施回数	2	1	9
	実施人数	13	13	61
	延人数			85
3	実施回数	2	1	9
	実施人数	14	12	37
	延人数			47
4	実施回数	2	2	9
	実施人数	8	14	29
	延人数			38

平成29年度よりメタボ男性教室（一般）の内容に運動を加え、メタボ女性教室（食）として実施。

キ 特定保健指導実施状況（委託分）

（単位：人）

年度	積極的支援			動機付け支援			合計	
	対象者	初回面接実施	実施率	対象者	初回面接実施	実施率	対象者	対象者率
令和4	11	6	54.5%	48	26	54.2%	59	8.1%

・令和4年度より、人間ドック利用者（一部）に特定保健指導委託開始。

5 食育事業

健康づくり食生活推進事業費 1,106,624円

(1) ふじえだヘルシー認定店登録制度

- ① 目的：藤枝市内の飲食店及び販売店において、健康に留意した取り組みを行う店舗を“ふじえだヘルシー認定店”として認定し、食環境の整備により、市民の食と健康に対する意識の向上を図る。
- ② 認定店舗数：27店舗（総認定数：37店舗）

(2) 藤枝市食育ネットワーク会議

- ① 目的：地域で食に係わる活動をしている各種団体間の相互の交流による情報の共有化と連携により食育事業を効果的に推進するために、食育に関する人材や関係団体のネットワーク会議を開催する。
- ② 開催日：令和4年6月30日
- ③ 食育ネットワーク会議委員

教育関係者（小中学校栄養教諭・幼稚園・保育園・PTA連絡協議会）

農業団体、各種団体（藤枝歯科医師会・ふじえだアレルギーっ子の会・栄養士会）
藤枝市健康づくり食生活推進協議会）

市内企業（東海ガス株式会社・静鉄ストア）

行政機関（中部健康福祉センター・藤枝市教育政策課・学校給食課・商業観光課
農業振興課（お茶のまち推進室）・産業振興課・児童課
健康企画課・健康推進課）

(3) 藤枝市健康づくり食生活推進協議会 健康づくり食生活推進事業費補助金 171,000円

市が開催する食生活改善推進員育成セミナーの修了者及び、会の目的に賛同する推進員により構成。昭和57年に発足した地域ボランティアグループ。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、地域における「食」を通じた健康づくりの推進を行っている。
住民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、正しい食生活の普及浸透を図っていく活動をしている。

- 昭和57年 健康づくりモデル地区0Bの事業継続を図るため藤枝市栄養改善推進委員が発足（50人）
静岡県食生活改善推進協議会に加入
- 59年 栄養改善推進員100名となり、保健委員制度発足にともない全員婦人保健委員として活動
- 61年 婦人保健委員としての2年の任期終了。研修で学んだことを地域で役立てたいと「食と地域福祉を考える会」を発足
- 62年 名称を「やすらぎの会」と改名
- 平成 3年 知事功労別表彰（保健衛生功労）を受賞
- 5年 食生活フェア開催
- 10年 長年にわたる地域社会の組織活動による栄養及び食生活改善に対し、厚生大臣表彰を受賞
- 13年 20周年記念事業を開催。「楽しく健康への食卓」記念献立集を作成
- 16年 やすらぎの会が、市制50周年記念特別表彰を受賞
- 21年 藤枝市と岡部町の合併に伴い、藤枝市食推協やすらぎの会と食推協健康を考える会が合併し、藤枝市健康づくり食生活推進協議会として活動開始
- 23年 30周年記念大会を開催。活動と地産地消を語る会レシピをまとめた冊子を作成
- 27年 タウン誌月刊むるぶに「食推さんの健康レシピ」の掲載を開始
- 28年 タウン誌月刊むるぶプラスに「食推さんの野菜嫌い克服！簡単レシピ」の掲載を開始
- 30年 藤枝市健康づくり食生活推進協議会が、市民団体活動表彰を受賞
- 令和 3年 藤枝市健康づくり食生活推進協議会が、静岡県知事表彰を受賞
- 4年 40周年記念大会を開催

藤枝市健康づくり食生活推進協議会会員数

地区	平成30	令和元	2	3	4
稲葉	4	5	1		
葉梨	3	4	4	5	5
広幡	8	6			
西益津	12	12	10	10	10
藤枝	7	8	7	7	
青島	23	30	27	24	21
高洲	20	27	22	24	20
大洲	3				
合計	80	92	71	70	56

① 食生活推進協議会事業実施結果

項目	内容	平成30		令和元		2		3		4	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
会議	総会	2	76	2	70	0	0	1	47	2	39
	理事会	12	59	11	45	12	54	12	61	12	61
	定例会	12	189	11	177	11	152	12	158	12	131
	支部定例会	34	333	64	632	47	512	45	503	38	465
研修	保健所連絡等	11	12	9	10	9	26	17	22	24	25
	県、保健所、その他主催の研修会	1	10	1	4	0	0	1	17	1	5
	市での研修会(栄養教室 他)	7	98	7	92	5	49	6	65	5	57
	栄養教室・その他の活動など	38	300	36	312	25	192	33	243	44	357
講義及び実習 (伝達講習)	その他の活動(みそ作りなど)	1	6	4	18	3	17	6	44	6	39
	公民館まつり	11	93	12	92	0	0	0	0	6	41
	保健センター事業への協力	5	11	3	7	0	0	0	0	0	0
	放課後児童クラブ食育教室	18	87	12	74	3	14	1	4	1	7
他団体事業に 協力、参加	その他(昔の健康まつり、スポーツ&健康フェスティバル等)	6	45	5	45	0	0	0	0	2	17
	保健委員・老人会等	4	30	7	42	0	0	1	3	1	4
	地区活動	8	43	6	44	3	20	4	32	3	26
	見学研修	2	35	1	31	0	0	0	0	1	28
交換会及び 見学研修	交流会	3	112	3	118	3	68	1	31	3	55
	その他	8	91	16	171	13	100	7	67	11	117

※人数は食生活推進員の動員数

6 国保ヘルスアップ事業

(1) 重症化予防事業

重症化予防事業費 3,132,077円

① ハイリスク訪問

特定健康診査・ヘルスアップ健診の結果、事後指導の特に必要なハイリスク者に対して、電話や訪問による生活改善指導を行い、生活習慣病予防に努めると共に受診勧奨、受診状況の確認を目的とする。

ア 従事者：保健師・管理栄養士・看護師

イ 実施状況

年度 フォロー方法	平成30		令和元		2		3		4	
	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ	特定健診	ヘルスアップ
訪問	537	6	426	3	284	1	288	2	386	1
来所	13	0	20	0	25	0	33	0	16	0
電話指導	86	2	50	4	44	1	56	2	93	1

ウ 訪問対象者の病態別内訳（重複あり）

項目	対象者実人数※1	血压	HbA1c	LDLコレステロール	中性脂肪	尿酸	尿蛋白	eGFR
判定基準		最高血压 180以上 最低血压 110以上	7.0以上 ※2	220以上	500以上	9.0以上	2+以上	45未満
対象者人数	620	192	80	33	29	34	27	284
内服中の割合※1	46.9%	30.7%		9.0%	27.5%		81.5%	78.9%
ヘルスアップ健診	1	0	0	0	0	0	0	1

※1 高血圧、糖尿病、脂質異常症の内服をしている人（質問票より）

※2 糖尿病未治療の人（質問票より）

② 緊急異常値連絡に基づく訪問

医師会健診センターに血液検査機関等から検査結果ファックスが届いた者や、結果処理の際、緊急と考えられた者に対して、至急本人へ受診勧奨を行う。

ア 従事者：保健師・管理栄養士・看護師

イ 実施状況

年度 項目	平成30	令和元	2	3	4
血糖	27	30	20	11	51
肝	1	2	0	0	0
血液一般	11	19	8	6	5
その他（血压など）	1	2	4	5	4
合計	40	53	32	22	60

③ 重症化予防教室実施状況

ア 腎ハイリスク者支援教室

特定健診受診者で、高血圧や腎機能低下のリスクがある本人及び家族

イ 糖ハイリスク者支援教室

HbA1c5.6以上の本人及び家族

年度 教室名	平成30		令和元		2		3		4	
	腎	糖	腎	糖	腎	糖	腎	糖	腎	糖
回数	4	5	3	4	3	3	3	3	3	3
参加人数	20	26	26	19	25	32	20	7	48	35

④ ふじえだCKDネットワーク事業

ア 目的 : 市民の腎臓を守るため、市内の保健・医療関係機関により、CKD対策を充実させていくことを目的とする。

イ 経過 :

- ◇ 平成30年度 年度途中から「ふじえだCKD・DKDネット」と名称変更
9月「CKDガイドライン2018」を参考に「チェック！CKDシール」の貼付基準変更
 - ・CKD緑色シール 65歳未満 $30 \leq eGFR < 50 \text{ml/分/1.73m}^3$
 - 65歳以上 $30 \leq eGFR < 45 \text{ml/分/1.73m}^3$
 - ・CKD紫色シール $eGFR < 30 \text{ml/分/1.73m}^3$ (たんぱく尿2+以上が継続する人も含む)
- ◇ 令和元年度 DKDシール作成、薬剤師会、藤枝市立総合病院に配布
 - ・DKD青色シール 75歳未満 $HbA1c \geq 7.0\%$
- ◇ 令和3年度 ・「かかりつけ医の先生にお願いしたいCKD診療」の部分の差し替え
・「歯科医師会の役割及びCKD・DKDと歯科治療」の追加
- ◇ 令和4年度 年度途中から「ふじえだCKDネット」と名称変更
 - ・DKDシールは廃止し、糖尿病連携手帳を普及させていく

ウ シール発行数

年度	平成30	令和元	2	3	4
CKD紫※1	92	99	103	59	81
CKD緑※2	247	314	220	165	170
DKD青※3		185	87	35	17

※1・・・eGFR30未満 (たんぱく尿2+以上が継続する人も含む)

※2・・・(65歳未満) eGFR50未満 (65歳以上) 45未満

※3・・・75歳未満: $HbA1c \geq 7.0\%$

エ ふじえだCKDネットワーク会議開催数

年度	平成30	令和元	2	3	4
開催数(回)	3	2	3	2	2

◇ふじえだCKDネットワーク会議委員

: 市立病院・志太医師会・藤枝薬剤師会・藤枝歯科医師会
行政 (地域包括ケア推進課・国保年金課・健康推進課)

(2) こども健康チャレンジ事業

こども健康チャレンジ事業費 219,890円

こども達が健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠・休養など、規則正しい生活習慣が大切である。また、小学生の保護者にあたる年代は、特定健診の受診率が低い事が問題になっている。こども達がよい生活習慣を実践する姿から、家族の健康意識の向上をはかることを目的とする。

① 経過 平成24年度市民政策提案の4Kのうちの「健康分野」の「40代から50代の特定健診受診率を向上させる提案で最優秀を取った市民の提案「子ども達から大切な両親への健診受診勧奨」として平成24年度から開始した。

平成24年度：啓発用品の配布「メタボメジャーつきトイレトペーパー」
(小学5、6年生の児童2,721人に配布)
*配布時に健康教育を小学校2校の児童216人に実施

平成25年度：「こども健康チャレンジシート」の配布開始

平成28年度：歯科出前講座実施後に同時実施

② 内容 ・チャレンジシートは以下2項目について達成を目指すものとする。
① 生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき)についての自己目標
② おうちの人への「健診うけてる？」の呼びかけ
・チャレンジシートの提出は任意とし、提出者には参加賞を配布する。

③ 結果

年度	対象者	シート配布人数	参加者				実施率※
			シート提出人数		保護者への 受診勧奨実施	保護者の 健診受診意 思	
				再掲) 3.4年生			
平成30	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	1,500	1,071 (71.4%)	859	877	863	65.4%
令和元	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	1,260	869 (69.0%)	854	774	675	63.9%
2	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	678	477 (70.4%)	465	435	407	34.0%
3	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	950	671 (70.6%)	556	507	458	41.3%
4	歯科保健出前 講座を受けた者 (主に3・4年生)	1,524	977 (64.1%)	935	753	659	71.8%

※実施率は3.4年生のシート提出数÷3.4年生人数の平均

(3) 歯や口の健康づくり事業

市民一人ひとりの生涯にわたる歯や口の健康づくりを実現するために、平成24年7月に「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」を施行、令和3年3月に策定された「第3期 元気ふじえだ健やかプラン」に基づき、歯科保健に関する施策を総合的に推進している。

①住民歯科会議 住民歯科会議委員報酬 85,000円

「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」第9条の規定に基づき組織され、歯科保健計画の推進に関し必要な事項を協議する。

ア 日時 令和4年10月6日(木) 令和5年2月2日(木)

イ 構成メンバー

医療・保健関係者	藤枝歯科医師会・志太地区歯科衛生士懇話会 志太地区栄養士研究会・静岡県中部健康福祉センター
福祉関係者	藤枝市介護支援専門研究会・藤枝市自立支援協議会
教育関係者及び保護者	藤枝市教育委員会(校長会)・藤枝市養護教諭研究会 藤枝市立幼稚園協会
市民組織の代表者	8020推進委員、藤枝市PTA連絡協議会 藤枝市保健委員連絡協議会
その他市長が認めた者	—

②歯科保健出前講座 歯や口の健康づくり事業費 214,128円

ア 目的 歯や口の健康は市民が健康で質の高い生活を営む上で重要な役割を果たす。市民一人ひとりの生涯にわたる歯や口の健康づくりを実現するための取り組みとして、希望のあった施設で歯科保健出前講座(ブラッシング指導)を実施した。

イ 対象 開催を希望する施設(小中学校、保・幼・こども園、障がい者施設)

ウ 従事者 歯科衛生士、補助スタッフ(保健師・看護師)

エ 実施時期 6月～1月

オ 内訳

年度		平成30	令和元	2	3	4
小学校・中学校	学校数(校)	13	12	9	13	16
	講座開催数(回)	53	46	27	44	59
	人数(人)	1,753	1,596	694	988	1,575
	(再掲)保護者	(316)	(330)	0	(5)	(11)
保育園・幼稚園 こども園	園数	2	11	14	15	27
	講座開催数(回)	4	24	20	19	30
	人数(人)	103	471	593	575	834
	(再掲)保護者			(55)	(49)	(29)
障がい者 福祉施設	施設数	1	2	1	0	0
	人数(人)	25	53	30	0	0

(4) 歯の健康まつり

歯の健康まつり事業費

270,000円

藤枝歯科医師会に委託し、歯科保健啓発事業として実施する。

- ① 日時 : 令和2・3・4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
- ② 会場 : 藤枝市保健センター
- ③ 実施状況

ア 保健センター会場

(単位:人)

		年度	平成30	令和元	2	3	4
来所者			893	1,013			
内 容	8020 コンクール表彰		113	118	91	138	140
	歯科健診・相談(矯正・義歯・歯周病について)※		216	274			
	ブラッシング指導		522	561			
	フッ素塗布		385	319			

※オーラルペーパーテストの実施を含む。

VII 健康企画担当

- 1 健康経営プロジェクト推進事業
- 2 歩いて健康づくり推進事業
- 3 食べて健康づくり推進事業
- 4 こころを澄ませて健康づくり推進事業
- 5 健康づくり推進協議会

1 健康経営プロジェクト推進事業

5,425,067円

一般財源 5,425,067円

1) 健康・予防 日本一発信事業

厚生労働省主催「第1回健康寿命をのぼそう！アワード」自治体部門健康局長優良賞受賞を機に、受賞団体で構成する協議会等への参加や全国各地からの視察受け入れなどにより、市内外に本市の特色ある健康施策を発信してきた。

令和4年度は、全国各地（10市議会、1自治体）からの視察受け入れを実施した。

① 健康寿命延伸都市協議会研修会・総会への参加

厚生労働省主催の「健康寿命をのぼそう！アワード」受賞自治体で構成する健康寿命延伸都市協議会研修会・総会にオンラインで参加し、先進事例の研究や情報交換を行った。

日にち	令和4年8月26日（金）
会場	オンライン（Zoom）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演会① 認知症予防と高齢者の健康づくりについて 講師：島田 裕之（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター長） ・特別講演会② 健康づくりに関する国の最新動向について 講師：寺井 愛（厚生労働省健康局健康課 課長補佐） ・各自治体の事業報告 ほか

② 健康都市連合日本支部研修会・総会への参加

健康都市連合日本支部主催の健康都市連合日本支部研修会・総会に参加して、先進事例の研究や情報交換を行った。

日にち	①令和4年8月4日（木） ②令和4年11月24日（木）
会場	①オンライン（Zoom） ②大阪府泉佐野市
内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 総会 ②・基調講演会「笑って笑って」『すこやかに』～すばらしき『笑い』の効果～ ・講師：大平 哲也（福島県立医科大学 主任教授） ・各自治体の事業報告 ほか

2) 企業向け健康経営の実践

健康無関心層といわれる働き盛り世代へのアプローチを進めるため、静岡県、藤枝商工会議所、岡部町商工会と連携し、健康づくりを通して企業の生産性や価値向上などを目指す経営手法の「健康経営」の実践を支援した。

・企業向け健康経営の実践 市内企業6社 103人

事業所名	内容	参加人数
㈱ツチャコーポレーション	事業所の社員を対象に6か月間の実践プログラムを提供し、健康づくりを支援	21人
ペガサスコンサルティンググループ		16人
中部電力パワーグリッド㈱藤枝営業所	過年度に健康経営に取り組んだ事業所の社員を対象に、フォローアップを実施	8人
(有)佐野石材		18人
ホンダモーター藤枝販売㈱		24人
㈱エクノスワタナベ		16人

3) 健康経営ガイドブックの作成

「健康経営」の社会的な背景やメリット、行政の支援メニューなどを具体的にまとめ、事業所が主体的に「健康経営」を始めるためのツールとして「健康経営ガイドブック」を作成し、広く発信することで企業の導入を促した。

4) 企業向け健康経営支援事業

健康無関心層と言われる働き盛り世代へのアプローチを進めるため、市内企業が主体的に取り組む健康づくり事業に対して補助金を交付することで、企業の健康経営を支援した。

・健康経営事業費補助金の交付

事業所数	内容	参加人数
9事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧計を活用した健康維持事業 ・ 健康経営優良法人認定申請 ・ いきいき仕事ができる健康体操事業 ・ 社員の運動習慣化による健康体操事業 	111人

5) “私の健幸”測定事業・“健幸プロ”派遣事業

健康づくりに主体的に取り組む事業所に対して、運動指導士や保健師などを派遣して、従業員の健康づくりに関する講座を実施した。

・“私の健幸”測定事業

事業所数	内容	参加人数
1事業所	体組成測定、体力測定、運動指導等に関する講座	30人

・“健幸プロ”派遣事業

事業所数	内容	参加人数
3事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙対策に関する講座 ・ 高血圧予防に関する講座 ・ 腰痛、肩こり予防に関する講座 	61人

3) ふじえだ健康マイレージ事業

市民への健康的な生活習慣の動機付けと健康行動の定着を促すため、毎日の健康行動（運動・食事などの5項目）の2週間以上の実践とボーナス項目（健（検）診受診など）で一定のポイントを貯めた市内在住、在勤者に対し、協力店で様々なサービスを受けられる1年間有効のカードを発行した。

平成24年 10月1日 ふじえだ健康マイレージチャレンジシート（紙版）スタート
 平成25年 2月1日 Web版システムスタート（携帯電話 スマートフォン PC）
 平成28年 10月22日 楽しく歩いて健康アプリ～あるくら～との連動

① 概要

- ・ 期間 2週間チャレンジ
 ※平成27年5月1日から利用拡大のため4週間から2週間へ期間短縮
- ・ 対象 藤枝市在住・在勤・在学の18歳以上の人（4月1日現在）
 ※平成27年11月1日 本市の重点施策である4K（健康・教育・環境・交通安全）所管課の連携施策として、各々の分野で目標を設定し、2週間以上実践する「ふじえだマイレージ」に展開を拡大

② 特長

- ・ 通年事業（いつでもスタート可能）
- ・ 参加方法は、紙版とWeb版が選択できる
- ・ 目的を「健康的な生活習慣」の定着・継続に焦点化（保健計画・食育推進計画・歯科保健計画を反映）
- ・ ポイント加算のボーナス項目に「健（検）診受診」「社会参加」「禁煙」等を設定
- ・ 自主申告制を導入し「自分の健康は自分で守る」意識の醸成
- ・ 静岡県との協働事業（令和4年度：県内22市12町）
- ・ ポイント還元は公費でなく、事業所や店舗の協力を得てサービスを拠出
- ・ 市民、地域事業所、行政の3者がWin-Winの関係づくり
- ・ 「ふじえだマイレージマイスター（4Kマイレージ達成者）」には、抽選で賞品を進呈

③ 実績（平成24年度からの累計）

年度	ふじのくに健康いきいきカード所持数	内 訳		協力店	Web版登録者
		チャレンジシート	Web版		
令和2年度	3,301人	1,858人	1,443人	1,119店	2,118人
令和3年度	3,717人	2,054人	1,663人	1,104店	2,320人
令和4年度	4,189人	2,219人	1,970人	1,074店	2,713人

2 歩いて健康づくり推進事業

3,499,335円

諸収入 158,400円

一般財源 3,340,935円

1) 健康スポット20選事業

“楽・癒・美・食・鍛・幸”をキーワードとした地域の宝により、健康・予防の意識の向上と賑わいづくりを創出するため、行政施設での配架等により市民への周知を図った。

① 健康スポット活用事業

○ 元気ふじえだ健康ウォーキングの開催

年度	開催日	参加人数	タイトル
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
令和3年度			
令和4年度	令和4年5月1日～ 令和4年5月31日	1,045人	あるくらアプリを活用して“歩く”運動機会を創出するイベント「元気ふじえだ健康ウォーキングオンライン」を開催した。

2) 歩いて健康「日本全国バーチャルの旅」

日常的に楽しみながら「歩く」ことを支援するため、バーチャル東海道を初めとする日本全国の旅をバーチャルで楽しめる「バーチャルマップ」を作成し提供した。

また、参加者の継続意欲を高めるため、完歩総距離1万キロ達成者への表彰を実施した。

① 提供コース

40コース (R5.3月末現在)

- ・奥の細道①～⑤、四国お遍路①～③、九州周遊①～③、北海道周遊①～⑥、熊野古道世界遺産、富士山、箱根駅伝、北陸魅力再発見 ほか

② 各コース達成者

年度	達成者数
令和2年度	550人 (※延べ4,411人)
令和3年度	593人 (※延べ5,004人)
令和4年度	560人 (※延べ5,564人)

③ 完歩総距離1万キロ達成者

年度	達成者数
令和2年度	7人 (※延べ66人)
令和3年度	5人 (※延べ71人)
令和4年度	5人 (※延べ76人)

3) 楽しく歩いて健康アプリ～あるくら～

主に健康無関心層といわれる働き盛り世代や子育て世代といった青・壮年層の健康行動の喚起・誘導を図るため、その世代が“扱い慣れ” “気軽に”そして“楽しむ”ことのできるアプリケーションの普及を促進した。

① アプリの仕様

- ・歩数の自動計測
- ・バーチャルマップ機能
- ・ランキング機能及びグループ表示機能
- ・ポイント獲得、抽選応募申請機能
- ・SNSへの共有機能
- ・健康マイレージWeb版への連結機能

② ダウンロード件数 (R5.3月末)

7,753件 (累計)

③ スポーツ&健康ウォーキングの開催

期間	令和4年11月19日～12月18日
内容	「あるくら」アプリ内で3人以上のグループを作り、開催期間中の平均歩数(グループ別)をランキング形式により競うイベント
参加人数	219グループ 延べ963人

④ 抽選会の開催

アプリ内で歩く歩数などに応じて付与するポイントを活用した抽選会を開催した。

(応募人数 736人)

3 食べて健康づくり推進事業

2,261,277円

一般財源 2,261,277円

1) ふじえだ食育グルメフェス

本市の健康課題である高血圧症への注意喚起を図るため、市内参加店8店舗が創作したヘルシーメニューをレシピ化・店舗で提供する「ふじえだ食育グルメフェス」を開催した。

① レシピの公開日

令和4年12月

② 参加店舗・創作レシピ

くるみキッチンプラス+	かぼちゃとほうれん草の和風グラタン
新中華 華花	干し豆腐と春雨の豆乳入りヘルシー坦々・排塩サラダ仕立て
レストラン シェ・サツカワ	アボカドのテリーヌ 南瓜のヨーグルトサラダ 人参のマスタードマリネ
カクタスハウス	フレッシュトマトとアンチョビのリングイーネ
呑み家 鼓童	2種のフライドポテト ~ゴルゴンゾーラソース~
artigiano (アルティジャーノ)	炙りホタテ、茸とドライトマトのボスカイオーラ カブとあおさのクリームソースを添えて
三枝商店	パプリカとほうれん草のスパゲッティ
you me 縁 -yumeyori-	vege餃子

2) 野菜を食べて健康フェア

日々の食事で不足しがちな野菜摂取を促すことで、健康的な食生活を送る支援を行うため、包括連携企業のカゴメ(株)と協働し、市内スーパーマーケットで野菜の購入を促進する「野菜を食べて健康フェア」を開催した。

① 実施期間 令和5年2月1日～2月14日

② 実施店舗 市内しずてつストア全店(5店舗)

③ 内容 期間中に実施店舗で、野菜とカゴメ商品をそれぞれ一定数以上購入した方を対象に、抽選で賞品が当たるイベントを開催した。

④ 応募件数 289件

4 こころを澄ませて健康づくり推進事業

558,938円

諸収入 6,200円

一般財源 552,738円

仕事と家庭の両立に忙しく、自身の健康が二の次になりがちな女性や、仕事を優先しがちなビジネスマンの親子などを対象に、心安らぐ時間の提供により、心身のリラックスや疲労回復に繋げるとともに親子の絆を深めることを目的として、「運動」と「休養(星空観測会)」を組み合わせたイベント『元気ふじえだ星空フェス』を開催した。

5 健康づくり推進協議会

85,000円

一般財源

85,000円

1) 目的:

市民の健康づくり事業の円滑かつ効率的な推進を図るうえで、保健計画等の進行管理と保健施策全般に関する審議を目的として「藤枝市健康づくり推進協議会（会長：藤枝市長）」を設置している。この協議会は、委員12人（任期2年）により構成されている。
令和4年度は、第3期元気ふじえだ健やかプランの進行状況に関する審議を行った。

2) 開催日:

開催回	開催日	主な協議事項
第1回	令和4年7月12日	令和3年度の進捗報告と令和4年度における主要施策の取り組みについて
第2回	令和5年3月14日	主要施策における令和4年度の実行経過と令和5年度の実行予定

3) 構成メンバー（令和4年度）

（令和5年3月末現在）

	所属団体等	氏名
会長	藤枝市	北村 正平
地域医療関係団体の代表	一般社団法人志太医師会	森 泰雄
	一般社団法人藤枝歯科医師会	岡本 康雄
	一般社団法人藤枝薬剤師会	清水 あつ子
自治会連合会の代表	藤枝市自治会連合会	海野 博司
市民団体等の代表	藤枝市保健委員連絡協議会	細田 智子
	藤枝市健康づくり食生活推進協議会	是永 ふみ代
	藤枝市民生委員・児童委員協議会	関口 やち代
	藤枝市社会教育委員会	安藤 房己
	藤枝市スポーツ推進委員会	竹田 利恵子
学識経験者	静岡県中部保健所	岩間 真人
	志太地区栄養士研究会	小野田 美津子

計12人（男性 6人 女性 6人）

VIII 地 域 医 療 担 当

- 1 志太榛原地域救急医療センター運営事業
- 2 救急医療協力促進事業
- 3 休日歯科診療運営委託事業
- 4 地域自殺対策推進事業
- 5 安心な初期医療を守る事業

※ 病院支援局 病院連携室分を含む

1 志太榛原地域救急医療センター運営事業

志太・榛原地域の夜間救急患者へ医療サービスを提供するため、救急医療センターの運営を公益社団法人志太・榛原地域救急医療対策協会へ委託した。

平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。

なお、週末の深夜帯（午後10時から翌朝7時まで）の診療については、これまで金～日（3日間）に実施してきたが、医療体制を確保することが困難となったため、令和2年度から土・日（2日間）の実施に変更し、浜松医科大学医学部附属病院、県立こども病院の協力により深夜帯の診療を実施している。

1 所在地	藤枝市瀬戸新屋362-1		
2 名称	志太・榛原地域救急医療センター		
3 開設者	藤枝市長		
4 指定管理者	公益社団法人 志太・榛原地域救急医療対策協会 (R3～R5)		
5 診療科目	内科・小児科		
6 診療時間	月～金	午後7時30分～午後10時	
	土・日	午後7時30分～翌朝7時	
7 勤務体制	医師	1人	
	看護師	2～3人	
	事務員	1人	

○令和4年度運営費

71,570,287円

運営市町負担金

44,351,000円

一般財源

27,219,287円

(1)科目別患者数

単位：人

科目 \ 年度	30	令和元	2	3	4
内科	2,181	1,897	531	484	514
小児科	2,649	2,346	510	756	1,088
外科	28	25	15	9	5
耳鼻科	88	70	18	24	22
皮フ・泌尿器	160	189	124	121	121
その他	20	16	8	3	6
計	5,126	4,543	1,206	1,397	1,756

(2) 時間帯別患者数

単位：人

時間帯 \ 年度	30	令和元	2	3	4
19:30 ~ 20:00	2,102	1,824	398	480	615
20:00 ~ 21:00	1,222	1,127	378	444	494
21:00 ~ 22:00	791	768	252	278	342
22:00 ~ 23:00	293	227	56	62	104
23:00 ~ 24:00	164	119	27	33	44
0:00 ~ 1:00	131	141	26	27	38
1:00 ~ 2:00	96	94	10	26	31
2:00 ~ 3:00	75	63	14	9	17
3:00 ~ 4:00	46	60	19	12	21
4:00 ~ 5:00	72	32	13	9	18
5:00 ~ 6:00	69	53	6	11	8
6:00 ~ 7:00	65	35	7	6	24
	5,126	4,543	1,206	1,397	1,756

(3) 年齢別患者数

単位：人

年齢 \ 年度	30	令和元	2	3	4
2歳未満	597	545	128	221	308
2歳以上 ~ 6歳未満	1,088	927	214	357	464
6歳以上 ~ 15歳未満	1,115	1,026	233	246	380
15歳以上 ~ 30歳未満	794	684	179	194	180
30歳以上 ~ 45歳未満	698	630	160	131	158
45歳以上 ~ 60歳未満	444	376	110	105	119
60歳以上 ~ 75歳未満	244	225	102	83	74
75歳以上	146	130	80	60	73
計	5,126	4,543	1,206	1,397	1,756

2 救急医療協力促進事業

15,100,800円

諸収入 1,971,000円
 一般財源 13,129,800円

休日における初期救急体制の確保のため、藤枝市ならびに焼津市の一部（旧大井川町）の休日当番医制度を志太医師会に委託して実施している。

(1) 実施日数・医療機関数

項目 \ 年度	30	令和元	2	3	4
実施日数	72	76	71	71	71
延べ医療機関数	319	346	339	345	348

(2) 科目別患者数

単位：人

科目 \ 年度	30	令和元	2	3	4
内科（含む小児科）	10,083	9,996	3,238	4,356	5,896
外科	2,021	2,314	1,801	1,658	1,730
眼科	270	516	262	217	214
耳鼻科	1,833	1,952	1,191	1,476	1,921
その他	378	449	257	230	234
計	14,585	15,227	6,749	7,937	9,995

3 休日歯科診療運営委託事業	2,676,960円
	一般財源 2,676,960円

歯科の休日当番医を一般社団法人 藤枝歯科医師会に委託して実施した。

(1) 実施日数・医療機関数・患者数

項目	種別	30	令和元	2	3	4
実施日数	年未年始	6	6	6	6	6
	休日	67	70	66	66	66
	計	73	76	72	72	72
延べ医療機関数	年未年始	12	12	12	12	12
	休日	67	70	66	66	66
	計	79	82	78	78	78
患者数	年未年始	124	177	146	127	136
	休日	406	580	400	360	298
	計	530	757	546	487	434

4 地域自殺対策推進事業	113,000円
	国交付金 56,000円
	一般財源 57,000円

本市における自殺対策として保健、医療、福祉だけでなく、関連するその他の施策と連携し包括的に連携することで「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す「藤枝市自殺対策計画」の進捗状況等について審議する「藤枝市自殺対策推進協議会」を開催した。

(1) 藤枝市自殺対策推進協議会

①目的： 自殺対策基本法（平成18年法律第85号）の基本理念にのっとり、生きることの包括的な支援を推進するため設置された自殺対策計画の進行管理と自殺対策の推進に関する協議を行うとともに、関係機関の連携強化及び情報交換を行う。

②開催日： 令和5年2月8日

③構成メンバー

医療・保健機関	静岡県中部健康福祉センター
	一般社団法人志太医師会
	一般社団法人藤枝薬剤師会
福祉機関	藤枝市社会福祉協議会
	藤枝市地域包括支援センター
	藤枝市民生委員・児童委員協議会
教育機関	藤枝市校長会
商工労働機関	藤枝商工会議所
警察・消防	藤枝警察署
	志太消防本部

5 安心な初期医療を守る事業

194,480円

一般財源 194,480円

市民が安心して医療を受けられる環境、初期医療を維持するために市民に地域医療を守る意識の醸成を高め、適正な受診を促すチラシを作成し、市立総合病院、地区交流センターなどへ配布、啓発した。

IX コロナウイルス担当

1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

- 5月24日 医師会説明会 追加接種（4回目）について
5月25日 （改正）4回目接種開始
60歳以上（努力義務）と18歳以上の基礎疾患を有する人その他重症化リスクが高い
と医師が認める人が対象 3回目から5か月経過した人
基礎疾患を有する人等は申請フォームから申請
- 6月24日～ 武田社ワクチン（ノババックス）開始
18歳以上の1～3回目接種として、3回目は2回目から6か月以上経過している人
- 6月24日 市民体育館会場での接種終了
6月29日 浄化センター会場での接種終了（7月以降の集団接種は保健センター会場のみ）
7月4日～ 保健センターで接種予約支援 月曜～木曜（祝日除く）午後1時～4時
- 7月22日 （改正）4回目接種対象に、医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者が追加
武田社ワクチン（ノババックス）の初回接種の対象年齢が12歳以上に拡大
インフルエンザとの接種間隔について、同時接種が可能、接種間隔に関する規定なし
- 8月17日 接種証明書のコンビニ交付サービスが開始
- 9月6日 （改正）小児（5歳～11歳）接種 追加接種開始 市内では9月15日から接種
2回目から5か月経過する人が対象、努力義務適用
- 9月20日 （改正）特例臨時接種の実施期間が令和5年3月31日までに延長
令和4年秋開始接種 オミクロン株対応ワクチン接種開始
対象12歳以上（ファイザーBA.1：12歳以上、モデルナBA.1：18歳以上）
追加接種として1人1回 60歳未満の人も努力義務の対象
- 9月26日 医師会説明会（オミクロン株対応ワクチン接種について）
10月1日～ オミクロン株対応ワクチン接種を集団接種・個別接種で開始
60歳以上、基礎疾患を有する者等、医療従事者等
その家族やエッセンシャルワーカーが優先（申請）
- 10月13日 （改正）令和4年秋開始接種に、ファイザーBA.4-5が追加
10月21日 （改正）3・4回目接種の接種間隔3か月以上に短縮（ファイザー、モデルナ）
10月24日～ 4回目接種から3か月経過する人へ接種券の送付開始
6～9月に4回目接種が済んだ60歳以上の人へ5回目の接種券の送付開始
- 11月8日 （改正）ノババックス3・4・5回目は秋開始接種に含める 1人1回 6か月あけて
オミクロン株対応2価ワクチンが何らかの理由で接種できない人はノババックスを
4・5回目で選択可（18歳以上）
- 11月中旬～ 市内個別接種医療機関での乳幼児（6か月～4歳）接種開始
対象者に案内を送付し、希望する場合は申請により接種券発送
- 11月14日 係員1名増員
11月28日 （改正）令和4年秋開始接種に、モデルナBA.4-5が追加 18歳以上
12月14日 （改正）モデルナ社オミクロン株対応ワクチン 対象12歳以上に拡大
- 令和5年
3月8日 （改正）小児用ワクチンの追加接種に、オミクロン株対応ワクチンが追加
3月31日 （改正）5歳以上の追加接種で、ファイザー社従来株ワクチンが終了

(1) 接種会場

	令和3年度	令和4年度
集団接種	<ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市民体育館 ・藤枝市浄化センター ・藤枝市保健センター ・静岡産業大学藤枝キャンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市民体育館 ・藤枝市浄化センター ・藤枝市保健センター
個別接種 (市内医療機関)	59医療機関 (小児接種含む)	56医療機関 (小児接種含む)
その他 (市内職域接種会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・JA大井川農産物集出荷場 ・静岡県警察学校 ・村上開明堂築地工場 ・静岡産業大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・JA大井川農産物集出荷場 ・静岡県警察学校 ・村上開明堂築地工場

(2) 接種人数及び接種率

高齢者(65歳以上)

43753	令和3年度	令和4年度	合計	
	接種人数	接種人数	接種人数	接種率
1回目	41,031 人	273 人	41,304 人	94.40%
2回目	40,921 人	302 人	41,223 人	94.22%
3回目	35,662 人	4,925 人	40,587 人	92.76%
4回目		37,008 人	37,008 人	84.58%
5回目		29,601 人	29,601 人	67.65%
うち、オミクロン株対応ワクチン接種人数		33,375 人	33,375 人	76.28%

64歳以下

99827	令和3年度	令和4年度	合計	
	接種人数	接種人数	接種人数	接種率
1回目	74,024 人	2,565 人	76,589 人	76.72%
2回目	72,617 人	3,450 人	76,067 人	76.20%
3回目	14,456 人	48,052 人	62,508 人	62.62%
4回目		35,358 人	35,358 人	35.42%
5回目		6,288 人	6,288 人	6.30%
うち、オミクロン株対応ワクチン接種人数		35,936 人	35,936 人	36.00%

小児接種

9007	令和4年3月7日～	
	接種人数	接種率
1回目	2,316 人	25.71%
2回目	2,246 人	24.94%
3回目	1,047 人	11.62%
うち、オミクロン株対応ワクチン接種人数	6 人	0.07%

乳幼児接種

4855	令和4年11月12日～	
	接種人数	接種率
1回目	161 人	3.32%
2回目	146 人	3.01%
3回目	72 人	1.48%

※人口データは、総務省公表の令和4年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)を利用(デジタル庁VRSダッシュボードでの接種状況公表データと同値)

※接種人数データは、令和3年度分は令和4年3月27日時点、令和4年度分は令和5年3月27日時点の県公表データ

(3) 事業費実績

令和3年度		
項目	金額	備考
報酬	4,226,097	会計年度職員報酬
職員手当等	613,944	会計年度職員期末手当
報償費	64,260,875	集団接種に係る医師・看護師・薬剤師等謝礼
旅費	265,133	会計年度職員通勤手当
需用費	14,786,699	消毒用アルコール、手袋等集団接種会場で使用する各種消耗品、衛生用品、接種券発送用封筒・チラシ印刷代等
役務費	24,188,702	接種券郵送料、国民健康保険団体連合会コロナワクチン事務手数料等
委託料	777,811,979	予約管理システム等運營業務委託、接種券発送・結果取込等業務委託、集団接種会場交通誘導警備業務委託、接種会場設営等委託等
使用料及び賃借料	22,814,670	接種会場借上料
工事請負費	168,960	ワクチンディープフリーザー電源工事等
備品購入費	139,700	OCRバーコードリーダー等購入費
負担金補助及び交付金	2,002,336	救急救命士接種会場従事に係る負担金等
合計	911,279,095	

令和4年度		
項目	金額	備考
報酬	6,711,720	会計年度職員報酬
職員手当等	1,292,116	会計年度職員期末手当
共済費	214,230	会計年度職員共済組合等負担金
報償費	38,913,000	集団接種に係る医師・看護師・薬剤師等謝礼
旅費	425,682	会計年度職員通勤手当
需用費	10,107,606	消毒用アルコール、手袋等集団接種会場で使用する各種消耗品、衛生用品、接種券発送用封筒・チラシ印刷代等
役務費	18,833,756	接種券郵送料、国民健康保険団体連合会コロナワクチン事務手数料等
委託料	486,310,311	予約管理システム等運營業務委託、接種券発送・結果取込等業務委託、集団接種会場交通誘導警備業務委託、接種会場設営等委託等
使用料及び賃借料	7,002,544	接種会場借上料等
負担金補助及び交付金	939,400	集団接種会場駐車場(浄化センターグラウンド)に係る負担金
償還金利子及び割引料	308,129,000	国庫返還金(令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金)
合計	878,879,365	

(4) 新型コロナウイルスワクチン配送業務

地域の医療提供体制の維持を図るため、国から本市に供給された新型コロナワクチンや、針、シリンジ等の付属品一式を市内で個別接種を行う医療機関に配送する体制を構築した。

また、貴重なワクチンを無駄にしないため、各医療機関とワクチンの必要数の調整を十分に図ったうえで、計画的にワクチン配送を実施した。

1) ワクチン配送

主に業務委託により、配送を実施し、1日当たりの配送件数が少ない日には、市職員による配送を行った。

① 国からのワクチン供給数

		令和3年度	令和4年度
ワクチン種類		バイアル数	
ファイザー	従来株 (12歳以上)	41145	8557
	オミクロン株対応B A. 1 (12歳以上)	-	8628
	オミクロン株対応B A. 4-5 (12歳以上)	-	10725
	従来株 (5歳～11歳)	360	210
	オミクロン株対応B A. 4-5 (5歳～11歳)	-	60
	従来株 (生後6か月～4歳)	-	350
モデルナ	従来株 (12歳以上)	2610	600
	オミクロン株対応B A. 1 (12歳以上)	-	660
	オミクロン株対応B A. 4-5 (12歳以上)	-	320
ノババックス	従来株 (12歳以上)	-	158

② ワクチン配送日数

	令和3年度	令和4年度
配送日数	127	150

2) ディープフリーザー設置場所

設置場所				
対応ワクチン (温度設定)	令和3年度		令和4年度	
ファイザー社 (-90℃～-60℃)	・藤枝市保健センター	2台	・藤枝市保健センター	5台
	・藤枝市民体育館	1台	・藤枝市浄化センター	1台
	・藤枝市市浄化センター	1台	・みやはら内科クリニック	1台
	・藤枝平成記念病院	1台	・藤枝市立総合病院 県割当分	1台
	・聖稜リハビリテーション病院	1台		
	・みやはら内科クリニック	1台		
	・吉田クリニック	1台		
	・藤枝市立総合病院 県割当分	1台		
モデルナ社 (-20℃±5)	・藤枝市保健センター	2台	・藤枝市保健センター	3台
	・藤枝市民体育館	1台		

(5) 集団接種

- ① 集団接種会場：藤枝市民体育館、藤枝市浄化センター、藤枝市保健センター
- ② 対象：12歳以上の初回接種または追加接種（10月から令和4年秋開始接種）
- ③ 使用ワクチン：ファイザー（通年）、モデルナ（4～9月）、ノババックス（6月以降）
ファイザーBA.1・モデルナBA.1（10～12月）、ファイザーBA.4-5・モデルナBA.4-5（12月以降）

④ 従事者

(単位:人)

職種	人数/回	所属	内容
医師	2～3	市立病院・志太医師会（業務委託）	問診、接種、接種後の救急時対応
看護師	4～13	志太医師会医師の自院の看護師 市が頼んだ看護師	薬液の希釈・充填、問診確認、接種の補助、臥床での接種、接種後経過観察、救急時対応など
事務	10～20	派遣会社（業務委託）	受付、予約・住所確認、誘導、接種済証の発行、接種記録（VRS）の登録など
警備	5	警備会社（業務委託）	駐車場の警備
市職員動員	2～5	市職員	会場責任者、誘導、調整など ※会場毎に全庁の部をグループに分け動員、1月からは健やか推進局内で対応

⑤ 実施状況

(単位:回)

	区分	令和3年度			令和4年度			
		回数	曜日	時間	回数	曜日	時間	
藤枝市民体育館	平日	146	月火水木金(4～11月/2-3月隔週)	13:30～15:00	26	月～金(4・5月隔週)	13:30～15:00	
			木(6～11月/3月隔週)	13:30～17:00		月・水・金(6月隔週)		
藤枝市浄化センター	平日	110	月～金(4～11月/2-3月隔週)	13:30～15:00	22	月～金(4～5月隔週)	13:30～15:00	
			※6～9月は月～水のみ			月・水・金(6月隔週)		
藤枝市保健センター	平日	44	金(6～9月/2-3月)	13:30～15:00	40	金(7月～3月)	13:30～15:00	
			木(6～9月/2-3月)	13:30～17:00				
	夜間	25	水木(10～11月)、金(12～3月)		18:00～19:30	82	金(通年)・木(4～6月)・水(10～1月)	18:00～19:30
			休日	40	土(通年)	13:30～17:00	48	土(通年、2-3月は15:00まで)
静岡産業大学 藤枝キャンパス	平日	10	月水木金(7月)	13:30～16:00	1	日(4月)	9:00～11:30 14:00～16:30	
			休日	4				土(7月)
		2	祝日(7月)					
	合計	394			219			

⑥ 会場別来場者数

(単位:人)

	令和3年度				令和4年度			
	回数	来場者数	藤枝市民	市外	回数	来場者数	藤枝市民	市外
藤枝市民体育館	146	40,913	39,541	1,372	26	2,891	2,882	9
藤枝市浄化センター	110	16,615	16,502	113	22	1,925	1,920	5
藤枝市保健センター	122	47,901	47,079	822	171	46,789	46,653	136
静岡産業大学 藤枝キャンパス	16	5,192	5,091	101				
合計	394	110,621	108,213	2,408	219	51,605	51,455	150

⑦ 市民実施者数

(単位:人)

		令和3年度	令和4年度
合計		108,213	51,455
券種別	接種	108,151	51,402
	予診のみ	62	53
接種時間別	通常	73,573	12,723
	時間外	4,760	16,283
	休日	29,880	22,449

⑧ 接種後会場における副反応疑い対応数 (単位:人)

		令和3年度	令和4年度
合計		354	56
性別	男性	84	15
	女性	270	41
対応別	帰宅	342	55
	かかりつけ医受診すめ	5	0
	市立病院受診すめ	1	0
	救急搬送	6	1

(6) 個別接種

(令和3年度：令和3年2月末までに実施した3月請求分まで)
(令和4年度：令和4年3月末までに実施した4月請求分まで)

志太医師会所属の医療機関で実施。

① 市内個別接種会場

(単位:か所)

年齢	ワクチン	令和3年度		令和4年度	
				9月まで	10月以降
12歳以上	ファイザー	43	47	11	
	モデルナ	11	26	2	
	ノババックス		6	3	
	ファイザー-BA.1, BA.4-5		1	53	
5歳～11歳	小児用ファイザー	16	16	14	
	小児用ファイザー-BA.4-5			3	
6か月～4歳	乳幼児用ファイザー			8	

② 市民実施者数

(単位:人)

		令和3年度	令和4年度
合計		114,497	115,968
券種別	接種	14,412	115,859
	予診のみ	85	109
接種時間別	通常	96,939	91,464
	時間外	13,974	19,386
	休日	3,584	5,118
	小児(再掲)		896

(7) 職域接種

(令和3年度：令和3年2月末までに実施した3月請求分まで)
(令和4年度：令和4年3月末までに実施した4月請求分まで)

自治体のワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくため、企業や大学等において、職域(大学等を含む)単位でワクチンの接種を行った。

使用ワクチン：武田/モデルナ社のワクチン

接種時期：1, 2回目接種は令和3年6月21日から、3回目接種は令和4年2月14日から

① 市内職域接種会場：4か所

- ・ JA大井川農産物集出荷場
- ・ 静岡県警察学校
- ・ 村上開明堂築地工場
- ・ 静岡産業大学(令和3年のみ)

② 市民実施者数

(単位:人)

		令和3年度	令和4年度
合計		14,901	801
券種別	接種	14,897	801
	予診のみ	4	0
接種時間別	通常	10,466	801
	時間外	0	0
	休日	4,435	0

(8) 市外での接種

(令和3年度：令和3年1月末までに実施した2月請求分まで)
(令和4年度：令和4年2月末までに実施した3月請求分まで)

ワクチン接種は、原則住民票所在地の市町村で接種を受けることとなっているが、実際に居住する市町村が異なり、実際に居住する市町村において接種を希望する場合には、住所地外接種届の手続きを行い接種を行った。
届出が不要な場合：入院・入所中の場合、基礎疾患を持つ人が主治医の下で接種する場合、医療従事者として受ける場合、国や都道府県の大規模接種会場で受ける場合、職域単位での接種を受ける場合等。

① 市民実施者数

(単位:件)

		令和3年度	令和4年度
合計		33,890	16,736
券種別	接種	33,871	16,722
	予診のみ	19	14
接種時間別	通常	33,463	12,715
	時間外	198	1,960
	休日	229	2,061
	小児(再掲)	0	8

(9) 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(接種証明書)

新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(接種証明書)は、予防接種法に基づいて各市町村で実施された新型コロナウイルスワクチン接種の事実を公的に証明するものとして、被接種者からの申請に基づき交付する。
 「パスポート情報等を記載した海外用及び日本国内用の接種証明書」と「パスポート情報等の記載の無い日本国内用の接種証明書」の2種類が、書面又は電子版で交付可能。

(単位:件)

	令和3年度	令和4年度
書面申請	535	1,296
簡易申請	3	16
電子版(アプリ)	5,269	15,976

(10) 藤枝市新型コロナウイルスワクチン接種予約管理システム等運營業務

藤枝市が、新型コロナウイルスワクチン接種を実施するにあたり、市民からの問い合わせや予約等に対するコールセンターの設置及び予約システムの構築・運營業務を包括的に実施することにより、当該事業を迅速かつ適切に運営することを目的に実施した。

- ① コールセンター設置・運營業務
 - ② ワクチン接種予約システム構築・運營業務
- 構築した予約システムを用いて、コールセンターにて予約受付業務を実施した。

藤枝市コロナワクチンコールセンター実績

		稼働日 (単位:日)	応答数(単位:件)				
				予約関連	副反応	持病・アレルギー	その他
令和3年度	4月	29	2,916	2,298	3	18	597
	5月	31	8,859	8,005	6	17	831
	6月	30	7,404	6,772	6	6	620
	7月	25	3,095	2,748	7	4	336
	8月	25	6,158	4,832	9	9	1,308
	9月	24	4,941	4,039	15	7	880
	10月	26	2,177	1,859	8	3	307
	11月	24	1,026	876	5	2	143
	12月	24	593	494	1	1	97
	1月	23	4,723	3,793	1	1	928
	2月	22	8,108	6,852	7	2	1,247
	3月	26	4,096	3,721	8	3	364
		合計	309	54,096	46,289	76	73
令和4年度	4月	26	2,126	1,926	4	2	194
	5月	23	1,337	1,174	1	0	162
	6月	26	947	828	0	1	118
	7月	25	5,954	5,510	2	2	440
	8月	25	6,481	6,017	1	3	460
	9月	24	2,947	2,536	3	0	408
	10月	25	3,160	2,915	3	0	242
	11月	24	6,715	6,258	1	0	456
	12月	24	4,923	4,533	2	5	383
	1月	23	2,100	1,882	0	3	215
	2月	22	419	348	1	0	70
	3月	26	212	173	0	0	39
		合計	293	37,321	34,100	18	16

(11) 予約サポートセンター業務委託（高齢者等予約支援）

新型コロナウイルスワクチンの接種予約について、パソコンやスマホが苦手な高齢者がスムーズに予約できるよう、インターネット予約に係る高齢者向け予約代行窓口（予約サポートセンター）を設置した。

令和3年度

期 間：令和3年6月1日～7月5日（35日間実施）

会 場：BiVi藤枝 1階 産学官連携推進センター横のスペース

予約件数：824件

期 間：令和4年2月1日から令和4年3月21日（40日間実施）

会 場：BiVi藤枝 1階 産学官連携推進センター横のスペース

予約件数：1,257件

令和4年度

期 間：令和4年4月1日から令和4年4月30日（20日間実施）

会 場：BiVi藤枝 1階 産学官連携推進センター横のスペース

予約件数：122件

(12) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る被接種者移送事業

新型コロナウイルス予防接種を集団接種で実施することに伴い、高齢者、障害手帳所持者、要介護認定者及び妊婦等で、交通手段の確保が難しい者の集団接種会場への移動を支援することで、市民のワクチン接種率向上を図るため、タクシーによる移動支援事業を実施した。

利用者負担：1回（片道）200円/人

新型コロナウイルスワクチン接種集団接種会場移送業務実績

※市民体：市民体育館 浄化セ：浄化センター 保健セ：保健センター

	稼働日	台数	利用回数（回）				備考
			市民体	浄化セ	保健セ	合計	
令和3年度計	113	1,309	3,352	1,572	972	5,896	
令和4年4月	7	9	14	4	-	18	
5月	4	6	10	2	-	12	5/25 4回目接種開始（高齢）
6月	1	1	2	0	-	2	
7月	4	24	-	-	68	68	7/22 4回目接種開始（医療）
8月	3	29	-	-	74	74	
9月	4	37	-	-	85	85	9/20 オミクロン株開始（一般）
10月	3	10	-	-	20	20	10/21 オミ接種間隔6→3カ月
11月	4	33	-	-	84	84	
12月	7	60	-	-	144	144	
令和5年1月	4	21	-	-	52	52	
2月	2	3	-	-	6	6	
3月	2	3	-	-	10	10	
令和4年度計	45	236	26	6	543	575	

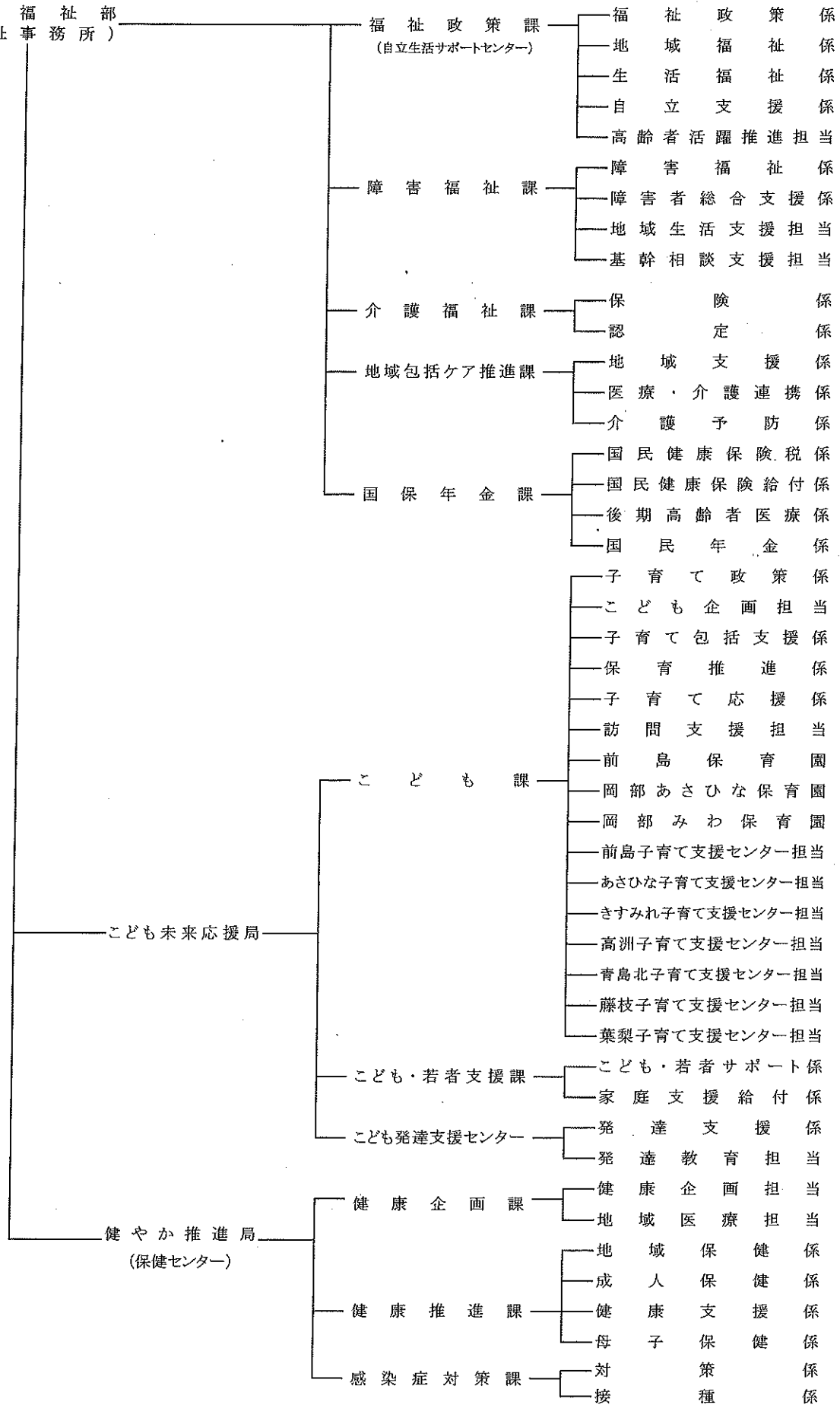
※ 利用回数については、往路・復路それぞれの利用につき1回ずつ加算する。
（接種者が往復で利用した場合、利用回数は2回としてカウント）

※ 令和4年7月以降は、保健センターでのみ集団接種を実施している。

X 令和5年度 保健事業計画

令和5年度 健康福祉部組織図

健康福祉部
(福祉事務所)



令和5年度 保健事業計画

	6か月	1歳	2歳	3歳	6歳	12歳	20歳	30歳	35歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳	75歳
妊 産 婦 健 康 診 査	4か月児健康診査 (委託医療機関)	6か月児すこやか相談	10か月児健康診査 (委託医療機関)	1歳6か月児健康診査	3歳児健康診査 3歳児精密健康診査	妊婦健康診査(委託医療機関) 産婦健康診査(委託医療機関)	健康手帳交付	子宮がん検診 乳がん検診 ヒロリ調子がリスク判定(40歳以上) 子宮がん検診 (リスク判定/A)者でも年々経過した者、リスク判定(除除除外者) 特定健康診査・大腸がん検診・肝臓ウイルス検診	結核健康診断及び肺がん検診						
健 康 教 育		もぐもぐこっくん赤ちゃん教室				少年化突撃屋閉事業 思春期保健事業 エイズ予防対策	パバママ教室・プレママ栄養教室	妊婦歯科健診 若者ヘルスアップ健診	健康結果説明会(若者ヘルスアップ健診受診者も含む)	出前講座(健康・食育) 禁煙支援事業 重症化予防教室	成人歯科健診(40・45・50・55・60・65・70歳)	前立腺がん検診			
健 康 相 談		すくすく運動教室 運動発達相談	親子遊びの教室(ヒノキオ・ドナルド) つばめっこ教室	幼児個別相談 ステップ相談	わんぱく相談	電話相談・常設健康相談・出張健康相談・定例生活相談・産科相談	特定健康診査結果相談(若者ヘルスアップ健診受診者も含む)	特定健康診査結果相談(若者ヘルスアップ健診受診者も含む)							
訪 問 指 導		生後4か月までの全乳児 健診未健児・問題を育する児					電話相談・常設健康相談・出張健康相談・定例生活相談・産科相談	特定健康診査ヘルシク者(若者ヘルスアップ健診受診者も含む)							
そ の 他															

地域保健係担当事業

事業名	内 容	
保健センター管理運営事業	保健センター施設の維持管理、保守等業務委託、施設修繕	
感染症予防事業	感染症の予防啓発、対策行動計画の策定、防疫装備品等の取得・備蓄、関係団体等との連絡調整	
保健委員活動活性化事業	保健委員全員研修会	保健委員を対象とした研修 委嘱状交付、感謝状贈呈、講演会の開催
	支部保健委員会	保健委員の役割と活動のあり方及び藤枝市の保健事業に関する研修、当年度の事業計画の立案
	保健委員連絡協議会役員会	12支部の役員36人(支部委員長・地区長・副地区長)による各支部との連絡調整、活動計画の検討等
	正副地区長会議	12支部の代表者24人(正副地区長)による支部活動の連絡調整及び意見交換
	保健委員地区活動	保健講座(健康体操等)を支部・自治会・町内会単位で実施
	支部健康度アップ活動	支部単位の健康課題をテーマに各支部で「健康度アップ講座」を実施 講座で学んだ知識を地域に広めるための自主活動を展開
	保健委員活動報告会	1年間の保健委員活動を各支部発表、講演会の開催
医療救護計画事業	予想される南海トラフ巨大地震等から市民の生命と健康を守る体制の検討 計画策定、資機材等の整備、医療救護訓練の実施	

母子保健係担当事業

事業名		内 容
妊娠出産包括支援事業		全妊婦の状況を把握 妊産婦の個別支援計画の作成、継続支援
母子健康手帳交付		妊産婦を対象に母子健康手帳を交付
妊婦健康診査		個別健診(指定医療機関)、14回まで公費負担
産婦健康診査		個別健診(指定医療機関)、2回公費負担
産後ケア事業		産後、支援が必要と判断される母子に対し、心身のケアや育児のサポート等を実施(宿泊型、日帰り型、相談型、訪問型)
乳 幼 児 健 診	新生児聴覚検査	
	4か月児健診	個別健診(指定医療機関)
	10か月児健診	
	1歳6か月児健診	身体計測、内科診察、歯科健診、ブラッシング指導、栄養指導、生活指導、精神発達チェックと保健指導・相談、母親のメンタルヘルスチェック
	3歳児健診	身体計測、内科診察、尿検査、歯科健診、視覚検査、ブラッシング指導、栄養指導、生活指導、精神発達チェックと保健指導・相談 母親のメンタルヘルスチェック
	3歳児精密健康診査	3歳児健診結果により精密な健康診査の必要が認められた場合に医療機関が実施(委託医療機関)
健 康 相 談	常設・出張健康相談	一般市民を対象 (出張健康相談は、福祉センターさすみれにて、1回/月の午前中に実施)
	電話相談	電話による相談
	定例食生活相談	一般市民を対象
	定例歯科相談	一般市民を対象
	運動発達相談	運動発達面に遅れが疑われる児とその保護者への、理学療法士による指導と相談
	6か月児すこやか相談	身体計測、赤ちゃん体操、運動発達指導、生活指導、栄養指導、保健指導・相談、母親のメンタルヘルスチェック
	ステップ相談	1歳6か月児健診の要観察児と教室参加児を対象に個別相談
	わんぱく相談	3歳児健診の要観察児を対象に個別相談、就園先への訪問
	幼児個別相談	精神発達面に問題を有する児とその保護者への、心理判定員による個別相談
	すくすく運動教室	運動発達面に遅れを有する児とその保護者への指導と相談
	親子遊びの教室 (ピノキオ・ドナルド)	健診の事後フォローとして、遊びを通しての児と保護者への指導と相談
	つばめっこ教室	健診・相談の事後フォローとして、遊びを通しての児と保護者への指導と相談及び早期療育の提供

事業名		内容
健康教育	パパママ教室	初産婦の夫婦を対象に助産師、管理栄養士、保健師等による講話と実技指導
	もぐもぐごっくん赤ちゃん教室	栄養士による離乳食の講話、実技(前編・後編)
訪問指導		支援の必要な妊婦・産婦・乳幼児、生後4か月までの乳児、健診未受診児等に対し訪問にて指導
子育て支援事業	産後うつ病スクリーニング検査	産後うつ病(含疑い)や、育児不安の強い親など、継続的支援を必要とする母親を早期にスクリーニングし介入するために、赤ちゃん訪問時に実施
	母親のメンタルヘルスチェック	「母子健康手帳」交付時、「6か月児すこやか相談」「1歳6か月児健診」「3歳児健診」に来所された母親を対象に「お母さんの健康について(アンケート)」を実施
	子育て支援教室(ひまわり)	精神的負担が大きい母親と子どものグループ支援と個別支援を実施 グループ支援月2回年間24回
不妊・不育症治療費助成事業		不妊治療(体外受精・人工授精など)または不育症治療を受けている夫婦に対して、経済的負担を軽減するために費用の一部を助成
フッ素塗布		1歳6か月児～3歳児を対象に実施 6か月間隔で4回塗布
少子化突破展開事業		令和2～4年度の3か年事業。市内中学校3年生に思春期講座を実施。
思春期保健事業		健康教育、エイズ予防講演会、教材の貸し出し
予防接種		予防接種法に基づく定期接種を実施 法定外予防接種(任意接種)費用の一部助成(市単独事業) ※特別の理由による任意予防接種、9価HPVワクチン任意予防接種

成人保健係担当事業

事業名		内 容
健康のしおりの交付		希望者に健康のしおりを交付
健 康 診 査	特定健康診査	40歳以上の藤枝市国民健康保険加入者及び後期高齢者医療保険加入者を対象に問診、血圧測定、医師の診察、身体測定(腹囲)、尿検査、血液検査(脂質検査・肝機能検査・糖尿病検査等)を実施
	肝炎ウイルス検診	以前に市の肝炎ウイルス検査を受けたことのない40歳以上を対象にB型・C型肝炎ウイルス検査を実施 特定の年齢に達した者を対象に無料実施
	成人歯科健診	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳を対象に口腔内検査を実施
	妊婦歯科健診	妊婦を対象に口腔内検査を実施
	胃がん検診	過去ピロリ菌胃がんリスク判定「A」「A?」の者(医療機関フォロー者除く)で5年経過した者およびピロリ菌胃がんリスク判定問診除外者を対象に問診・胃内視鏡検査または胃部エックス線検査を実施
	ピロリ菌胃がんリスク判定	40歳以上を対象に 問診・血液検査(ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査)を実施 【胃内視鏡検査または胃部エックス線検査】ピロリ菌胃がんリスク判定「A」判定者に実施
	子宮がん検診	20歳以上の女性を対象に2年に1回実施 子宮頸部の細胞診検査又は医師が必要と認めた場合は、子宮頸・体部の細胞診検査を実施
	乳がん検診	40歳以上の女性を対象に2年に1回マンモグラフィ(禁忌者はエコー)を実施
	大腸がん検診	40歳以上を対象に便潜血検査(2日間採取法)を実施
	新たなステージに入ったがん検診	子宮がん・乳がん検診において、対象年齢の初年度の者にクーポン券を配布し、無料で実施 子宮がん・乳がん検診の再通知および肺がん・大腸がん検診の精検未受診者に受診再勧奨実施
	肺がん検診	40歳以上を対象に胸部エックス線撮影を実施。さらに、問診の結果、喫煙指数(1日本数×年数)600以上の者に痰細胞診検査を実施(希望者)
	前立腺がん検診	50歳以上の男性を対象に血液(PSA)検査を実施
	若者ヘルスアップ健診	39歳以下の市民を対象に問診、血圧測定、医師の診察、身体測定(腹囲)、尿検査、血液検査(脂質検査・肝機能検査・糖尿病検査等)を実施
予結核	結核健康診断	40歳以上を対象に胸部エックス線撮影を実施
等小 が 児 ん ・ 若 者 対 策	がん患者共生支援	補整具等購入費用、妊孕性温存治療費用、在宅療養生活支援費用を一部助成
	女性の健康支援対策	30歳の女性を対象にプレストセルフチェック啓発と30歳代の女性を対象に乳房超音波検査を実施
予 防 接 種	定期予防接種	高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌、風しん第5期を実施
	任意予防接種	成人の風しん、高齢者用肺炎球菌の費用を一部助成
	風しん追加的対策	抗体検査の実施(時限措置)、風しん抗体が低い場合は定期予防接種を実施

健康支援係担当事業

事業名		内 容
特 定 保 健 指 導		特定健診の結果において動機付け支援、積極的支援と判定された者に対し、対象者自身が生活習慣を改善できるような支援をする
健康教育	健康結果説明	特定健康診査、後期高齢者健診、ヘルスアップ健診受診者に対して生活・栄養・結果の見方について指導
	その他の健康教育	職域・出前講座等での健康教育
健康相談	常設健康相談	一般市民を対象
	成人健康相談	一般市民を対象
	電話相談	電話による相談
	定例食生活相談	一般市民を対象（木：午後 金：午前）
	歯科相談	一般市民を対象にした歯科衛生士による相談（2～3回/月）
	その他の健康相談	禁煙相談、精神相談等
訪問指導	生活習慣病の予防等に関する指導	
	介護を要する状態の予防に関する指導	
	国保被保険者で重複・多剤投薬者に対する指導	
	その他健康管理上必要と認められる指導	
食育事業	藤枝市健康づくり食生活推進協議会	総会、定例会、各種食育関連イベントへの参加・協力
	支 部 活 動	栄養教室（生活習慣病予防、減塩等）男性料理教室、放課後児童クラブ、各種団体との交流 等
	健康づくり食生活セミナー・OB会	食を通して、必要な食生活改善や健康づくり、生活習慣病予防等のための知識、技術等の習得を目指す講座
	食育ネットワーク会議	地域で食に関わる活動をしている各種団体及び行政間の相互の交流による情報の共有化、連携により、食育事業を効果的に推進するための会議
歯科保健	歯の健康まつり	噛むカムケア8020コンクール・図画ポスター展示表彰等
	歯科出前講座	幼稚園・保育園、認定こども園、小学生、中学生、障害者施設を対象にした歯科保健出前講座
	こども健康チャレンジ事業	小学3、4年生を対象に、歯科保健出前講座と同時実施し、生活習慣及び健診受診に関する「こども健康チャレンジシート」を配布。
	住民歯科会議	「藤枝市民の歯や口の健康づくり条例」第9条の規定にも続き組織され、歯科保健計画の推進に必要な事項を協議する会議
精神保健啓発事業		市民への精神保健関連の啓発事業、自殺予防教育、ゲートキーパー研修
高齢者保健事業・介護予防一体的事業		健康課題の分析、対象者の把握、事業の企画・調整の実施。重症化予防の訪問指導を75歳以上にまで拡大。フレイル予防のための「健康講座」、「低栄養予防」、「健口講座」の各テーマで出前講座と健康相談を実施。

健康企画課担当事業

事業名	内 容	
健康経営推進プロジェクト	健康・予防 日本一ふじえだ発信事業	健康都市で構成する協議会等への参加や全国各地からの視察受け入れなどにより、市内外に本市の特色ある健康施策を発信。
	企業向け健康経営実践事業	健康無関心層といわれる働き盛り世代へのアプローチを進めるため、「健康経営」の実践を支援し、その取組事例や効果を健康経営セミナー等で広く発信することで、企業の健康経営の導入を促進。
	健康マイレージ事業	健康的な生活習慣の動機づけを促し、健康行動の定着や継続をするための啓発ツールの運用。Web版システムの運用。 市民・事業所・静岡県との協働事業として循環型システムの確立を図る。
歩いて健康づくり推進事業	歩くことで健康づくりを推進し、市民の日常の身体活動量の底上げ支援を実施。「家康ゆかりの地を巡る！元氣ふじえだ健康ウォーキング」の開催に加え、スポーツ振興課と協働し、グループで平均歩数を競う「スポーツ&健康ウォーキング」を開催。 また、日本全国の仮想の旅を楽しみながら歩く記録シートの作成・提供や“楽しく歩いて健康アプリ～あるくら～”の普及を促進。	
食べて健康づくり推進事業	「野菜を食べて健康フェア」を開催し、ヘルシーメニューの普及や野菜摂取を促進することで、健康的な食生活を送る支援を行う。	
健康づくり推進協議会	健康づくり諸施策を審議する組織の事務局 推進協議会委員12人 会長：市長	
志太榛原地域救急医療センター運営事業	夜間救急患者の診察と応急処置を行うため、運営を指定管理者として公益社団法人志太・榛原地域救急医療対策協会へ委託し実施。(4市2町事業事務局)	
救急医療協力促進事業	藤枝市と焼津市の一部(旧大井川町)の区域内における初期救急医療体制を補完するため、一般社団法人 志太医師会に委託し、会員開業医が在宅輪番制で休日の診療を実施。	
休日歯科診療運営委託事業	休日の歯科救急医療を確保するため、一般社団法人 藤枝歯科医師会へ委託し、会員歯科医が輪番制で診療を実施。	
地域自殺対策推進事業	「市民の誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す「藤枝市自殺対策計画」の進捗状況等について審議する「藤枝市自殺対策推進協議会」を開催。	
安心な初期医療を守る事業	適正な受診の啓発を中心として地域の初期医療体制の安定を支援する事業を実施。	

病院連携室担当事業

事業名	内 容
広報・広聴事業	藤枝市立総合病院に関する広報及び市への意見等の広聴を行う。
小児救急講習事業	藤枝市立総合病院と連携し、小児救急知識の啓発に加え、地域医療の現状や適正受診について市民の理解を深める。
病院ふれあいフェスタ事業	藤枝市立総合病院が行う病院ふれあいフェスタの企画・運営に協力する。

感染症対策課担当事業

事業名	内 容
<p>新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業</p>	<p>【初回接種】 ※実施期間：令和6年3月まで <12歳以上（1・2回目）> ○使用ワクチン：従来株ワクチン（ファイザー、武田（ノババックス））</p> <p><5～11歳（1・2回目）> ○使用ワクチン：小児用従来株ワクチン（ファイザー）</p> <p><生後6か月～4歳（1・2・3回目）> ○使用ワクチン：乳幼児用ワクチン（ファイザー）</p> <p>【追加接種】</p> <p>●令和4年秋開始接種 <12歳以上> ○実施期間：令和5年5月7日まで ○使用ワクチン：オミクロン株対応2価ワクチン（ファイザー・モデルナ） 従来株ワクチン（武田（ノババックス）） ○対象者：初回接種を完了し、前回の接種から3か月（ノババックスは6か月）経過した人</p> <p><5～11歳> ○実施期間：令和5年8月まで ○使用ワクチン：小児用オミクロン株対応2価ワクチン（ファイザー） ○対象者：初回接種を完了し、前回の接種から5か月が経過した人</p> <p>●令和5年春開始接種 ○実施期間：令和5年5月8日から8月まで ○使用ワクチン：オミクロン株対応2価ワクチン（ファイザー・モデルナ） 従来株ワクチン（武田（ノババックス）） 小児用オミクロン株対応2価ワクチン（ファイザー） ※11歳以下のみ ○対象者：初回接種を完了した65歳以上の人 または5～64歳で、以下のいずれかに該当する人 ・基礎疾患を有する人、その他重症化リスクが高いと医師が認める人 ・医療機関や高齢者施設、障害者施設等に従事する人</p> <p>●令和5年秋開始接種 ○実施期間：令和5年9月から令和6年3月まで ○使用ワクチン：オミクロン株XBB.1系統の成分を含有する1価のワクチン（未定） ○対象者：初回接種を完了した5歳以上の全ての人</p> <p>事務事業等の概要 【内容】 ・接種券の印刷・郵送 ・接種の予約に関するコールセンター等予約体制の整備 ・集団接種会場の運営（医師・看護師等の確保） ・ワクチン接種実施医療機関へのワクチンの配送 ・ワクチン接種に関する市内医療機関への情報提供 ・接種証明書の発行 等</p>
<p>予防接種事業</p>	<p>・予防接種法に基づく定期予防接種</p> <p>・法定外予防接種(任意接種)費用の一部助成（市単独事業） 種類:成人の風しん 高齢者の肺炎球菌 特別の理由による任意予防接種 带状疱疹 HPV(キャッチアップ接種世代の償還払い分)</p>
<p>風しん抗体検査等事業</p>	<p>風しん追加的対策</p>